

海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事

図 面 リ ス ト					
図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称
No. A - 00	表紙・図面リスト	No. A - 26	舞台装置 詳細図	No. E - 01	電気設備改修工事特記仕様書
No. A - 01	特記仕様書(1)	No. A - 27	既存改修 1階天井伏せ図	No. E - 02	分電盤結線図
No. A - 02	特記仕様書(2)	No. A - 28	既存改修 2階天井伏せ図	No. E - 03	動力設備 既存 1階平面図
No. A - 03	特記仕様書(3)	No. A - 29	1階 キープラン表	No. E - 04	動力設備 改修 1階平面図
No. A - 04	特記仕様書(4)	No. A - 30	2階 キープラン表	No. E - 05	電灯設備 既存 1階平面図
No. A - 05	案内図・配置図	No. A - 31	3階・4階 キープラン表	No. E - 06	電灯設備 改修 1階平面図
No. A - 06	特記事項・外壁改修内容一覧表	No. A - 32	建具表(1)	No. E - 07	電灯設備 既存 2階平面図
No. A - 07	仕上表	No. A - 33	建具表(2)	No. E - 08	電灯設備 改修 2階平面図
No. A - 08	既存 1階平面図	No. A - 34	倉庫 既存改修平面図・改修展開図	No. E - 09	音響設備 システムブロック図・機器姿図
No. A - 09	改修 1階平面図	No. A - 35	鉄骨階段 詳細図	No. E - 10	通信・情報設備 既存 1階平面図
No. A - 10	既存 2階平面図	No. A - 36	4階改修 詳細図	No. E - 11	通信・情報設備 改修 1階平面図
No. A - 11	改修 2階平面図	No. A - 37	既存改修 体育室床改修平面図	No. E - 12	通信・情報設備 既存 2階平面図
No. A - 12	既存 3階平面図	No. A - 38	体育室床 詳細図	No. E - 13	通信・情報設備 改修 2階平面図
No. A - 13	改修 3階平面図	No. A - 39	コートライン詳細図・基礎配置図	No. E - 14	自動火災報知設備 既存 1階平面図
No. A - 14	既存 4階平面図	No. A - 40	上下可動式ステージ 部分詳細図	No. E - 15	自動火災報知設備 改修 1階平面図
No. A - 15	改修 4階平面図	No. A - 41	バスケットゴール装置 詳細図	No. E - 16	自動火災報知設備 既存 2階平面図
No. A - 16	既存改修 西側立面図	No. A - 42	防水改修標準図	No. E - 17	自動火災報知設備 改修 2階平面図
No. A - 17	既存改修 東側立面図	No. A - 43	外壁の改修工法ディテールシート(1)	No. E - 18	改修前後 4階平面図
No. A - 18	既存改修 南側立面図	No. A - 44	外壁の改修工法ディテールシート(2)	No. M - 01	機械設備特記仕様書
No. A - 19	既存改修 北側立面図	No. A - 45	改修塗料等仕様書	No. M - 02	空調設備 改修 1階平面図
No. A - 20	既存改修 断面図(1)	No. A - 46	雑詳細図	No. M - 03	換気設備 改修 2階平面図
No. A - 21	既存改修 断面図(2)	No. A - 47	仮設計画図(参考)	No. M - 04	計装設備 改修 1階平面図
No. A - 22	既存 矩計図			No. M - 05	衛生設備 改修 4, R階平面図
No. A - 23	改修 矩計図				
No. A - 24	既存 体育室展開図				
No. A - 25	改修 体育室展開図				



特記仕様書 I 工事概要 1 工事番号・名称海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事 2 工事場所東柏ヶ谷小学校 海老名市東柏ヶ谷6丁目9番7号 3 用途地域等都市計画区域(内・外)用途地域(第一種住居地域)防火地域等(・防火○準防火・指定なし・22条)その他の地域・地区() 4 主要用途屋内運動場 5 延床面積689.07 m² 6 工事の概要『屋内運動場の経年劣化に伴う改修及び機能向上改修工事を行うもの』 7 別途工事 8 その他 9 特記仕様書の範囲特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。 ○機械設備改修工事特記仕様書 ○電気設備改修工事特記仕様書				・その他の廃棄物(管理型) <table><tr><th>種類</th><th>受入施設名</th><th>所在地 (Km)</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器 PCB含有シーリング材 PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。 アスベストの処理 吹き付けアスベスト除去工事 受け入れ施設名・所在地(km) アスベスト含有保温材除去工事 受け入れ施設名・所在地(km) アスベスト成形板除去工事 受け入れ施設名・所在地(km) ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理 ヒ素又はカドミウムボード 適用する 適用しない 5. 電気保安 6. 事故報告 7. 建築材料等 8. 室内の空気中の化学物質濃度の測定 9. 特別な材料の工法		種類	受入施設名	所在地 (Km)	備考									10. 建築基準法による風圧力等の指定 <table><tr><th colspan="4"><3.5.4><3.9.3><5.12.5>(13.2.3)(13.3.3)</th></tr><tr><th colspan="2">適用工事</th><th colspan="2">建築基準法の指定</th></tr><tr><td>・合成高分子系ルーフィングシート</td><td>風速(VO)</td><td>※34</td><td>・</td></tr><tr><td>・アルミニウム笠木</td><td>・金属屋根葺</td><td>・Ⅱ</td><td>・Ⅲ</td></tr><tr><td>・折板屋根葺</td><td>・ガラスブロック</td><td>多雪地域の指定</td><td>・有・無</td></tr></table> ※図示 ・現状平均地盤高 施工数量調査 既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。 調査項目 調査範囲 調査方法 成果品 外壁 全面 目視・打影 13. 技能士 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。 工事種目 技能検定職種(技能検定作業) 以下の該当工事 仮設工事 仮設工事 防水改修工事 防水施工(・アスファルト防水工事業業・ウレタンゴム系塗膜防水工事業業・アクリルゴム系塗膜防水工事業業・合成ゴムシート防水工事業業・塩化ビニル系シート防水工事業業・セメント系防水工事業業・シーリング防水工事業業・改質アスファルトシート・防水工事業業・FRP防水工事業業) 外壁改修工事 ・左官(左官作業)・タイル張り(タイル張り作業)・樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事業業)・塗装(建築塗装作業) 建具改修工事 ・サッシ施工(ビル用サッシ施工作業)・ガラス施工(ガラス工事業業)・自動ドア施工(自動ドア施工作業) 内装改修工事 ・内装仕上施工(・プラスチック系床仕上工事業業・カーベット系床仕上作業・ボード仕上工事業業・鋼製下地工事業業) 塗装改修工事 ・表装(壁装作業) 耐震改修工事 ・塗装(建築塗装作業)・鉄筋施工(鉄筋組立作業)・型枠施工(型枠工事業業)・コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事業業)・鉄工(構造物鉄工作業) コンクリートブロック・ALCパネル 枠出成形セメント板工事 ・ブロック建築(コンクリートブロック工事業業)・ALCパネル施工(ALCパネル工事業業) 石工事 ・石材施工(石張り作業) 排水工事 ・配管(建築配管作業) 舗装工事 ・路面表示施工(・溶融ヘイトマシマー・カー工事業業・加熱ヘイトマシマー・作業) 植栽工事 ・造園(造園工事業業) 屋根及びとい工事 ・建築板金(内外装板金作業)・スレート施工(スレート工事業業) 4. 完成時提出書類 ※ 見開きA3(製本A4判) 竣工図、施工図(検査後提出) 3部 ※ 本工事内容説明事項書に基づく市指定の工事書類 1式 ※ 建築物等の維持・保全に関する資料(検査後提出) 1式 ※ その他監督職員が指示したもの 1式 5. 工事写真 ※ 作成する 作成しない 工事写真は、「海老名市公共工事デジタル写真管理要領」により撮影する。 6. 設備工事との取合い 施工範囲 各工事図面による。 施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承認を受ける。 7. 火災保険等 工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険 保険期間 ※ 工事着手から工事目的物引き渡し日まで		<3.5.4><3.9.3><5.12.5>(13.2.3)(13.3.3)				適用工事		建築基準法の指定		・合成高分子系ルーフィングシート	風速(VO)	※34	・	・アルミニウム笠木	・金属屋根葺	・Ⅱ	・Ⅲ	・折板屋根葺	・ガラスブロック	多雪地域の指定	・有・無	2 仮設工事 1 仮囲い 2 交通誘導員 3 工事表示板 4 足場その他 5 養生 6. 仮設間仕切り 7. 監督職員事務所 8. 工事用水 9. 工事用電力 10. 工事用通路 11. その他の仮設 3 防水改修工事 1. アスファルト防水 改修工法の種別 <3.1.4><3.3.3><表3.1.1><表3.3.3～10> 新規防水層の種類別 改修工法の種類 施工箇所 ・ ・ ・E-1 アスファルトの種類 JIS K2207のJIS表示記号製品 ※3種 <3.2.2> 脱気装置 ・敷ける ・敷けない 種類 ・平面部脱気型 ・立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。 <3.3.2><3.3.5> 2. 伸縮調整目地 ※ 成型伸縮目地(天端 EPTゴム、サイド プチルゴム製) 3. 改質アスファルトシート防水 改修工法の種別 <3.1.4><3.4.3><表3.1.1><表3.4.1～2> 新規防水層の種類別 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料 ・AS-T ・AS-U ・AS-I 脱気装置 ・敷ける ・敷けない 種類 ・平面部脱気型 ・立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。 <3.4.3> 4. 合成高分子系ルーフィングシート防水 改修工法の種別 <3.1.4><3.5.3><表3.1.1><表3.5.1> 新規防水層の種類別 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料 ・S-F2 ・S-M2 ・SI- 脱気装置 ・敷ける ・敷けない 種類 ・平面部脱気型 ・立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。 <3.5.3> 5. 塗膜防水 改修工法の種別 <3.1.4><3.6.3><表3.1.1><表3.6.1> 新規防水層の種類別 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料 ・X-1H ・X-2H ・X-2 脱気装置 ・敷ける ○敷けない 種類 ・平面部脱気型 ・立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。 <3.6.3> 6 シーリング 材料の種類 及び施工箇所 ※ 被着体に応じたものとし、<表3.7.1>を標準とする。 ・<表3.7.1>によらない箇所及びシーリング材料 <表3.7.1>によらない箇所 シーリング材料 7 シーリング改修工法 改修工法の種別 <3.1.4><3.7.4～8><表3.1.2> 改修工法の種類 施工箇所 ・シーリング充てん工法 金属層根取合い ○シーリング再充てん工法 建具取合い ・拡幅シーリング充てん工法 ・ブリッジ工法() 8. とい <3.8.2><表3.8.1><表3.8.3～4> 材 種 防 露 ・配管用鋼管(SGP) ※ <表3.8.3～4>により行う ○硬質塩化ビニル管(VP) ・ 特記無き限り既存のとい受け金物を使用する。 鋼管製といの防露巻き ※ <表3.8.5>による。 <3.8.3><表3.8.4>	
種類	受入施設名	所在地 (Km)	備考																																						
<3.5.4><3.9.3><5.12.5>(13.2.3)(13.3.3)																																									
適用工事		建築基準法の指定																																							
・合成高分子系ルーフィングシート	風速(VO)	※34	・																																						
・アルミニウム笠木	・金属屋根葺	・Ⅱ	・Ⅲ																																						
・折板屋根葺	・ガラスブロック	多雪地域の指定	・有・無																																						
工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事					図面名称 縮尺		特記仕様書（1）		NO SCALE		図面番号		A - 01																												

[illegible]

① 一般事項

石綿等の取扱については、石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)(以下、「石綿則」という。)を遵守すること。

施工調査
・ 行わない。
※ 行う(調査結果は図面等に記録し、監督職員に提出すること。
調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。)

調査箇所 ※ 図示
・ ()

調査事項
※ 石綿含有建材等の使用部位
※ 石綿含有建材等の種類、厚さ
※ 施工範囲と工事範囲区分
※ 廃棄物などの搬出方法
・
・

石綿含有分析
○ 行わない
・ 行う(分析結果は監督職員に提出する。)
分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。

材 料 名	定性分析	定量分析
	・(試験数:)	・(試験数:)
	・(試験数:)	・(試験数:)
	・(試験数:)	・(試験数:)
	・(試験数:)	・(試験数:)

石綿粉じん濃度測定
○ 行わない。
※ 行う(測定する時期・場所等は下表による)
「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法ー第1部ー
:光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による。

適用	測定 名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	室 名 等
・	測定1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定2		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定4		セキュリティ ゾーン入口 (空気の流れを 確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点	
・	測定5		負圧・粉じん装 置の排出吹出口 (除じん装置の 性能確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点	
・	測定6		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定7	処理作業後 シート 撤去前	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定8		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定9	処理作業後 シート 撤去後	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
測 定 点 総 計					点

注1:周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。

(例)石綿粉じん濃度測定方法

	測点3	測点1, 2, 4, 6, 7, 8	測点5
計数機器	位相差・分散顕微鏡		
メンブレン フィルタの直径	25mm		47mm
試料の吸引流量	1L/min	5L/min	10L/min
試料の吸引時間	5min	120min	240min
試料の透明化	アセトン固定ー有機物灰化ー屈折率浸液法		
計数条件	総合倍率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野		
計数アスベスト	幅3 μm未満、長さ5 μm以上、アスペクト比(長さ/幅) 3以上		
定量限界	50本/L	0. 47本/L	0. 3本/L

記録する項目
ア. 測定結果
イ. 測定時間
ウ. 測定位置(測定高さとともに図面上に記載する。)
エ. サンプリング条件
(メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)
オ. マウンティング法
カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数
キ. 測定時(各測定場所ごとの)
天候、温度、湿度、外気の風速及び風量

測定機関
都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関

施工記録報告書の提出
1. 施工計画書
2. 工事記録及び工事写真
3. 産業廃棄物処理記録(廃石綿)
4. 施工調査等記録(条規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等)
5. 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録
6. その他必要事項

提出部数 3部作成

2. 除去工事
共通事項

専門工事業者
石綿含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に
対応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。

作業主任者の選出
石綿作業主任技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者
技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければ
ならない。

除去作業者の教育
作業者は、就業時に石綿則に基づく教育を受けた者とする。
また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者と
し、肺機能に異常のない者とする。

特別管理産業廃棄物管理責任者の選出
排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを
配置しなければならない。

石綿含有吹き付け材の除去工事
・ 行う(適用範囲・図示
・)
・ 行わない
・ 集塵機付高圧洗浄工法

作業場等の隔離等
※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により
飛散防止をすること。

隔離シートの性能	
※ 床面	※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重
※ 壁面	※ 0.08mm以上のプラスチックシート等

ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による
「吹き付け石綿粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書
(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散
防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の
承認を得ること。

セキュリティゾーンの設置
※ 下表による

適用	室名	状態	
※	更衣室		※ 更衣ロッカー ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 新品の保護具 ※ 洗顔、うがい設備 ・
※	洗浄室	負圧	※ エアシャワー(温水シャワー) ・
※	前室	負圧	・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご

ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による
「吹き付け石綿粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書
(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散
防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の
承認を得ること。

除去物及び汚染等
処理方法
※ 密封処理(二重袋梱包)
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空
掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。
・ セメント固化

石綿含有保温材の除去工事
・ 行う(適用範囲・図示
・)
・ 行わない

養生等
※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。

掻き落とし、破砕、切断による除去方法
※ 行わない
・ 行う(<9.1.3>「石綿含有吹き付け材の除去」による)

除去工法
※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。
※ 除去物については<9.1.3(b)>により、密封処理とする。

石綿含有成形板の除去工事
・ 行う(適用範囲・図示
・)
・ 行わない

養生
・ 行う(適用範囲・図示
・)
・ 行わない

除去工法
※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。
※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した
状態で行うこと。
※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕された
石綿含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋
に入れる等の飛散防止措置を講ずること。

石綿含有仕上塗材の除去工事
・ 行う(適用範囲・図示
・)
・ 行わない

養生
・ 行う(適用範囲・図示
・)
・ 行わない

除去工法
・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
・ 集じん装置併用手工具ケレン方法
・ 集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30～50MPa程度)
・ 集じん装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上)
・ 剥離剤併用超音波ケレン工法
・ 剥離剤併用手工具ケレン工法
※ 除去物の保管、運搬及び処分は、<9.1.5(3)>による。
※ 確認及び後片付けは、<9.1.5(4)>による。
※ 石綿含有仕上塗材面に足場つなぎを設置する場合は、集じん機付き
ドリルを使用する。

9
|
2

環境配慮
改修工事
(断熱材)

① 断熱材

断熱材の打込み及び現場発泡工法

種 類	箇 所	厚さ(mm)	備 考
※ ポリスチレン フォーム (発泡プラス チック保温材)	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキン層付き) ・	下配以外 ※ 25 ・	JIS A 9511の JIS表示認証製品
・ 硬質ウレタン フォーム保温材	※A種 ・	・	
・ フェノール フォーム保温材	※A種 ・	・	JIS A 9511の JIS表示認証製品
○ 吹付け硬質 ウレタン フォーム保温材	※A種1 ・	※ 20 ・	JIS A 9526 による難燃性 ・2級 ※3級
・	・	・	

※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。

上記以外に用いる断熱材

種 類	箇 所	厚さ(mm)	備 考
・ JISA発泡 プラスチック 保温材	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキン層付き) ・	下配以外 ※ 25 ・	JIS表示認証製品
・ グラスウール 保温材		※ 100 ・	※ 24K品 ・

※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート
※ 被覆品 ・防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り(重ね100)

10
|
土工
工事

① 埋戻し及び
盛土の種別

・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ・ D 種 (3.2.3)(表3.2.1)
C種の場合 建設発生土受入れ量
発生場所
受入条件
m3

② 建設発生土の
処理

・ 構外に搬出し適切に処理する。
・ 構外指示の場所に搬出する。
受入れ施設名・住所(km)
○ 構内指示の場所に敷きならす。
・ 構内指示の場所にたい積する。

11
|
コンパ
ンクリ
ー
|
押出
ブ
成
形
セ
ク
メン
ト
|
板
工
事

1. コンクリート
ブロック帳壁
及び塀

2. 押出成形セメント板

ブロックの種類
※ 空洞ブロック 16
(ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック08とすることができる。)
・ 貼替を行う(割れた押出成形セメント板)

12
|
舗装
工事

① 再生材
2. 盛土材料
3. フィルター層及び
凍上抑制層用
材料
4. 路床土の
支持力比
(CBR)試験
5. 路床締固め度
の試験

⑥ 路盤材料

7. アスファルト
舗装

⑩ 縁石及び側溝
⑪ 砂利敷き
12. 区 画 線

※ 使用する
路床の盛土材料
・A種 ※B種 ・C種 ・D種
フィルター層
※ 川砂・海砂又は良質な山砂
凍上抑制層
※ 再生クラッシャー
・ 切込砂利又は切込碎石

※ 行わない
・ 行う(※ 乱した土 ・ 乱さない土)

※ 行わない
・ 行う

(22.3.3)(表22.3.1)

加熱アスファルト混合物の種類
(22.4.4)(表22.4.4)
表 層 ※ 再生密粒度アスファルト混合物(13)
・ 密粒度アスファルト混合物(13F)
・ 細粒度アスファルト混合物(13)
・

アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない ・行う
(22.4.6)
早強セメント ・ 使用する ※ 使用しない
溶接金網 ※ あり ・ なし
(22.5.3)
・ コンクリート平板 ※ t60
(22.8.3)
・ インターロッキングブロック舗装 ・t80(曲げ強度5.0N/㎡)・()
・ 舗石舗装 基 層 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装

地業の材料 ○再生クラッシャー
・ A種(通路) ※ B種(建物周辺)
(22.9.2)
※ 3種1号白
・

13
|
ユニ
ット
及
び
そ
の
他
の
工
事

1. フリー
アクセス
フロア

2. 可動間仕切
(パーテ
ション)

3. 移動間仕切
(スライディ
ングドア)

4. トイレブース

5. 階段滑り止め
(ノンスリップ)

6. 床目地樑

7. 鏡

8. 表 示

9. 点検口

10. 視覚障害者用
誘導ブロック

(20.2.2)

施工場所	工 法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力(Ks)	耐荷重性能 (N)	表面仕上げ
	・溝工法 (置敷工法)		・ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000 ・	・帯電防止 ・床タイル ・タイル カーベット
	・支柱一体型 パネル工法 (置敷工法)				
	・支柱分離型 パネル工法 (独立支柱工法)				

ボーダー部 ※ 一般部分の仕様に準ずる
床表面仕上げ材の品質は標準仕様書6章による。
配線取出し用切り欠きパネルは1枚/㎡以上とする。
空調用吹き出し(吸い込み)パネル ※ なし
・ 有り(※固定式 ・可変式)
施工箇所は図示

構造形式による種類 スタッド式密閉形
構成材の種類 アルミニウム合金系又はスチール系
パネル表面材 焼付塗装鋼板(標準色)t＝0.5以上
遮音性 36dB以上
防火性能 不燃

パネルの操作方法による種類 規定しない
パネル表面材の材質及び仕上げ 製造所仕様の化粧鋼板(標準色)
t＝0.5以上
ハンドル回転式又はワンタッチ上下式
遮音性 36dB以上
防火性能 不燃
取り付け用あと施工アンカー 材質、寸法等は図示又は製造所の
仕様による

表面材 メラミン化粧板(標準色)
幅 木 ステンレス製 H＝60
フレーム アルミ製
扉 厚40中心吊りアール形アルミ製エッジ、
帽子掛け戸当たり付き

材 種 ステンレス(SUS304)
ビニールタイヤ入り(幅約35mm)

取り付け方法 ※ 接着工法
・ 埋込み工法

ステンレス 3×9
(床仕上げが異なる場合に敷ける。但し、建具部は建具表による。)

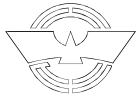
耐湿鏡 t＝5 ステンレスフレーム付き

衝突防止表示 ステンレス製 HL仕上げ Φ30程度 市販品
誘導標識 市販品
室名札

施工箇所
天 井 ※ アルミニウム製 ※ 450×450
・ 600×600
床 ※ アルミニウム製 ・ 450×450
※ 600×600
※ 目地タイプ
・ 縞線タイプ
※ 一般型貼物用
・ 一般型充填用
・ 体育館床用 鍵付

屋 外 ※ コンクリート製
・ 磁器質タイル(※100角 ・150角)

工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

特記仕様書（４）

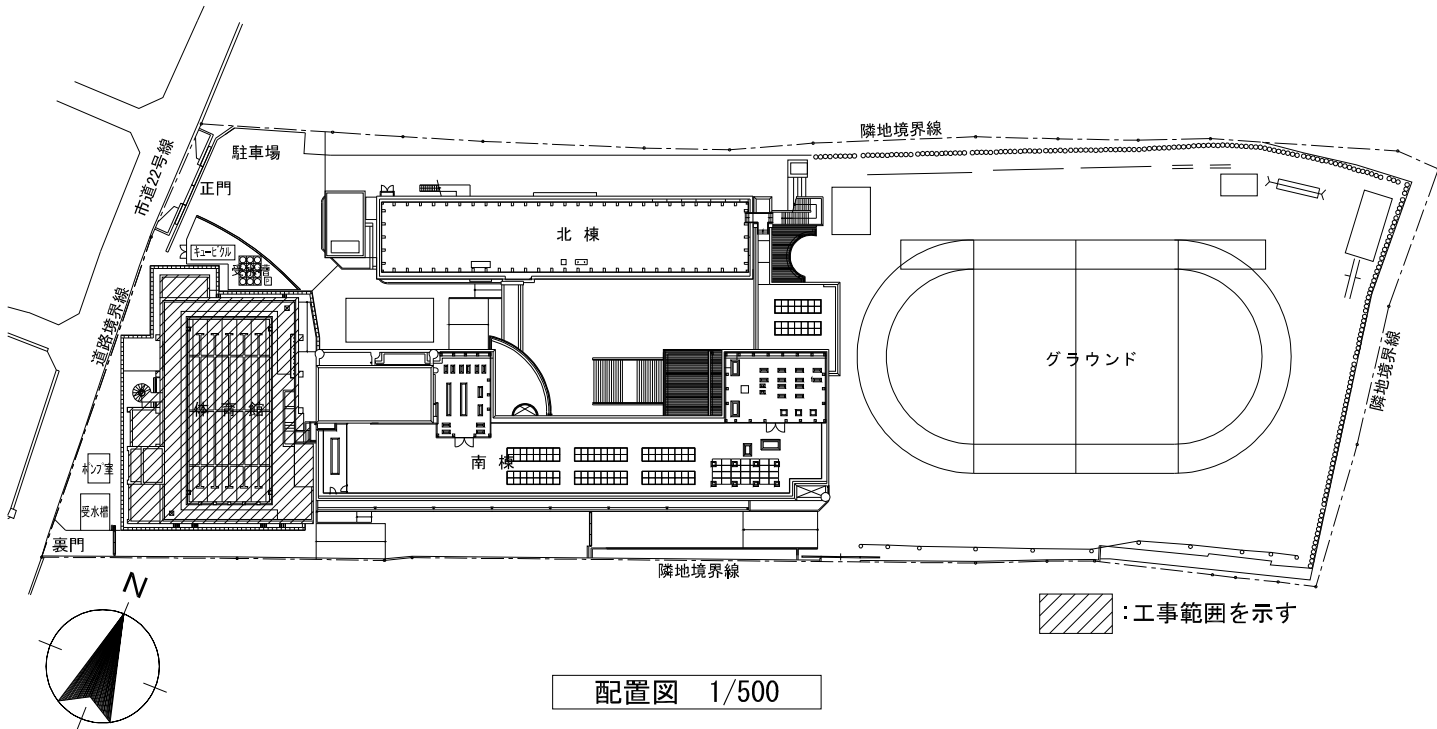
縮尺

NO SCALE

図面番号

A - 04

工 事 概 要		
工 事 名 称	工事名称	海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事
	工事場所	海老名市東柏ヶ谷6丁目9番7号
	建物用途	屋内運動場
	工事種別	大規模改修工事
構 造 ・ 規 模	敷地面積	9,632.00 m ²
	階 数	4階建
	構 造	鉄筋コンクリート造
	建築面積	655.36 m ²
	延床面積	689.07 m ²

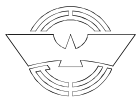


■ 特記事項

【安全対策】 1. 工事搬入出車両の出入りは児童・生徒の登下校時、施設利用者の時間を極力避けること。 2. 敷地内での工事車両安全速度は「5km/h」以下とすること。 3. 外部足場の昇降口や資材置き場の出入口は常に施錠し第三者の工事エリア進入を防ぐこと。 4. 外部仮囲い等は強固に固定し、施設利用者が触れても危険が無いよう設置すること。 仮囲い等の仮設物の設営後は常に点検を行い、不備が認められた際には速やかに是正処置を請うること。 5. 火気使用時(アーク溶接等)には床・壁共防災シートの養生を行い消火器を設置する。 また、火気使用2時間後に、作業場所の安全を確認すること。 6. 急な暴風雨、豪雨等にも迅速に対応出来るよう、予め体制を整備しておくこと。 7. 震度4以上の地震発生時や暴風・大雨警報などの「悪天候」が予想される時は、事前に点検し対策を実施して災害防止に備えるとともに点検結果を報告すること。 8. 搬入に伴う工事車両の運用、荷揚げ等、やむを得ず一時的に工事エリア外での作業を行う際には、カラーコーン・コーンバー等にて区画を行うこと。 9. 関係法令、各種規準を遵守し、第三者の安全確保対策を充分に行うこと。	【一般事項(共通)】 1. 工事着手に先立ち本図を参考とし、監督員・施設管理者ほかの関係機関と綿密な協議の上施設運営に支障のない工事計画を行うこと。 2. 工事区域及び周囲の作業通路ほか、工事関連箇所は既存部分の養生を行い、完成検査(引渡し)前に清掃(クリーニング)を行うこと。 3. コンクリートの壁及び床のはつりやコア抜きを行う場合は、事前に施設で保管している図面等を参照し、現場調査を急に入行すること。また作業前にレントゲン調査等を行うなど、埋設物を破壊させない準備を行うこと。 土間解体及び、掘削等の作業には以下に注意すること。 ・範囲内及び、地中埋設物を損傷させないよう、解体掘削は慎重に行い急激な作業を行わないこと。 ・状況に応じ重機を使わず、手はつり、手掘で作業を行うこと。 4. 自動火災報知機感知器が誤発報しないよう、以下による適切な対応を行うこと。 また、工事範囲内の感知器への対応は以下とすること。 ・感知器には専用カバー等で養生を行う。作業時間帯以外は取り外すこと。 ・室内温度差等により感知器が作動しないよう、投光器等の熱源は感知器から距離を置き熱の影響を受けないよう考慮すること。 ・万一自動火災報知機感知器が発報した際、工事によるものか否かを確認する方法や発報を停止する措置(施設側対応)に関して、事前に施設管理者と協議を行ってのこと。
【足場設置基準】 <外部足場> 1. 枠組足場・くさび緊結式足場は手すり先行据置方式とすること。 2. 壁つなぎの設置は以下とすること。(推奨) 垂直方向：根がらみから2スパン毎に取り付ける。 水平方向：外壁角から近い縦地から2スパン毎及び最上部は全縦地に取り付ける。 鉄骨造：鉄骨から直に壁つなぎを取るものとし、ALC版等の外壁部材からとらないこと。 □ 壁つなぎ穿孔作業は石綿作業主任者が常駐のうえ、「石綿作業主任者」又は「石綿作業従事者特別教育修了者」が行い集塵機及び、HEPAフィルタ付きドリルを使用し既存外壁塗材の飛散を防止すること。 3. 壁つなぎ用後施工アンカーはコンクリート躯体にしっかり固定すること。 4. 足場の脚部には、短・長辺方向に根がらみを設置すること。 5. 外部足場の外側には防災1類ネット状養生シートをGLまで設置し、下記養生枠を設置すること。 □ H1,800までは金網式養生枠を設置する。 □ H2,000の塗装した仮囲鉄板を足元の隙間がないよう設置する。 □ H3,000の塗装した仮囲鉄板を足元の隙間がないよう設置する。 6. 手すり、下棧、幅木は四方に設置すること。 7. 層間ネットは専用金具を使用し、2層毎に設置すること。 8. 足場の出隅は緩衝材等で養生を行うこと。 9. 足場の外部に金物等の突起物が出る場合は緩衝材や既製の養生材で養生を行うこと。 10. 外部足場は設置場所を汚さないようシート養生を行った上に設置する。 11. 足場組立等作業主任者の掲示、最大荷重の表示を行うこと。	■一般事項-2(屋根改修) 1. 「金属板カバー工法」で施工した屋根に関しては引き渡し日より10年間の防水保証、シーリング材を施工した部分に関しては引き渡し日より5年間の防水保証、(請負業者、施工工務会社、材料製造会社)を行う。 2. 工事に先立ち、施工計画、施工仕様、安全対策等を記載した「施工計画書」を提出し、監督員の承認を得ること。 3. 屋根での作業は、JIS A 8971、屋根工事用足場及び施工方法に準じて行うこと。 4. 作業動線全ての屋上屋根工事すり設置等の堅落、また屋根面には踏み抜き防止ネットを敷設すること。 5. 体育館天井面作業の際、破損の恐れのある空気管(自動火災報知設備)は、事前に空気管の保護や注意喚起表示を行うこと。 6. 既存屋根大波スレート葺きについては、石綿含有として作業を行うこと。 <特記事項> ・ 既存耐酸被覆鋼板については、石綿含有とみなして作業を行うこと。
<移動式足場(ローリングタワー)> 1. 組立高は制限高さ(7.7m×(足場の短辺幅÷枠組出寸法)-5m)かつ5段以下。 2. 使用中はキャスターのブレーキを4か所確実に効かせる。 3. 手すりは90cm以上とし中棧を設置する。 4. はしごでの昇降には安全ブロックを使用すること。 5. 作業床でははしごや脚立は使用しない。 6. 作業者を乗せたままで移動は絶対行わない。 7. 作業者は安全帯を確実に使用する。 8. 最大積載量の表示を行う。	■一般事項-3(外壁改修) 1. 外壁モルタルの浮き処理に使用するアンカーピンの長さは、試し孔をあけ決定すること。 試験体は各面100m2ごと及びその端数につき1か所以上、かつ各面3か所以上行い、モルタル部を穿孔してその最大厚みを確認し、その厚さに30mmを加えた長さをピンの長さとする。 2. 監督員下検査時膜厚計を用意すること。測定位置として上階部・中階部・下階部とする。 (膜厚基準として1mm以上を目安とする。) 3. 雑金物周囲には三方シーリング打ちを行う。 4. 原則として0.2mm未満のクラック補修は、下地調整材・アクリル系塗膜防水による処理とする。 ただし、漏水等があり補修方法が前記では不十分と判断される部分は、監督員と協議の上、工法を変更する。 5. 足場架設後、改修範囲の外壁施工数量調査を実施し、調査報告書を作成し監督員と協議の上、作業は施工範囲及び、数量を計画に確定した上で着手すること。なお設計数量に変更が生じた場合、原則設計変更をこなう。 ※ 施工面が多い場合は、一定の範囲を調査後、上記を行うこととする。 6. 施工完了後、施工数量報告書を提出すること。 <特記事項> ・ 既存外壁小波スレート、石綿大平板については、石綿含有とみなして作業を行うこと。

■ 外壁改修内容一覽表

※本工事に関係する項目のみ適用するものとする。

[illegible]

外 部 仕 上 表					
部 位	改 修 前	改 修 後	部 位	改 修 前	改 修 後
4階屋根	アルミ製ブルー（エポキシ系ブルーコート塗）、コースライン、センターライン、5mライン、水深表示ブルーサイド；長尺塩ビシート 厚2.9 撤去、防水モルタル金ゴテ 厚30、シンダーコンクリート 厚60 立上り壁・巾木：外装薄塗材E、ブルー取合いシーリング9×15 撤去、単管床組・日除け・倉庫・コースロープ 撤去、フェンス 撤去	超速硬化ウレタン防水 X-1H（粗面仕上）・X-2H、下地調整、一部嵩上げコンクリートブルー取合いシーリング（MS-2）9×15：打替、ネットフェンス；DP塗装・錆止め塗装、フェンス新設	樋	飾り柄：SUS製 壁樋：稜貫塩ビ管 100φ VP塗装 撤去	飾り柄：クリーニング 壁樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設
ブルー基礎階	モルタル金ゴテ仕上 厚60 アスファルト防水、鉄筋コンクリート下地	既存のまま	外部建具	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去（ガラス：網入ガラス厚6.8） スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設（建具表による） スチールドア：引き分けハンガードア 新設（建具表による） 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装（建具表による）
2階・3階・R階屋根	ウレタン塗膜防水 モルタル金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水、鉄筋コンクリート下地 高架水槽（鉄骨共） 撤去（R階）	ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整	手洗い場 洗眼場	人造石研出し	クリーニング、撤去（4階 手洗い場・洗眼場）
庇・梁型	庇・梁型上面：外装薄塗材E、防水モルタル金ゴテ 庇・梁型下面：外装薄塗材E	庇・梁型上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇・梁型上面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa	踊場・階段 スロープ	コンクリート金ゴテ押え	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修
外壁・軒裏	外装薄塗材E	防水形複層塗材E（外壁）・外装薄塗材E（軒裏）、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修：Uカット樹脂モルタル補修、建具廻りシーリング打替え（PU-2）	犬走	コンクリート金ゴテ押え	既存のまま
巾 木	モルタル金ゴテ	高圧水洗10～15Mpa			
鉄骨階段	鉄部：SOP塗装 踊場：長尺塩ビシート 撤去、モルタル金ゴテ	鉄部：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整 R8種 踏み面：防滑性ビニル床シート 新設			

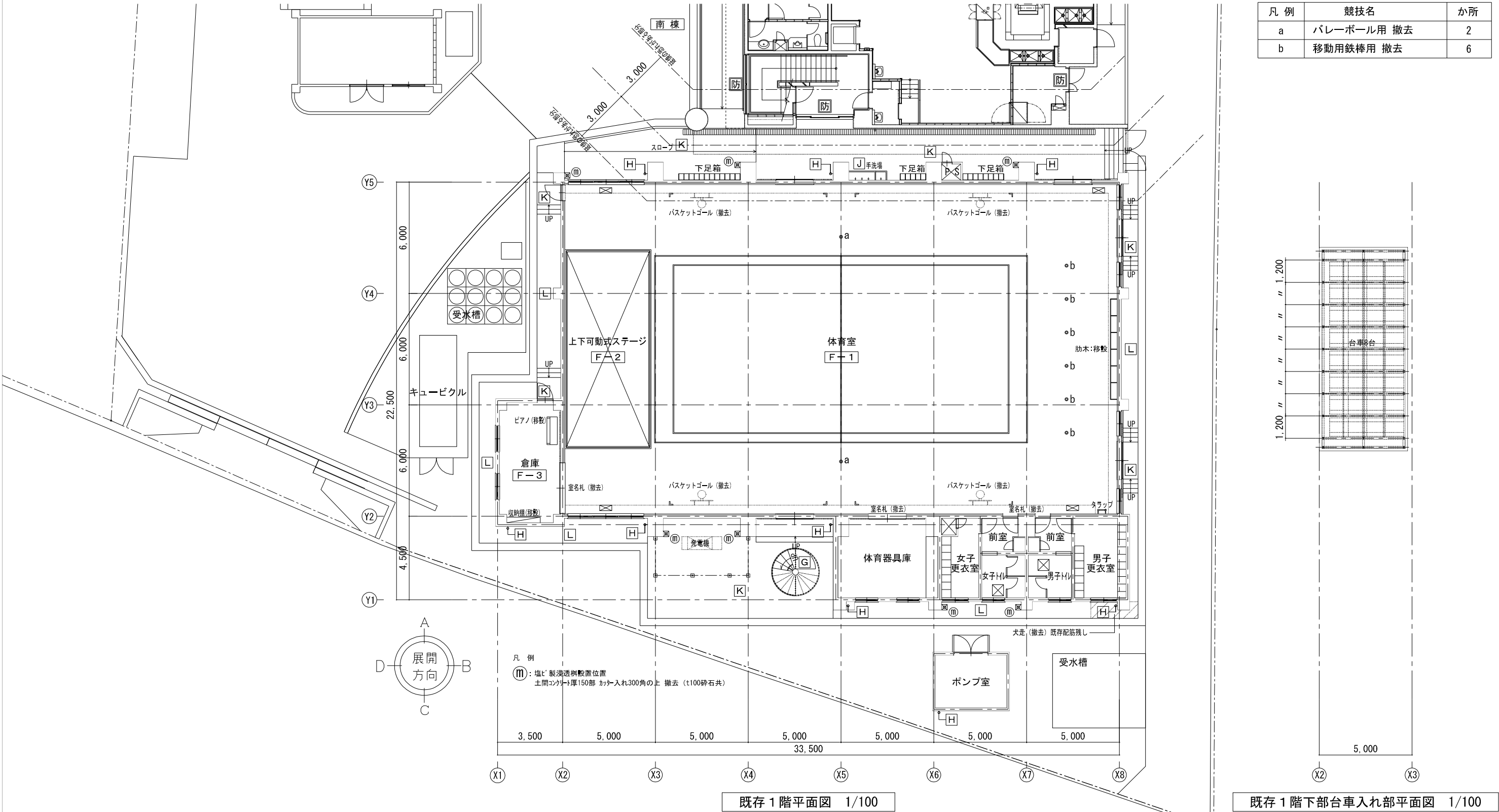
内 部 仕 上 表						
室 名	区 分	床	巾 木	腰 壁	壁	天 井
体 育 室 ステージ	改 修 前	カエデフローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装 撤去 耐水ラワン合板 厚15下地 撤去 鋼製床下地 一部撤去（全体10%程度）、上下可動式ステージ	ラワン材 厚18 100H OP塗装 撤去	ラワン合板 厚9 目透し張り OP塗装 撤去	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り OP塗装 撤去	木モセメント板あらわし
	改 修 後	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗、サンダー掛け2回 カバ 単層フローリング厚18、パーティクルボード厚15 柵・端部 カバ集成材、鋼製床下地 一部復旧（全体10%程度）	ラワン材 厚30 100H EP塗装	EP塗装、ラワン合板 厚9 目透し張り 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	EP塗装、有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	EP塗装 下地調整（梁型共）
体育器具室	改 修 前	塩ビ系タイル貼（※） モルタル金ゴテ押え	ラワン材 厚18 100H OP塗装	――	コンクリート打放	白セメント吹付 コンクリート打放
	改 修 後	既存のまま	既存のまま	――	既存のまま	既存のまま
倉 庫	改 修 前	塩ビ系タイル貼（※） 撤去 モルタル金ゴテ押え	ラワン材 厚18 100H OP塗装	――	吹付タイル コンクリート打放	白セメント吹付 コンクリート打放
	改 修 後	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地調整	EP塗装、下地調整	――	可とう形改修塗材E、下地調整	可とう形改修塗材E、下地調整
前 室	改 修 前	塩ビ系タイル貼（※） モルタル金ゴテ押え	ラワン材 厚18 100H OP塗装	――	可とう型改修塗材E コンクリート打放	可とう型改修塗材E コンクリート打放
	改 修 後	既存のまま	既存のまま	――	既存のまま	既存のまま
男子更衣室 女子更衣室	改 修 前	塩ビ系タイル貼（※） モルタル金ゴテ押え	ラワン材 厚18 100H OP塗装	――	吹付タイル コンクリート打放	石膏ボード 厚9 OP塗装 軽量鉄骨下地
	改 修 後	既存のまま	既存のまま	――	既存のまま	既存のまま
男子トイレ 女子トイレ	改 修 前	長尺塩ビシート貼 モルタル金ゴテ押え	――	――	可とう型改修塗材E コンクリート打放	可とう型改修塗材E コンクリート打放
	改 修 後	既存のまま	――	――	既存のまま	既存のまま
ステージ下部 台車入れ	改 修 前	モルタル金ゴテ押え	――	――	――	――
	改 修 後	既存のまま	――	――	――	――
2階 ギャラリー	改 修 前	モルタル金ゴテ押え	ラワン材 厚18 100H OP塗装 撤去	――	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り OP塗装 撤去	木モセメント板あらわし
	改 修 後	既存のまま	ラワン材 厚30 100H EP塗装	――	EP塗装、有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	EP塗料 下地調整（梁型共）
2階 男子更衣室 2階 女子更衣室	改 修 前	塩ビ系タイル貼 モルタル金ゴテ押え	ラワン材 厚18 100H SOP塗装	――	モルタル金ゴテ VP塗装 コンクリート打放	石膏ボード 厚9 SOP塗装 軽量鉄骨下地
	改 修 後	既存のまま	既存のまま	――	既存のまま	既存のまま
3階 機械室	改 修 前	防水モルタル金ゴテ押え	モルタル金ゴテ	――	コンクリート打放	可とう型改修塗材E コンクリート打放
	改 修 後	既存のまま	既存のまま	――	既存のまま	既存のまま
倉 庫 （4階男女トイレ）	改 修 前	モザイクタイル貼 アスファルト防水	――	――	可とう型改修塗材E コンクリート打放	可とう型改修塗材E ゴングリート打放
	改 修 後	嵩上げ コンリート 18-18（ワイヤメッシュφ6 150×150）	――	――	既存のまま	既存のまま
	改 修 前					
	改 修 後					

・（※）石綿含有建材（みなし）

外部既存仕上表			内部既存仕上表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
手洗い場 洗眼場	J	人造石研出し	床	F-1	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地、端部 撤去 鋼製床下地 一部撤去（全体10%程度）
踊場・階段 スロープ	K	コンクリート金ゴテ押え、塗床塗装（手洗場前）		F-2	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地、樞 撤去 上下可動式ステージ
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え		F-3	塩ビ系タイル貼 撤去、モルタル金ゴテ押え

支柱基礎（ボルト上蓋・中筒金物共）リスト

凡 例	競技名	か所
a	バレーボール用 撤去	2
b	移動用鉄棒用 撤去	6



工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

既存 1 階平面図

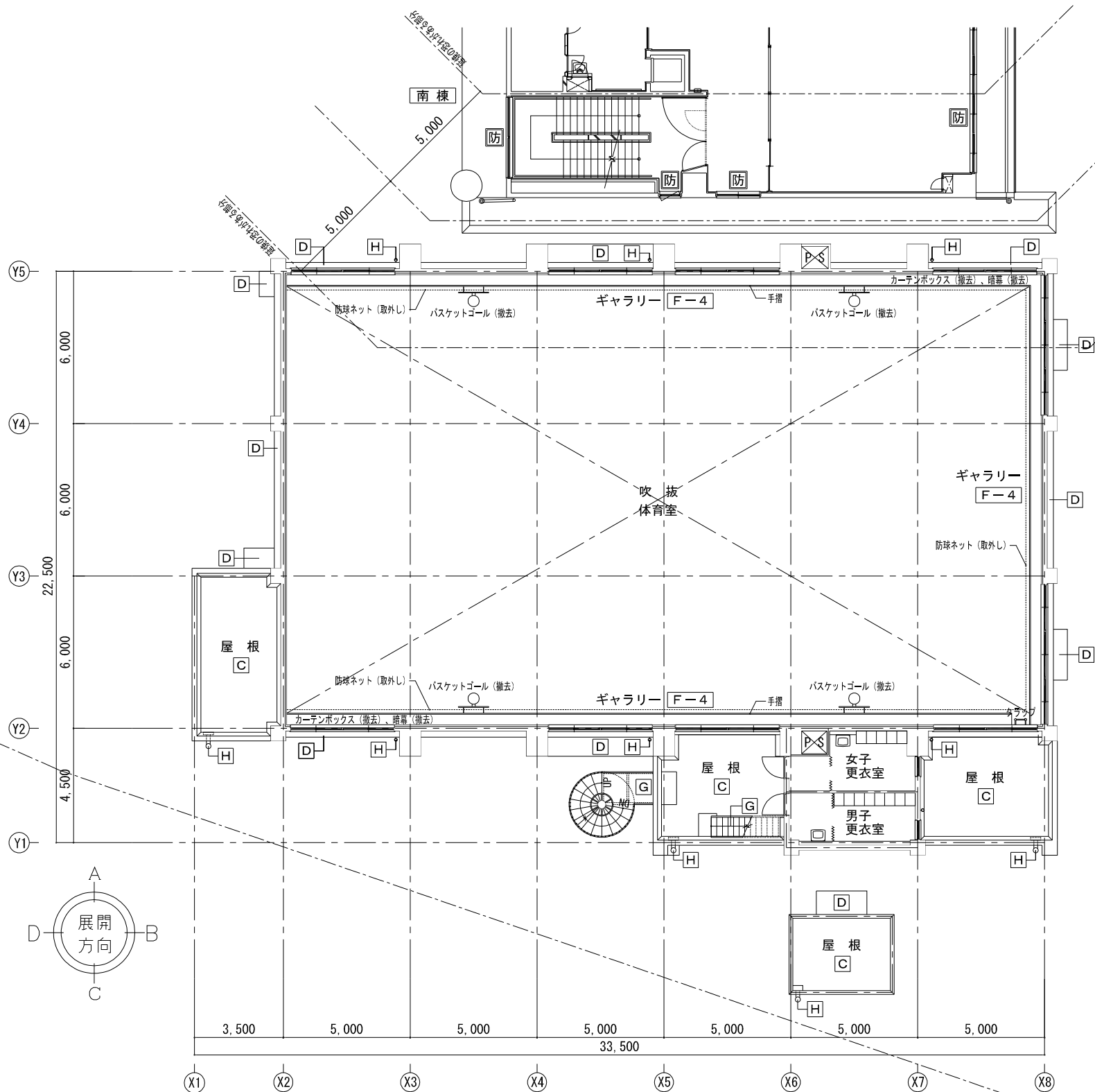
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

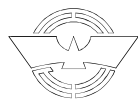
A - 08

外 部 既 存 仕 上 表			内 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
2階・3階・R階屋根	C	ウレタン塗膜防水 モルタル金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水、鉄筋コンクリート下地 高架水槽（鉄骨共） 撤去（R階）	床（ギャラリー）	F-4	モルタル金ゴテ押え
庇・梁型	D	庇・梁型上面：外装薄塗材E、防水モルタル金ゴテ 庇・梁型下面：外装薄塗材E			
鉄骨階段	G	鉄部：SOP塗装 踊場：長尺塩ビシート 撤去、モルタル金ゴテ			



既存 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

既存 2階平面図

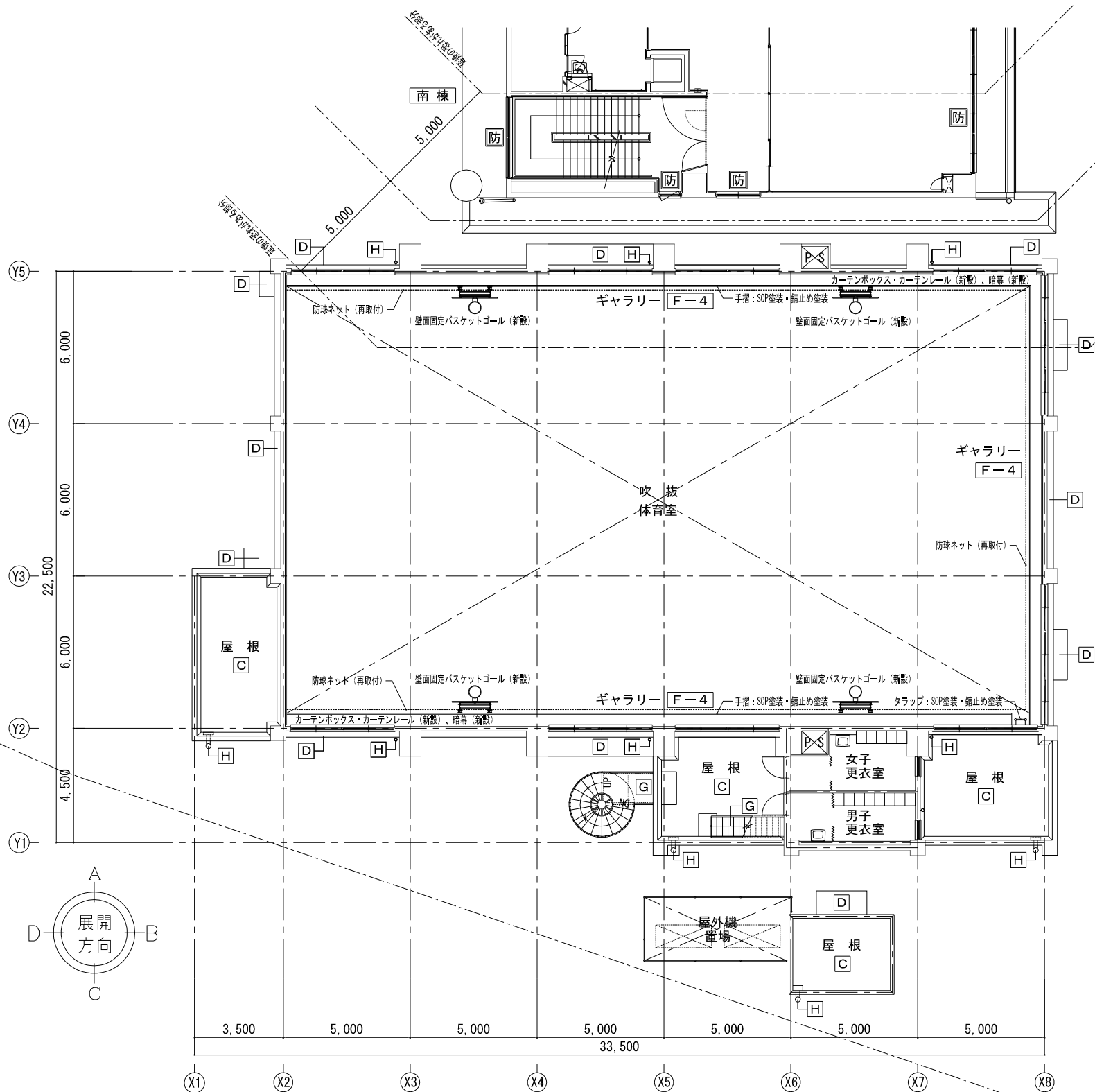
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

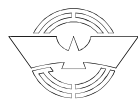
A - 10

外 部 改 修 仕 上 表			内 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
2階・3階・R階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整	床（ギャラリー）	F-4	既存のまま
庇・梁型	D	庇・梁型上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇・梁型下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa			
鉄骨階段	G	鉄部：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整 RB種 踊場：防滑性ビニル床シート 新設			



改修 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

改修 2階平面図

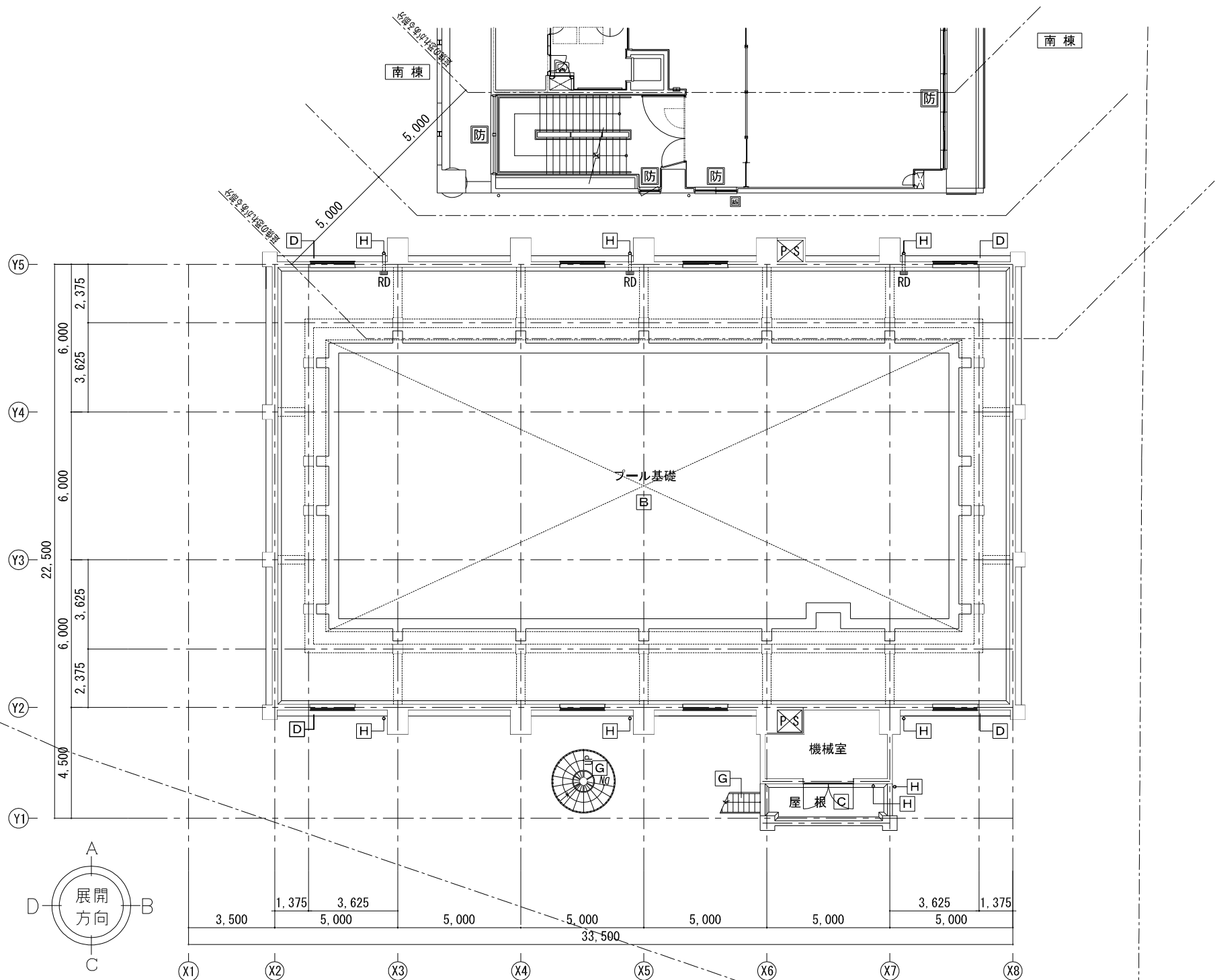
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

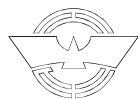
図面番号

A - 11

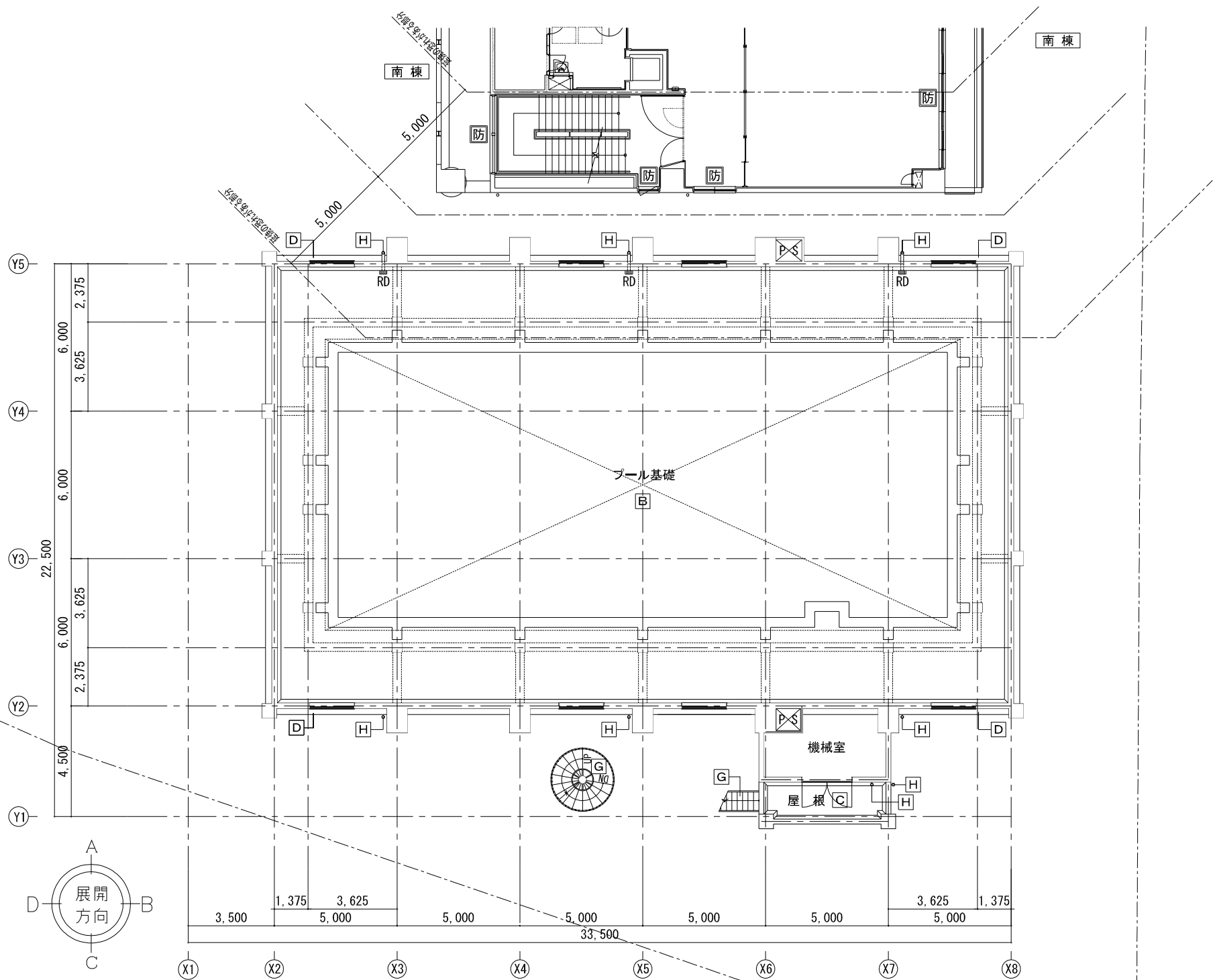
外 部 既 存 仕 上 表					
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
プール基礎階	B	豆砂利コンクリート金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地	庇・梁型	D	庇・梁型上面：外装薄塗材E、防水モルタル金ゴテ 庇・梁型下面：外装薄塗材E
2階・3階・R階屋根	C	ウレタン塗膜防水 モルタル金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水、鉄筋コンクリート下地 高架水槽（鉄骨共） 撤去（R階）	鉄骨階段	G	鉄部：SOP塗装 踊場：長尺塩ビシート 撤去、モルタル金ゴテ



既存 3階平面図 1/100



外 部 改 修 仕 上 表					
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
プール基礎階	B	既存のまま	庇・梁型	D	庇・梁型上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇・梁型下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
2階・3階・R階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整	鉄骨階段	G	鉄部：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 RB種 踊場：防滑性ビニル床シート 新設



改修 3階平面図 1/100

工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

改修 3階平面図

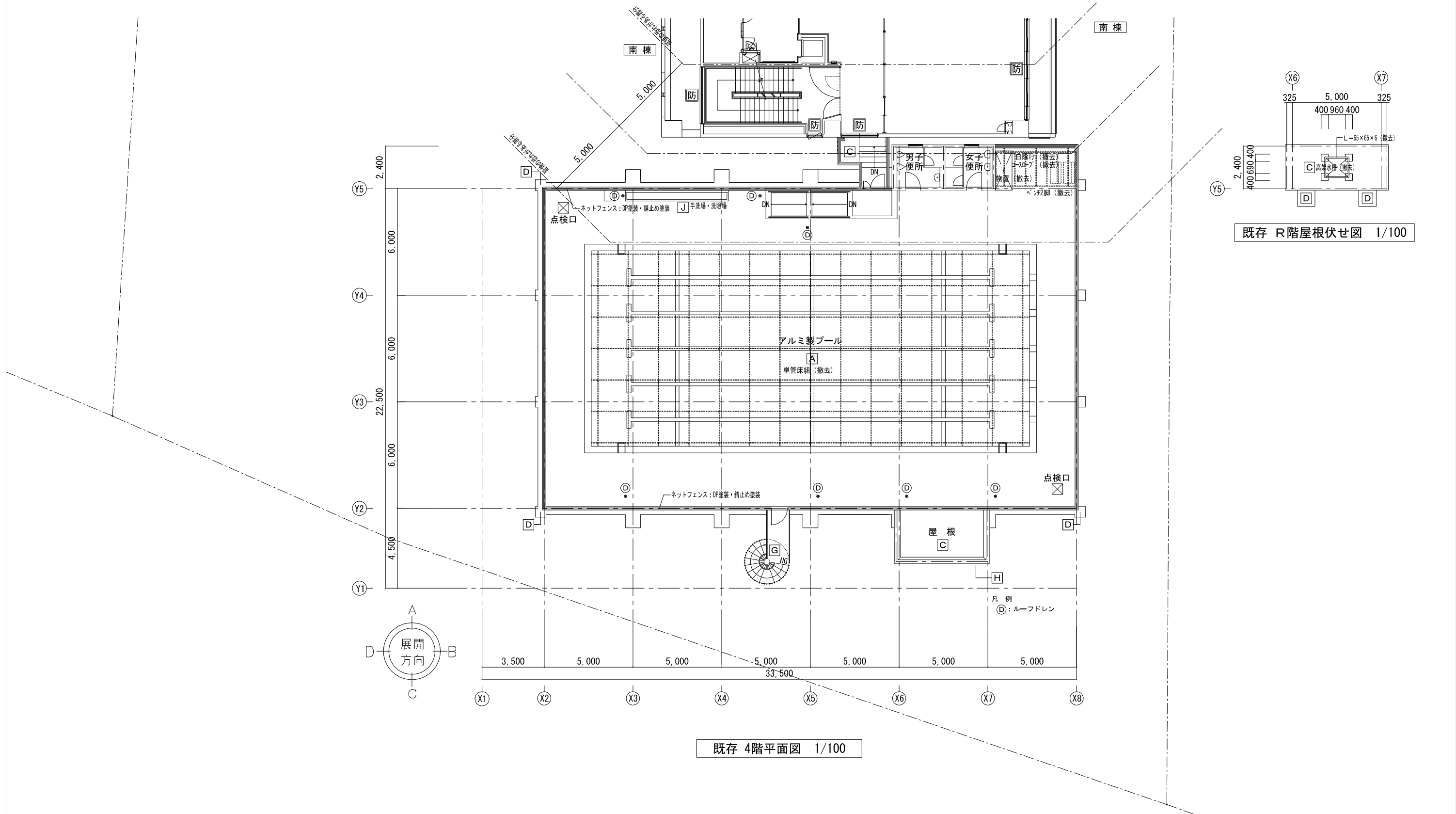
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

A - 13

外 部 既 存 仕 上 表					
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
4階屋根	A	アルミ製プール（エポキシ系プールコート塗）、コースライン、センターライン、5mライン、水深表示 プールサイド：長尺塩ビシート 厚2.9 撤去、防水モルタル金ゴテ 厚30、シンダーコンクリート 厚60 立上り壁・巾木：外装薄塗材E、プール取合いシーリング9×15 撤去、単管床組・日除け・倉庫・コースロープ 撤去、フェンス 撤去	鉄骨階段	G	鉄部：SOP塗装 踊場：長尺塩ビシート 撤去、モルタル金ゴテ
2階・3階・R階屋根	C	ウレタン塗膜防水 モルタル金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水、鉄筋コンクリート下地 高架水槽（鉄骨共） 撤去（R階）	手洗い場 洗眼場	J	人造石研出し 撤去
庇・梁型	D	庇・梁型上面：外装薄塗材E、防水モルタル金ゴテ 庇・梁型下面：外装薄塗材E			



工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

既存 4階平面図

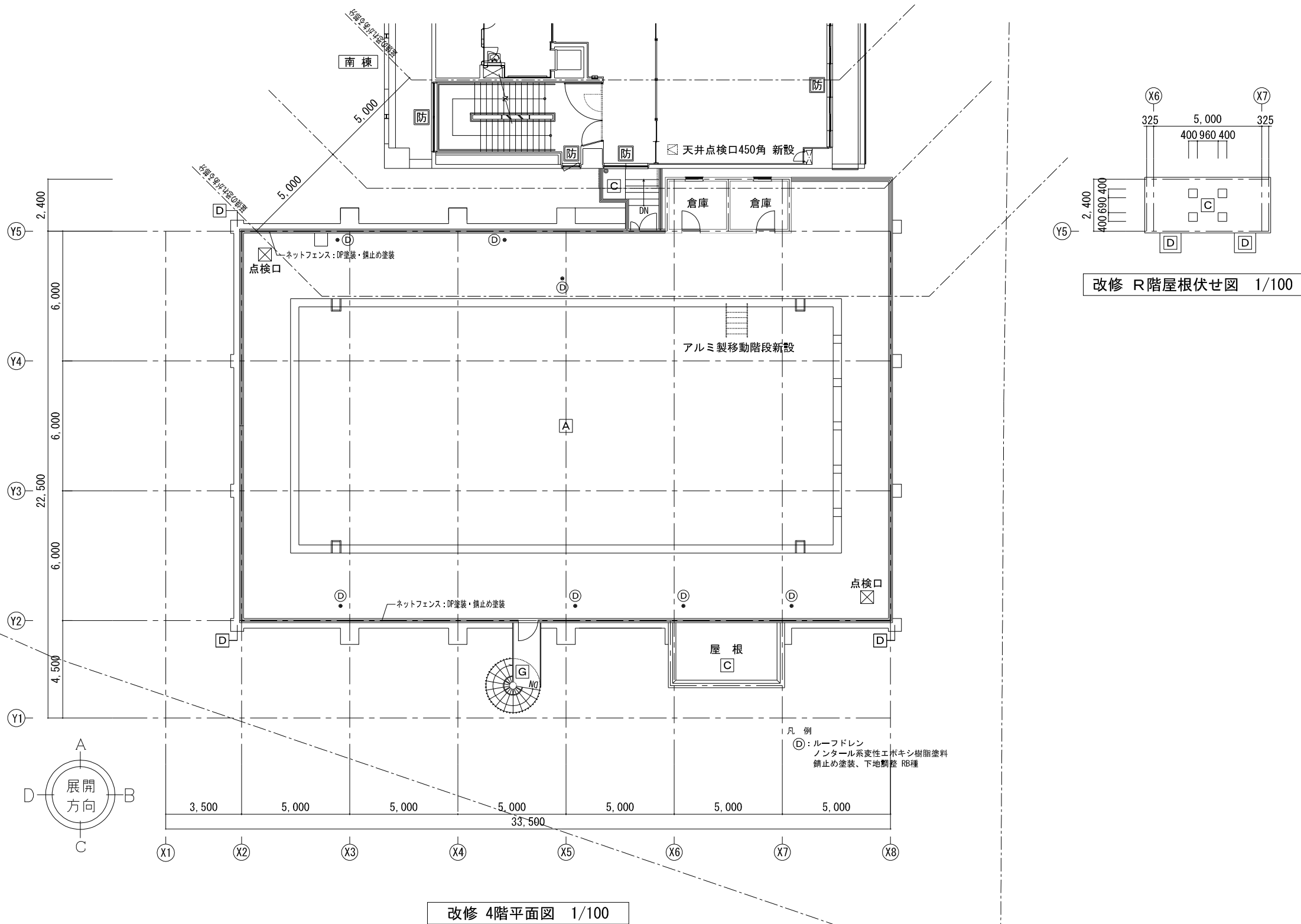
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

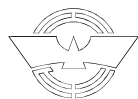
図面番号

A - 14

外 部 改 修 仕 上 表					
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
4階屋根	A	超速硬化ウレタン防水 X-1H（粗面仕上）・X-2H、下地調整、一部嵩上げコンクリート プール取合いシーリング（MS-2）9×15；打替、ネットフェンス：DP塗装・錆止め塗装、フェンス新設	鉄骨階段	G	鉄部：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整 RB種 踊場：防滑性ビニル床シート 新設
2階・3階・R階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整			
庇・梁型	D	庇・梁型上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇・梁型下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa			



工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

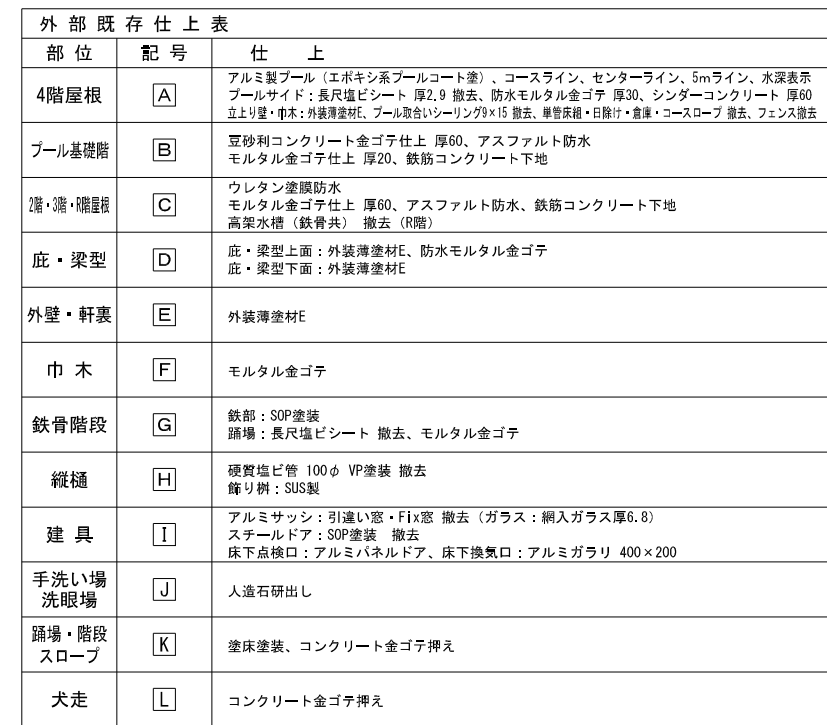
改修 4階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

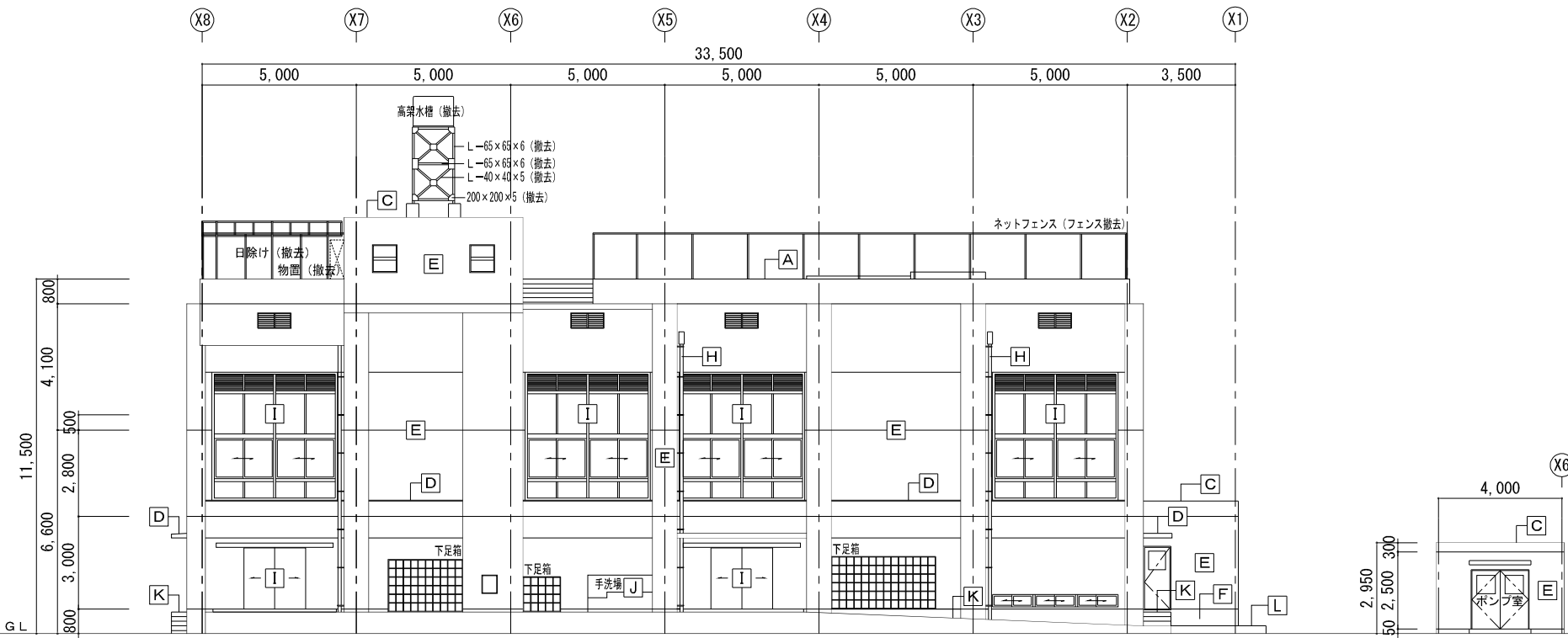
図面番号

A - 15



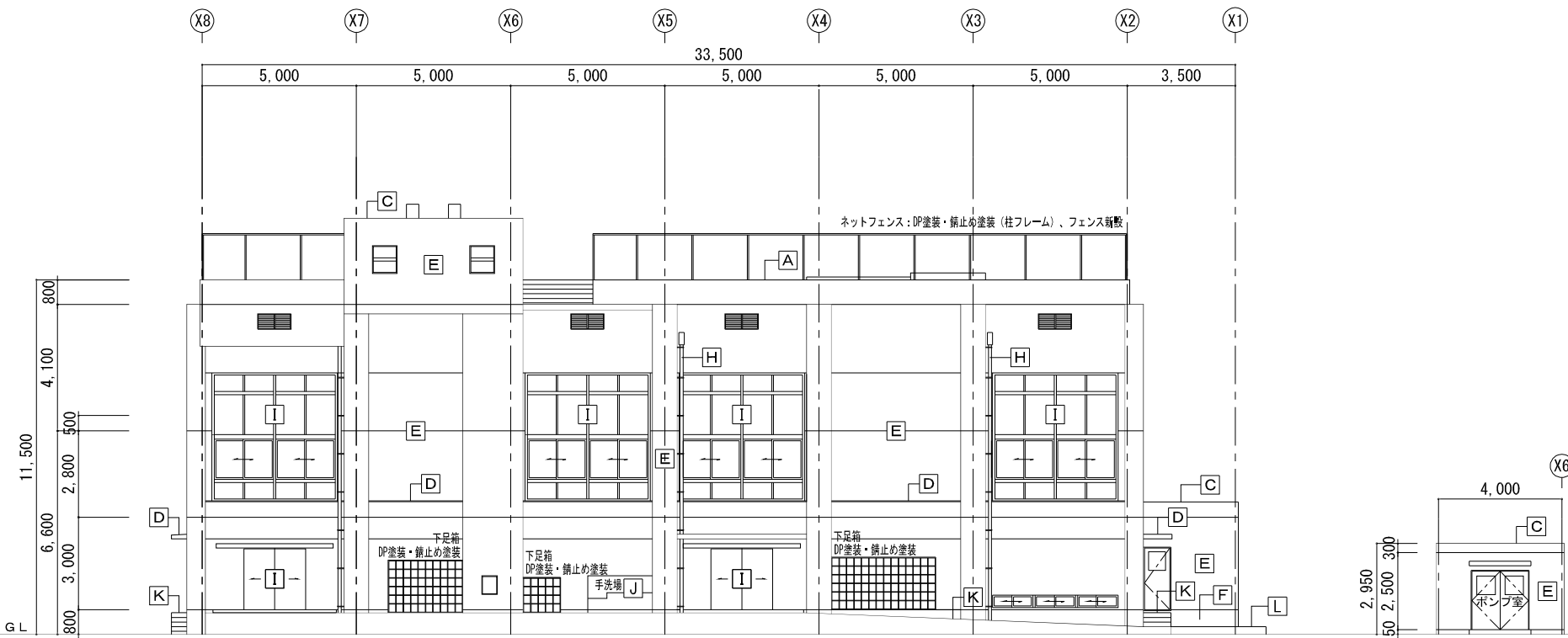
外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
4階屋根	[A]	超速硬化ウレタン防水 X-1H（粗面仕上）・X-2H、下地調整、一部嵩上げコンクリート プール取合いシーリング (MS-2) 9×15：打替、ネットフェンス：DP塗装・錆止め塗装、フェンス新設
プール基礎階	[B]	既存のまま
2階・3階・4階屋根	[C]	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整
庇・梁型	[D]	庇・梁型上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇・梁型下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外壁・軒裏	[E]	防水形複層塗材E（外壁）・外装薄塗材E（軒裏）、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修：Uカット樹脂モルタル補修、建具廻りシーリング打替え（PLI-2）
巾 木	[F]	高圧水洗10～15Mpa
鉄骨階段	[G]	鉄部：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整 RB種 踊場：防滑性ビニル床シート 新設
縦樋	[H]	錆り樹：クリーニング 堅樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設
建 具	[I]	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設（建具表による） スチールドア：引き分けハンガードア 新設（建具表による） 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装（建具表による）
手洗い場 洗眼場	[J]	クリーニング、撤去（4階 手洗い場・洗眼場）
踊場・階段 スロープ	[K]	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修
犬 走	[L]	既存のまま

改修西側立面図 1/100



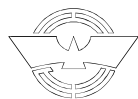
外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
4階屋根	A	アルミ製プール（エポキシ系プールコート塗）、コースライン、センターライン、5mライン、水深表示 プールサイド：長尺塩ビシート 厚2.9 撤去、防水モルタル金ゴテ 厚30、シンダーコンクリート 厚60 立上り壁・巾木：外装薄塗材E、プール取合いシーリング9×15 撤去、単管床組・日除け・倉庫・コースロープ 撤去、フェンス撤去
プール基礎階	B	豆砂利コンクリート金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地
階・階・階	C	ウレタン塗膜防水 モルタル金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水、鉄筋コンクリート下地 高架水槽（鉄骨共） 撤去（R階）
庇・梁型	D	庇・梁型上面：外装薄塗材E、防水モルタル金ゴテ 庇・梁型下面：外装薄塗材E
外壁・軒裏	E	外装薄塗材E
巾 木	F	モルタル金ゴテ
鉄骨階段	G	鉄部：SOP塗装 踊場：長尺塩ビシート 撤去、モルタル金ゴテ
縦樋	H	硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去 飾り樹：SUS製
建 具	I	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去（ガラス：網入ガラス厚6.8） スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場 洗眼場	J	人造石研出し
踊場・階段 スロープ	K	塗床塗装、コンクリート金ゴテ押え
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え

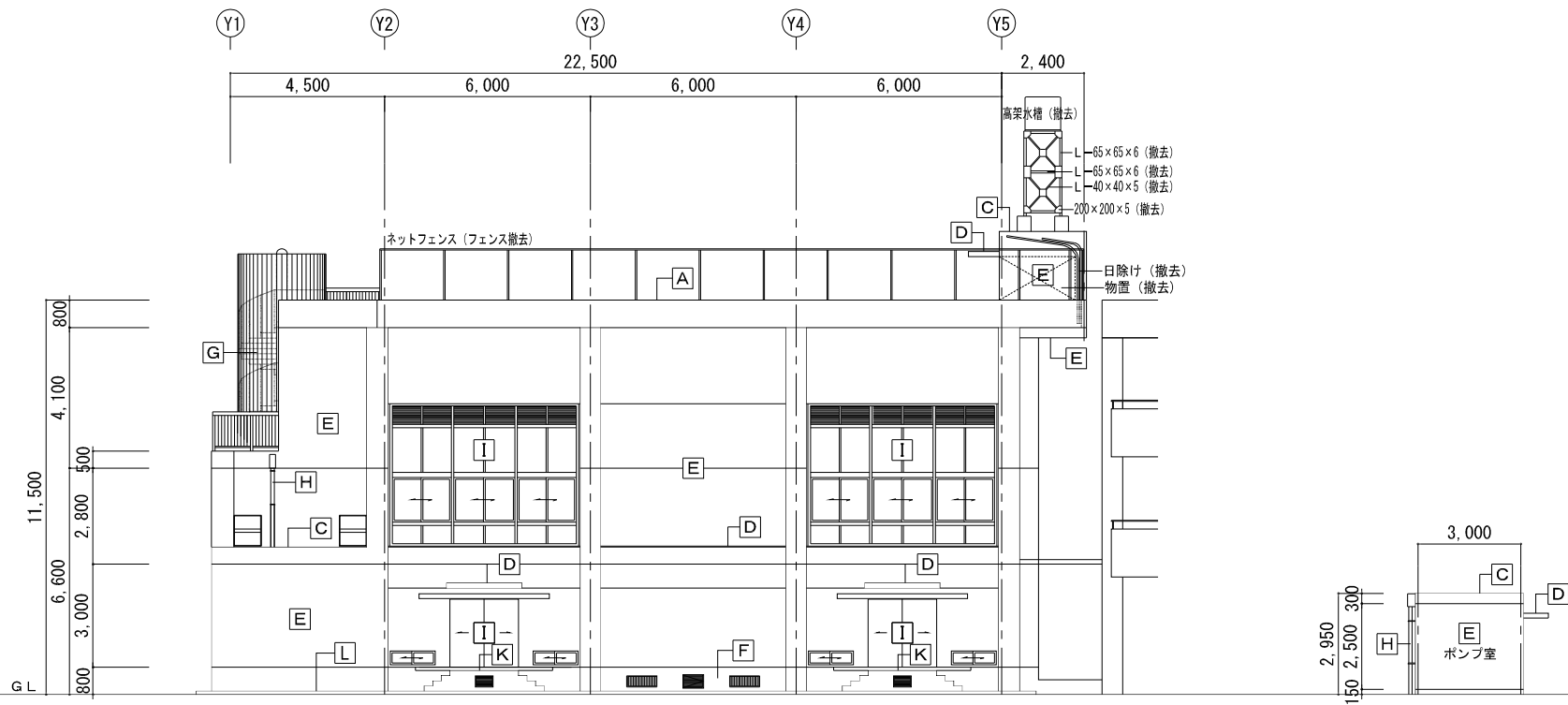
既存東側立面図 1/100



外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
4階屋根	A	超速硬化ウレタン防水 X-1H（粗面仕上）・X-2H、下地調整、一部嵩上げコンクリート プール取合いシーリング（MS-2）9×15：打替、ネットフェンス：DP塗装・錆止めの塗装、フェンス新設
プール基礎階	B	既存のまま
階・階・階	C	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整
庇・梁型	D	庇・梁型上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇・梁型下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外壁・軒裏	E	防水形複層塗材E（外壁）・外装薄塗材E（軒裏）、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修：Uカット樹脂モルタル補修、建具廻りシーリング打替え（PU-2）
巾 木	F	高圧水洗10～15Mpa
鉄骨階段	G	鉄部：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止めの塗装、下地調整 RB種 踊場：防滑性ニール床シート 新設
縦樋	H	飾り樹：クリーニング 縦樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設
建 具	I	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設（建具表による） スチールドア：引き分けハンガードア 新設（建具表による） 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装（建具表による）
手洗い場 洗眼場	J	クリーニング、撤去（4階 手洗い場・洗眼場）
踊場・階段 スロープ	K	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修
犬走	L	既存のまま

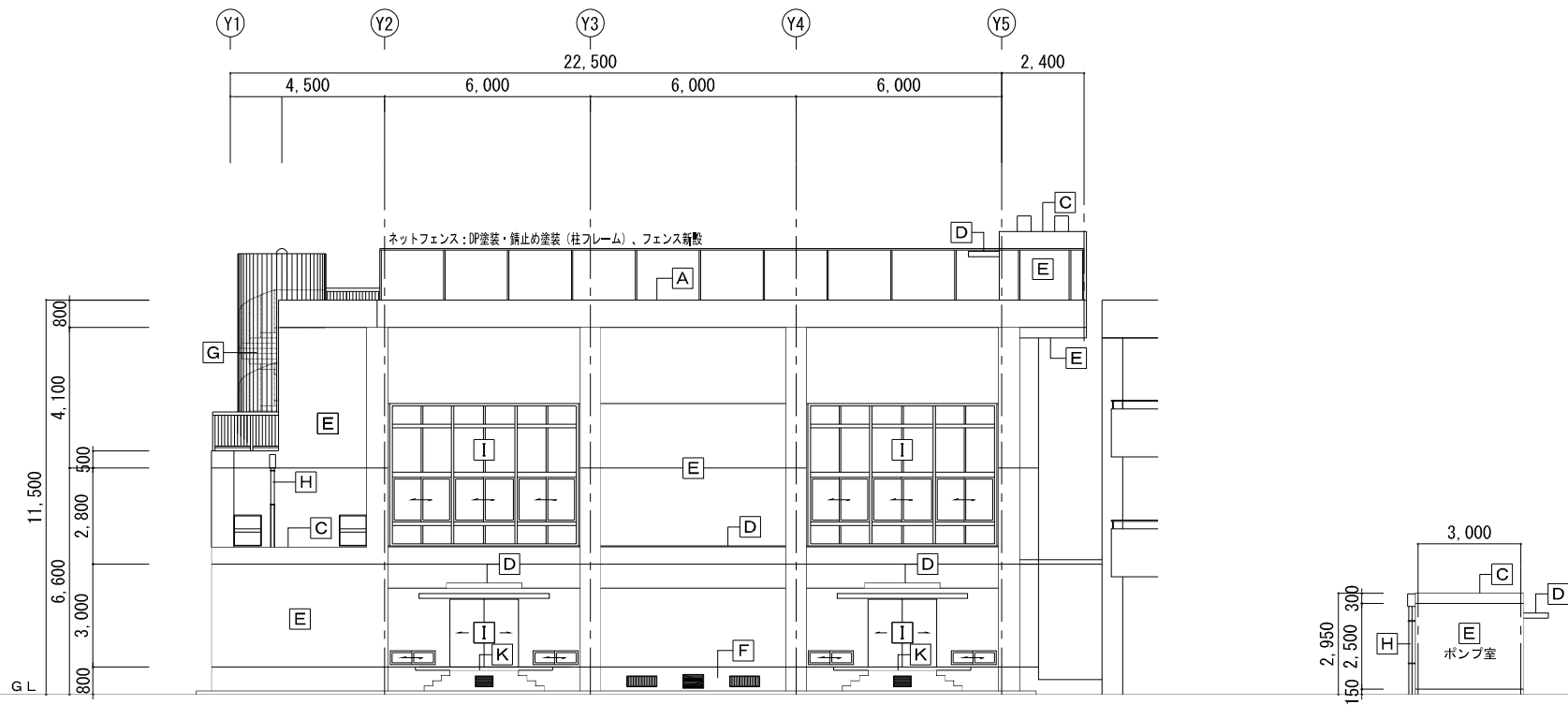
改修東側立面図 1/100





外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
4階屋根	A	アルミ製ブルー（エポキシ系ブルーコート塗）、コースライン、センターライン、5mライン、水深表示ブルーサイド；長尺塩ビシート 厚2.9 撤去、防水モルタル金ゴテ 厚30、シンダーコンクリート 厚60 立上り壁・巾木：外装薄塗材E、ブルー取合いシーリング9×15 撤去、単管床組・日除け・倉庫・コースロープ 撤去、フェンス撤去
プール基礎階	B	豆砂利コンクリート金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地
階・階段・階段	C	ウレタン塗膜防水 モルタル金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水、鉄筋コンクリート下地 高架水槽（鉄骨共） 撤去（R階）
庇・梁型	D	庇・梁型上面：外装薄塗材E、防水モルタル金ゴテ 庇・梁型下面：外装薄塗材E
外壁・軒裏	E	外装薄塗材E
巾 木	F	モルタル金ゴテ
鉄骨階段	G	鉄部：SOP塗装 踊場：長尺塩ビシート 撤去、モルタル金ゴテ
縦樋	H	硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去 飾り樹：SUS製
建 具	I	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去（ガラス：網入ガラス厚6.8） スチールドア：SOP塗装 撤去 床下換気口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場 洗眼場	J	人造石研出し
踊場・階段 スロープ	K	塗床塗装、コンクリート金ゴテ押え
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え

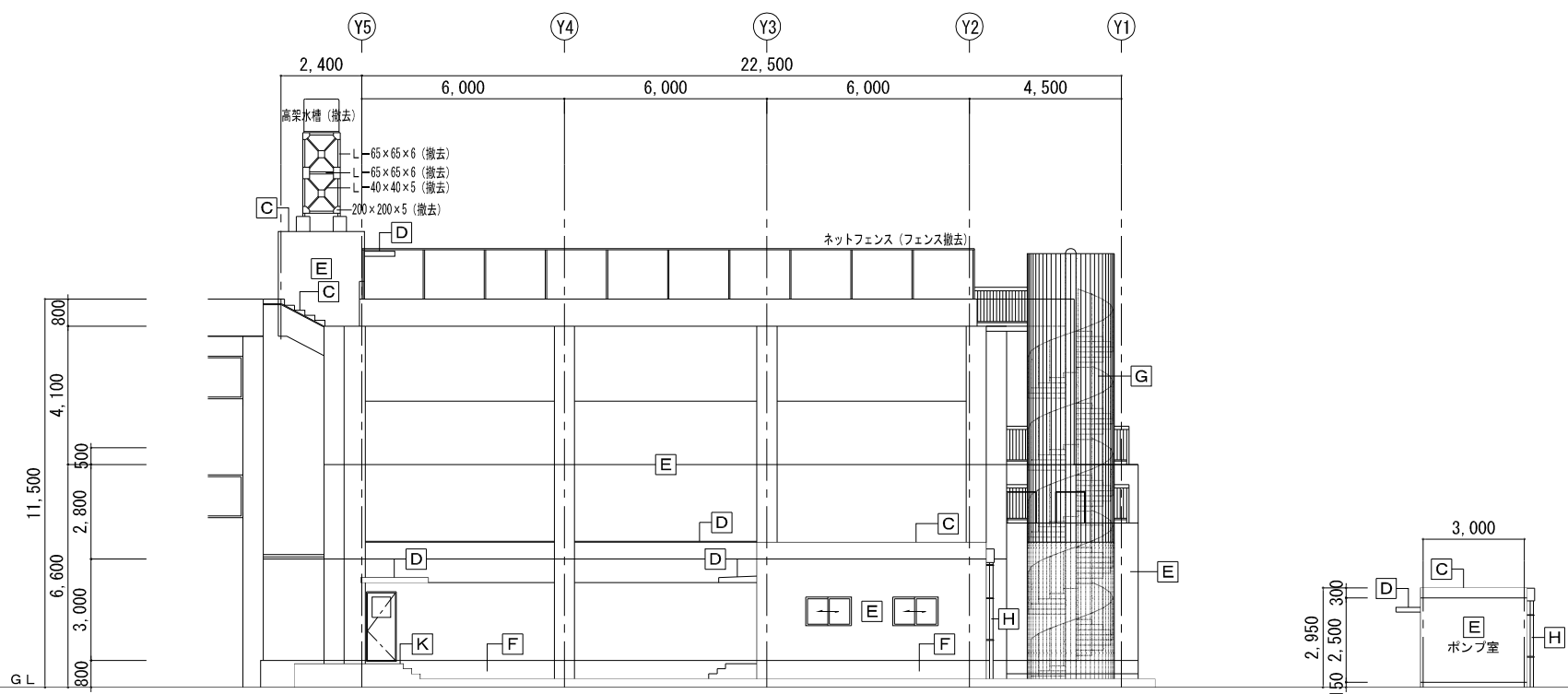
既存南側立面図 1/100



外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
4階屋根	A	超速硬化ウレタン防水 X-1H（粗面仕上）・X-2H、下地調整、一部嵩上げコンクリート ブルー取合いシーリング（MS-2）9×15：打替、ネットフェンス：DP塗装・錆止め塗装、フェンス新設
プール基礎階	B	既存のまま
階・階段・階段	C	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整
庇・梁型	D	庇・梁型上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇・梁型下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外壁・軒裏	E	防水形複層塗材E（外壁）・外装薄塗材E（軒裏）、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修：Uカット樹脂モルタル補修、建具廻りシーリング打替え（PU-2）
巾 木	F	高圧水洗10～15Mpa
鉄骨階段	G	鉄部：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整 RB種 踊場：防滑性ビニル床シート 新設
縦樋	H	飾り樹：クリーニング 縦樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設
建 具	I	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設（建具表による） スチールドア：引き分けハンガードア 新設（建具表による） 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装（建具表による）
手洗い場 洗眼場	J	クリーニング、撤去（4階 手洗い場・洗眼場）
踊場・階段 スロープ	K	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修
犬走	L	既存のまま

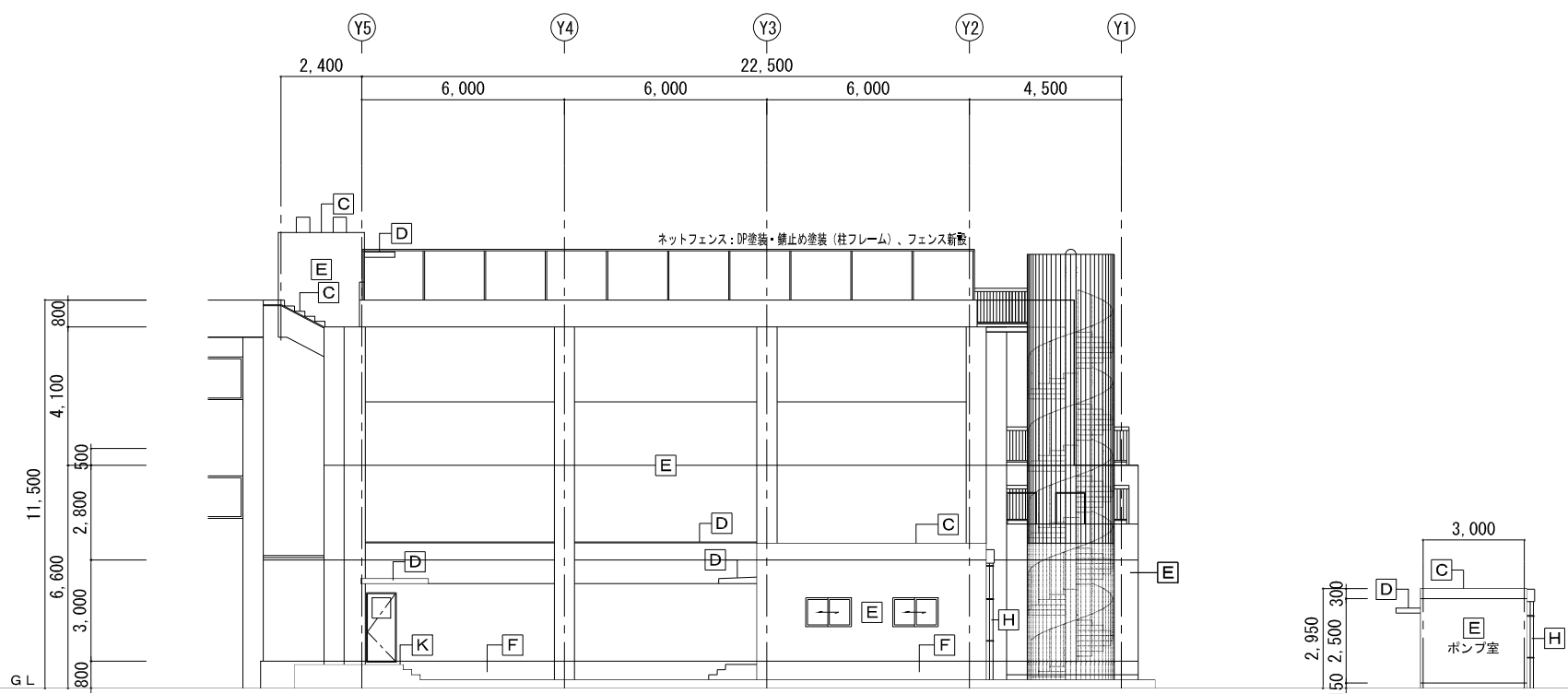
改修南側立面図 1/100





外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
4階屋根	A	アルミ製プール (エポキシ系プールコート塗) 、コースライン、センターライン、5mライン、水深表示 プールサイド：長尺塩ビシート 厚2.9 撤去、防水モルタル金ゴテ 厚30、シンダーコンクリート 厚60 立上り壁・市木：外装薄塗材E、プール取合いシーリング9×15 撤去、単管床組・日除け・倉庫・コースロープ 撤去、フェンス撤去
プール基礎階	B	豆砂利コンクリート金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地
2階・3階・階屋根	C	ウレタン塗膜防水 モルタル金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水、鉄筋コンクリート下地 高梁水槽 (鉄骨共) 撤去 (R階)
庇・梁型	D	庇・梁型上面：外装薄塗材E、防水モルタル金ゴテ 庇・梁型下面：外装薄塗材E
外壁・軒裏	E	外装薄塗材E
巾 木	F	モルタル金ゴテ
鉄骨階段	G	鉄部：SOP塗装 踊場：長尺塩ビシート 撤去、モルタル金ゴテ
縦樋	H	硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去 飾り樹：SUS製
建 具	I	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去 (ガラス：網入ガラス厚6.8) スチールドア：SOP塗装 撤去 床下換気口：アルミバネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場 洗眼場	J	人造石研出し
踊場・階段 スロープ	K	塗床塗装、コンクリート金ゴテ押え
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え

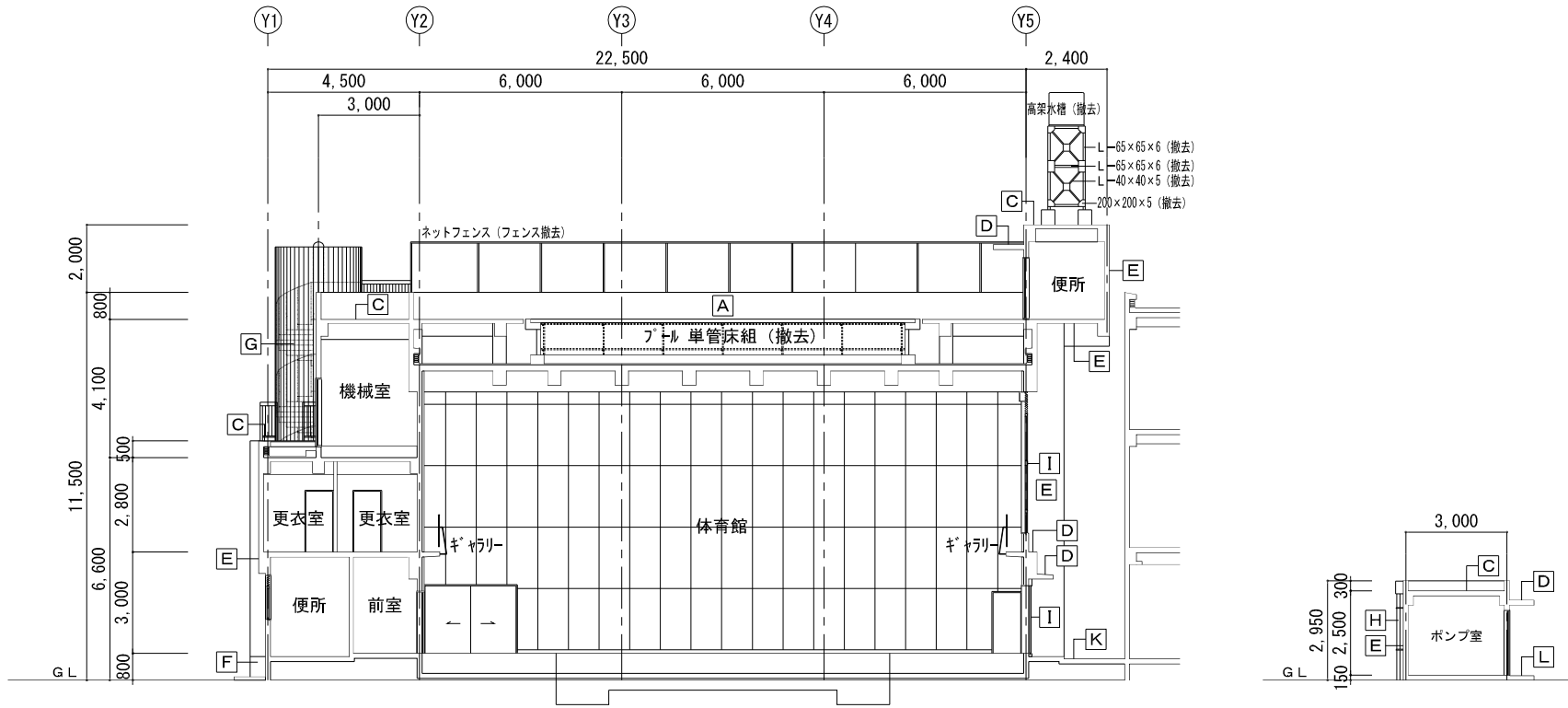
既存北側立面図 1/100



外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
4階屋根	A	超速硬化ウレタン防水 X-1H (粗面仕上) ・X-2H、下地調整、一部嵩上げコンクリート プール取合いシーリング (MS-2) 9×15：打替、ネットフェンス：DP塗装・錆止め塗装、フェンス新設
プール基礎階	B	既存のまま
2階・3階・階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整
庇・梁型	D	庇・梁型上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇・梁型下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外壁・軒裏	E	防水形複層塗材E (外壁) ・外装薄塗材E (軒裏)、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修：Uカット樹脂モルタル補修、建具廻りシーリング打替え (PU-2)
巾 木	F	高圧水洗10～15Mpa
鉄骨階段	G	鉄部：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整 RB種 踊場：防滑性ビニル床シート 新設
縦樋	H	飾り樹：クリーニング 縦樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設
建 具	I	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設 (建具表による) スチールドア：引き分けハンガードア 新設 (建具表による) 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装 (建具表による)
手洗い場 洗眼場	J	クリーニング、撤去 (4階 手洗い場・洗眼場)
踊場・階段 スロープ	K	水性アクリル樹脂系塗床 (防滑仕上)、欠損補修、クラック補修
犬走	L	既存のまま

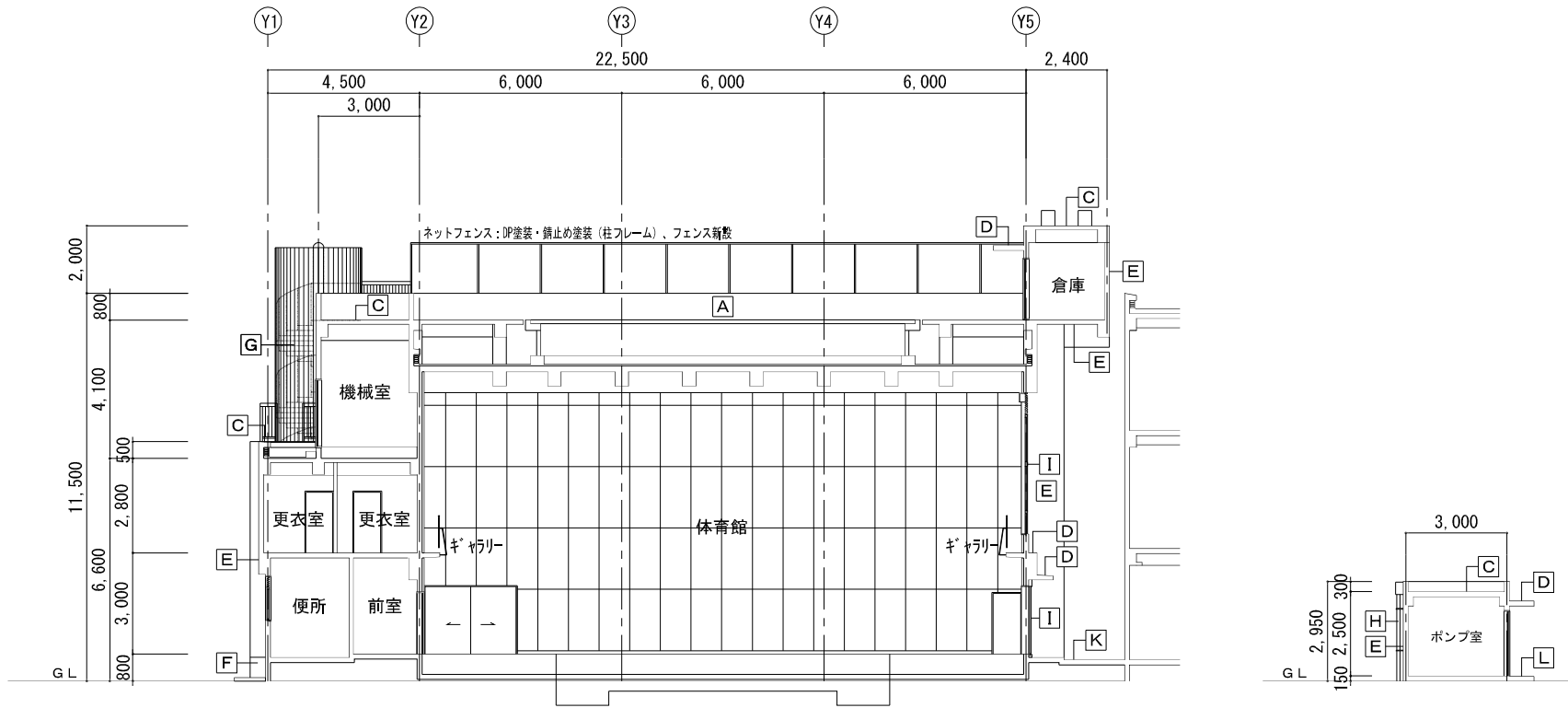
改修北側立面図 1/100





既存断面図 (1) 1/100

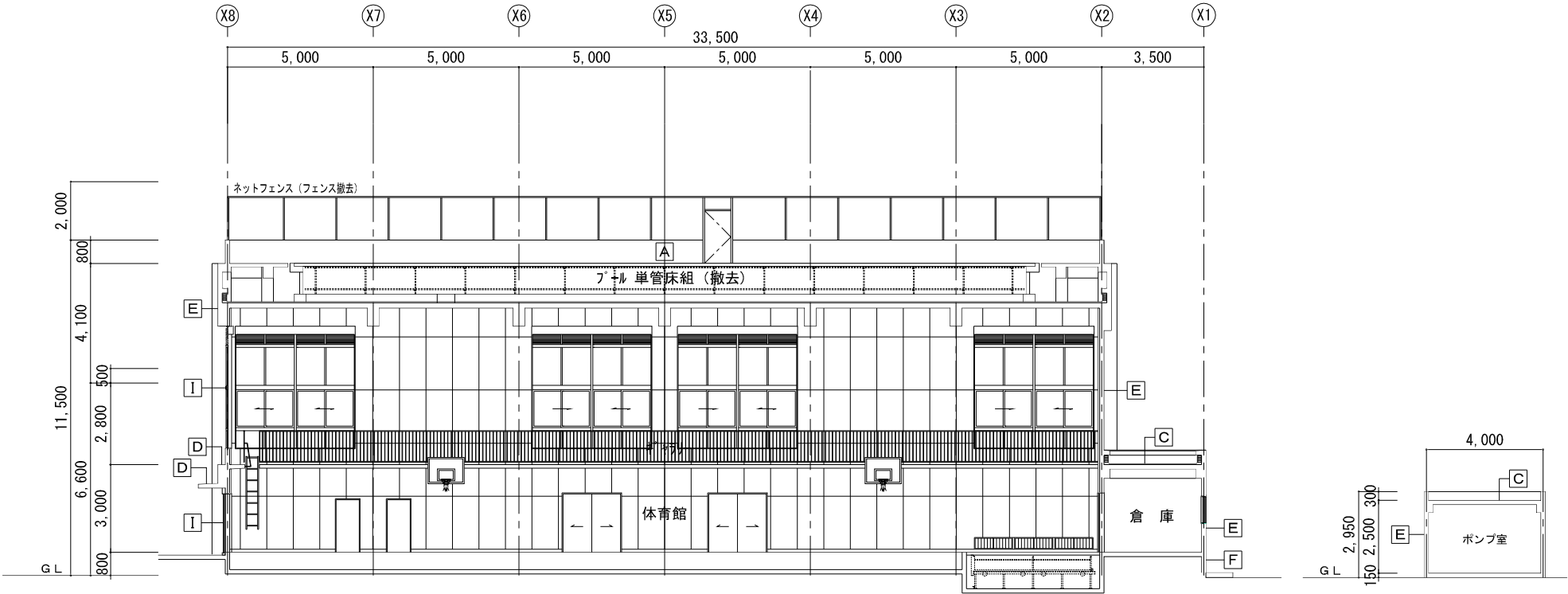
外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
4階屋根	A	アルミ製プール（エポキシ系プールコート塗）、コースライン、センターライン、5mライン、水深表示 プールサイド：長尺塩ビシート 厚2.9 撤去、防水モルタル金ゴテ 厚30、シンダーコンクリート 厚60 立上り壁・巾木：外装薄塗材E、プール取合いシーリング9×15 撤去、単管床組・日除け・倉庫・コースロープ 撤去、フェンス撤去
プール基礎階	B	豆砂利コンクリート金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地
2階・3階・階屋根	C	ウレタン塗膜防水 モルタル金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水、鉄筋コンクリート下地 高架水槽（鉄骨共） 撤去（R階）
庇・梁型	D	庇・梁型上面：外装薄塗材E、防水モルタル金ゴテ 庇・梁型下面：外装薄塗材E
外壁・軒裏	E	外装薄塗材E
巾 木	F	モルタル金ゴテ
鉄骨階段	G	鉄部：SOP塗装 踊場：長尺塩ビシート 撤去、モルタル金ゴテ
縦樋	H	硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去 飾り樹：SUS製
建 具	I	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去（ガラス：網入ガラス厚6.8） スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場 洗眼場	J	人造石研出し
踊場・階段 スロープ	K	塗床塗装、コンクリート金ゴテ押え
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え



改修断面図 (1) 1/100

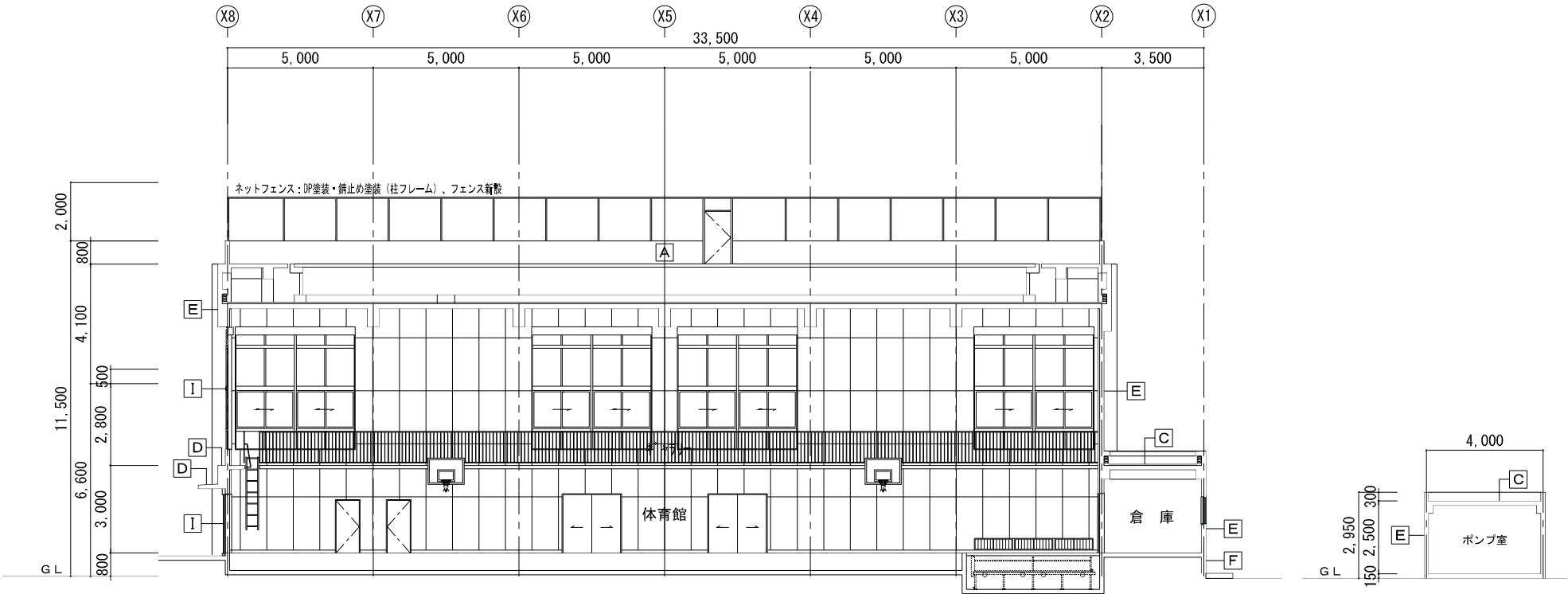
外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
4階屋根	A	超速硬化ウレタン防水 X-1H（粗面仕上）・X-2H、下地調整、一部嵩上げコンクリート プール取合いシーリング（MS-2）9×15：打替、ネットフェンス：DP塗装・錆止めの塗装、フェンス新設
プール基礎階	B	既存のまま
2階・3階・階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整
庇・梁型	D	庇・梁型上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇・梁型下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外壁・軒裏	E	防水形複層塗材E（外壁）・外装薄塗材E（軒裏）、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修：Uカット樹脂モルタル補修、建具廻りシーリング打替え（PU-2）
巾 木	F	高圧水洗10～15Mpa
鉄骨階段	G	鉄部：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止めの塗装、下地調整 RB種 踊場：防滑性ビニル床シート 新設
縦樋	H	飾り樹：クリーニング 縦樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設
建 具	I	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設（建具表による） スチールドア：引き分けハンガードア 新設（建具表による） 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装（建具表による）
手洗い場 洗眼場	J	クリーニング、撤去（4階 手洗い場・洗眼場）
踊場・階段 スロープ	K	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修
犬走	L	既存のまま





既存断面図 (2) 1/100

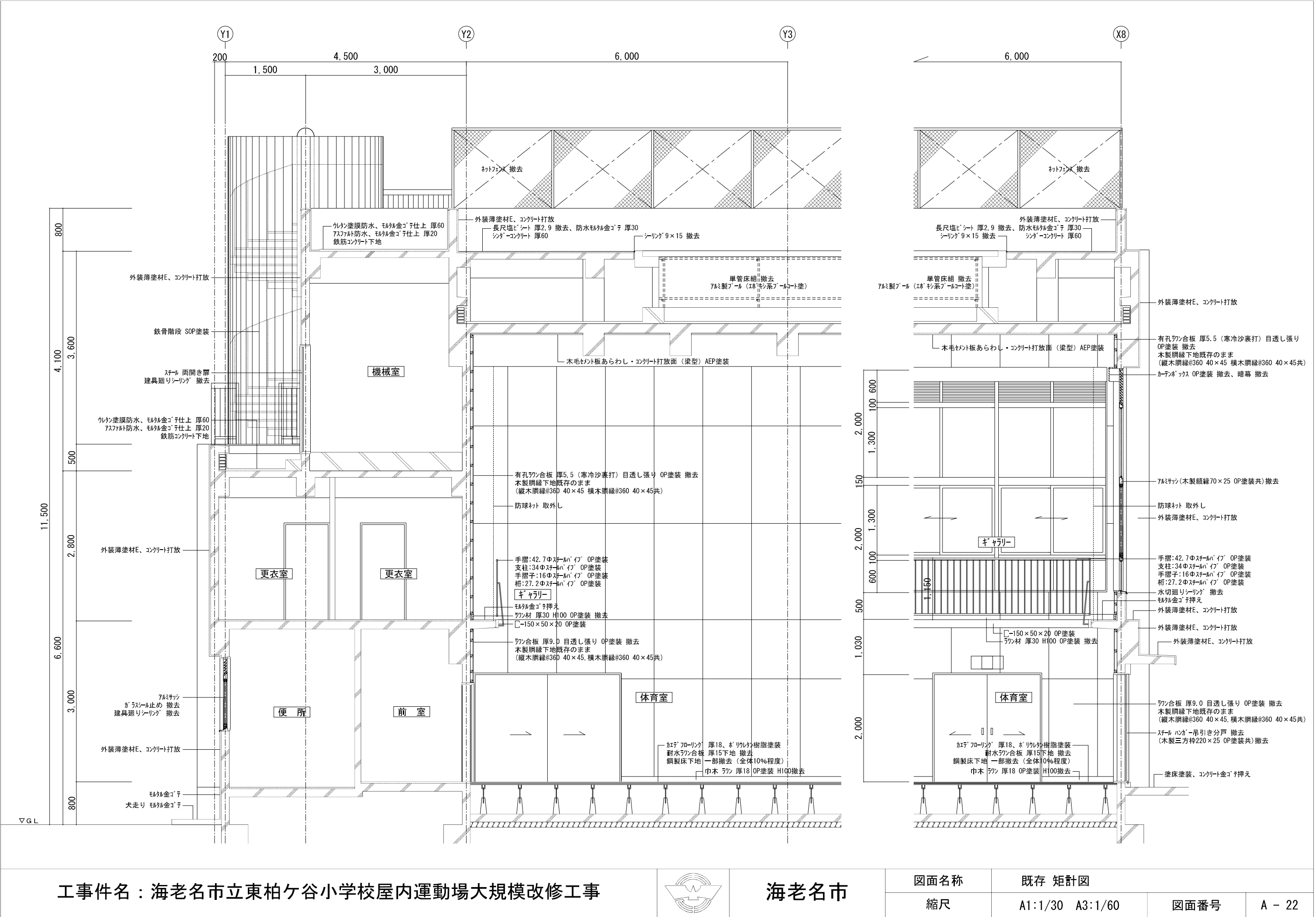
外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
4階屋根	A	アルミ製ブルー (エポキシ系ブルーコート塗) 、コースライン、センターライン、5mライン、水深表示ブルーサイド ; 長尺塩ビシート 厚2.9 撤去、防水モルタル金ゴテ 厚30、シンダーコンクリート 厚60 立上り壁・巾木 : 外装薄塗材E、ブルー取合いシーリング9×15 撤去、単管床組・日除け・倉庫・コースロープ 撤去、フェンス撤去
ブルー基礎階	B	豆砂利コンクリート金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地
階・階・階	C	ウレタン塗膜防水 モルタル金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水、鉄筋コンクリート下地 高架水槽 (鉄骨共) 撤去 (R階)
庇・梁型	D	庇・梁型上面 : 外装薄塗材E、防水モルタル金ゴテ 庇・梁型下面 : 外装薄塗材E
外壁・軒裏	E	外装薄塗材E
巾 木	F	モルタル金ゴテ
鉄骨階段	G	鉄部 : SOP塗装 踊場 : 長尺塩ビシート 撤去、モルタル金ゴテ
縦樋	H	硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去 飾り樹 : SUS製
建 具	I	アルミサッシ : 引違い窓・Fix窓 撤去 (ガラス : 網入ガラス厚6.8) スチールドア : SOP塗装 撤去 床下換気口 : アルミパネルドア、床下換気口 : アルミガラリ 400×200
手洗い場 洗眼場	J	人造石研出し
踊場・階段 スロープ	K	塗床塗装、コンクリート金ゴテ押え
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え

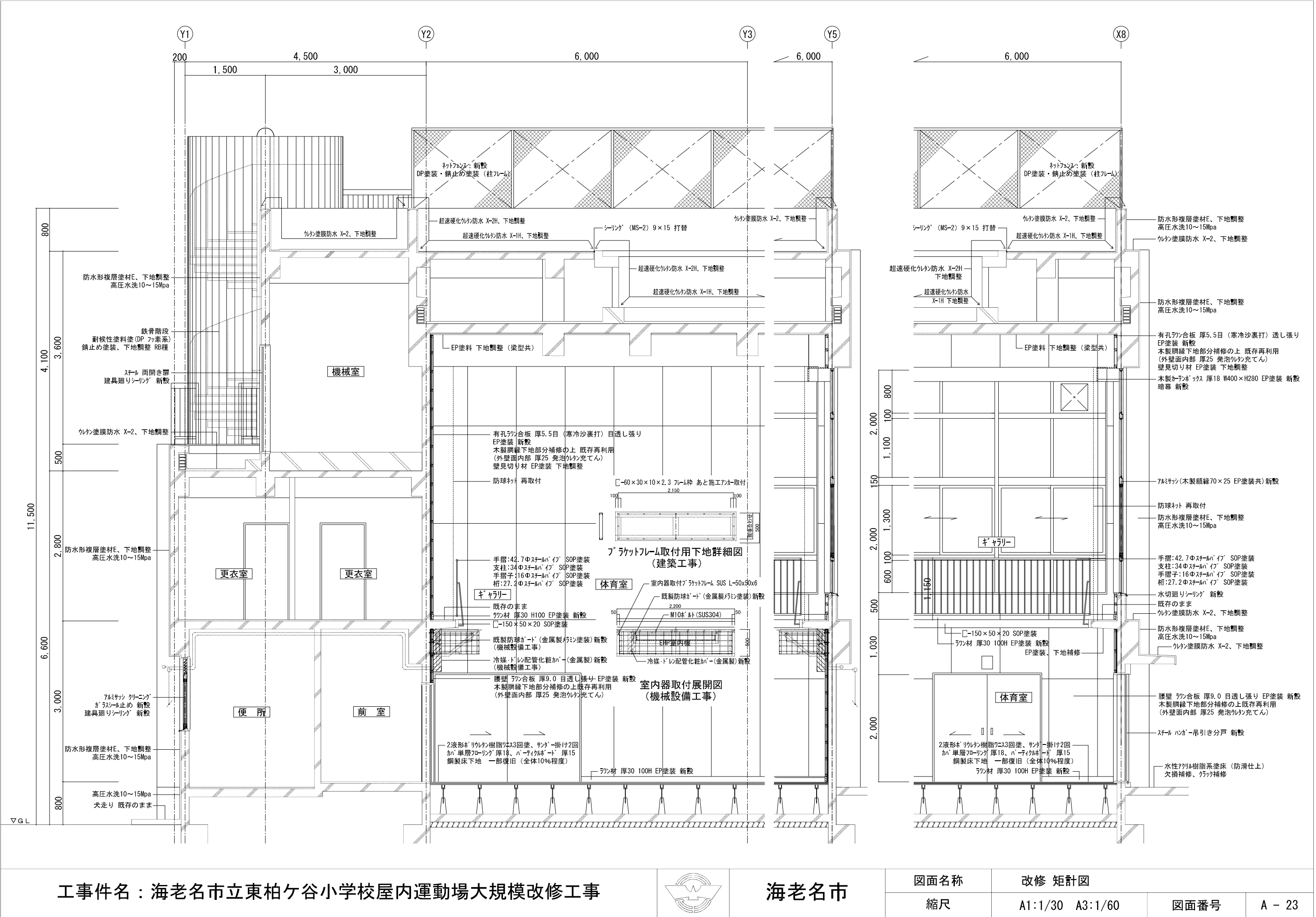


改修断面図 (2) 1/100

外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
4階屋根	A	超速硬化ウレタン防水 X-1H (粗面仕上) ・X-2H、下地調整、一部嵩上げコンクリートブルー取合いシーリング (MS-2) 9×15 : 打替、ネットフェンス : DP塗装・錆止めの塗装、フェンス新設
ブルー基礎階	B	既存のまま
階・階・階	C	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整
庇・梁型	D	庇・梁型上面 : ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇・梁型下面 : 外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外壁・軒裏	E	防水形複層塗材E (外壁) ・外装薄塗材E (軒裏) 、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修 : Uカット樹脂モルタル補修、建具廻りシーリング打替え (PU-2)
巾 木	F	高圧水洗10～15Mpa
鉄骨階段	G	鉄部 : 耐候性塗料塗 (DP フッ素系) 、錆止め塗装、下地調整 RB種 踊場 : 防滑性ビニル床シート 新設
縦樋	H	飾り樹 : クリーニング 縦樋 : カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設
建 具	I	アルミサッシ : 引違い窓・Fix窓 新設 (建具表による) スチールドア : 引き分けハンガード 新設 (建具表による) 既存建具 : ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装 (建具表による)
手洗い場 洗眼場	J	クリーニング、撤去 (4階 手洗い場・洗眼場)
踊場・階段 スロープ	K	水性アクリル樹脂系塗床 (防滑仕上) 、欠損補修、クラック補修
犬走	L	既存のまま







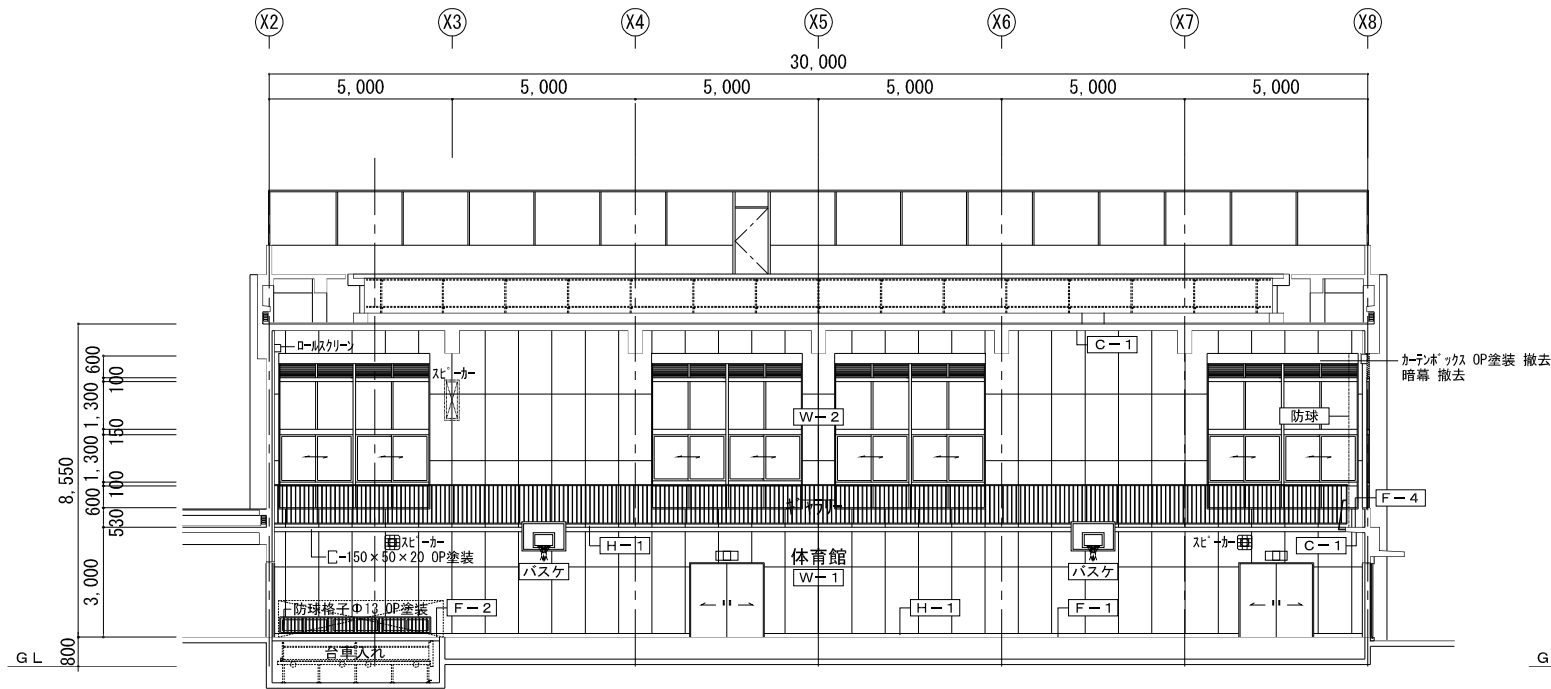
工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



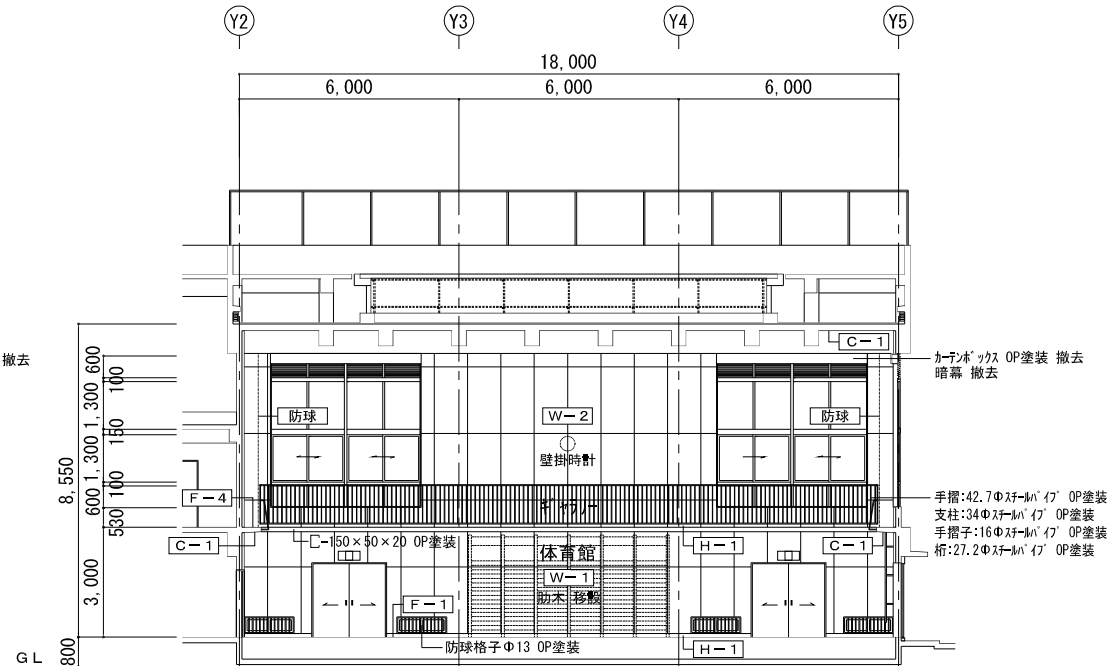
海老名市

図面名称		改修 矩計図	
縮尺		A1:1/30 A3:1/60	図面番号
			A - 23

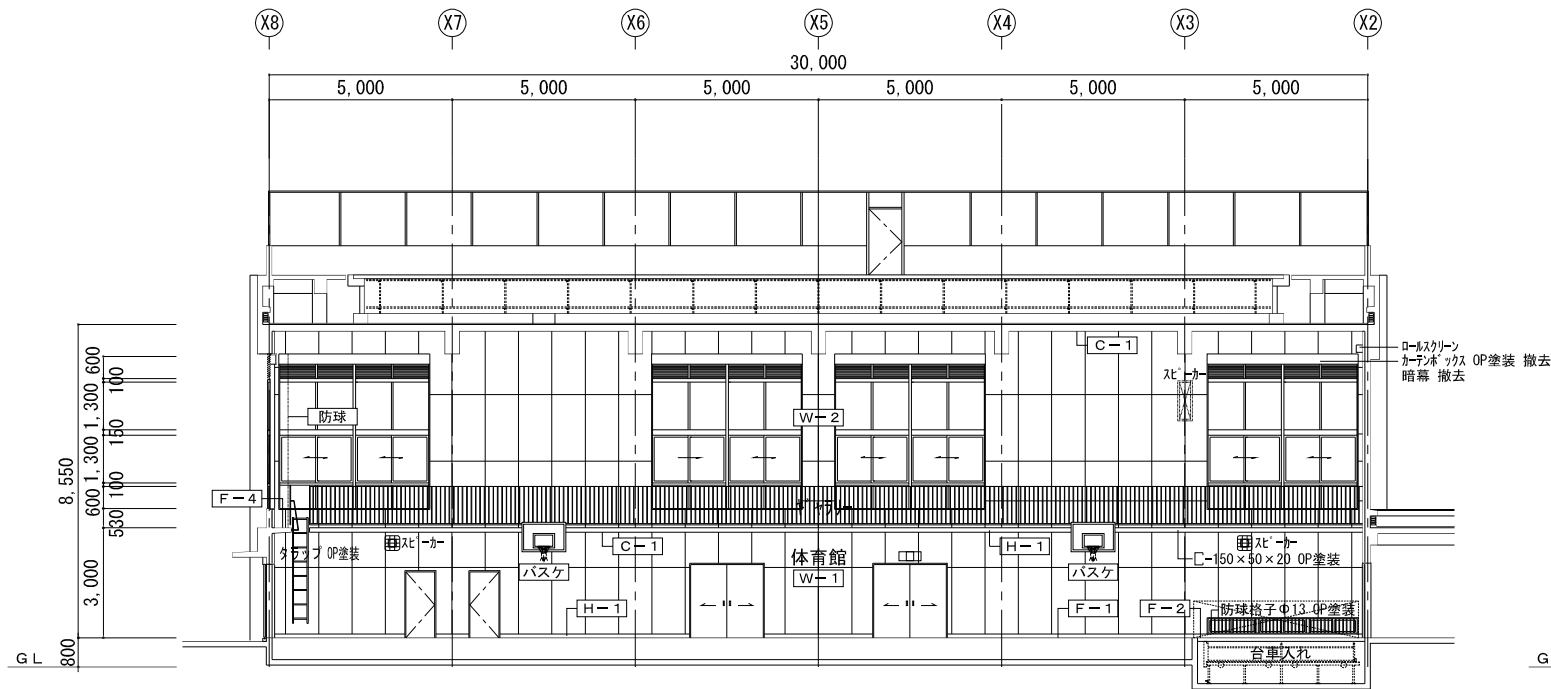
内 部 既 存 仕 上 表								
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
床	Fー1	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地、端部 撤去 鋼製床下地 一部撤去（全体10%程度）	巾木	Hー1	ラワン材 厚30 H100 OP塗装 撤去	天井	Cー1	木毛セメント板あらし・コンクリート打放面 AEP塗装
	Fー2	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地、框 撤去 上下可動式ステージ	壁	Wー1	ラワン合板 厚9 目透し張り OP塗装 撤去	バスケット ゴール	バスケ	バスケットゴール板 撤去
	Fー4	モルタル金ゴテ押え		Wー2	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷紗裏打）目透し張り OP塗装 撤去	防球ネット	防球	取外し



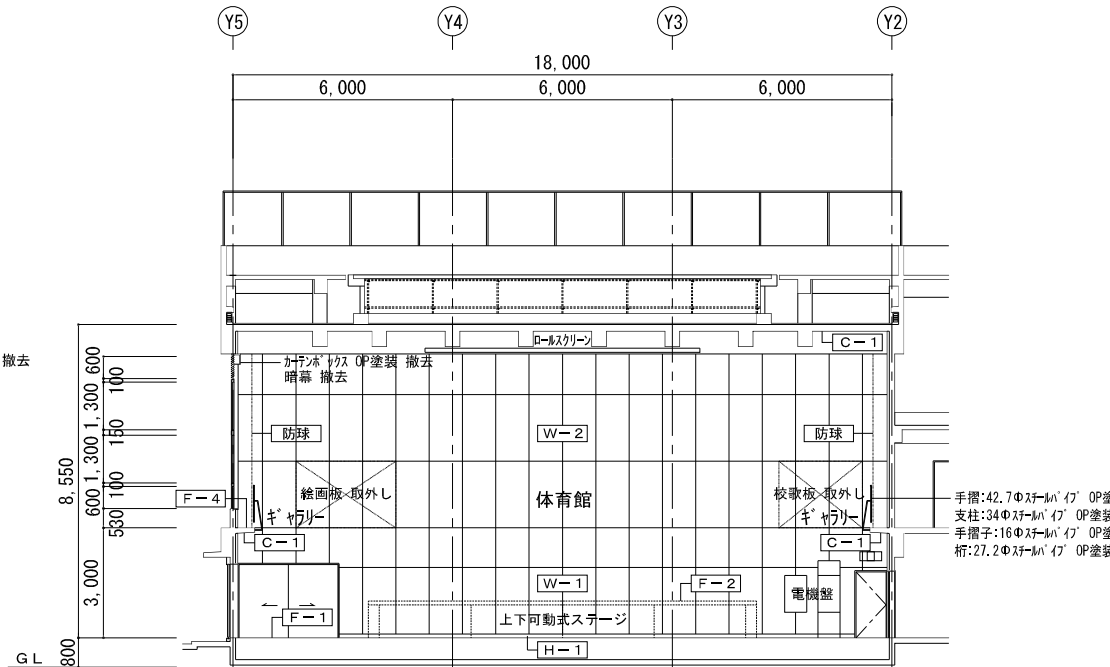
既存体育室 展開図 A面 1/100



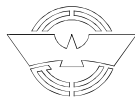
既存体育室 展開図 B面 1/100



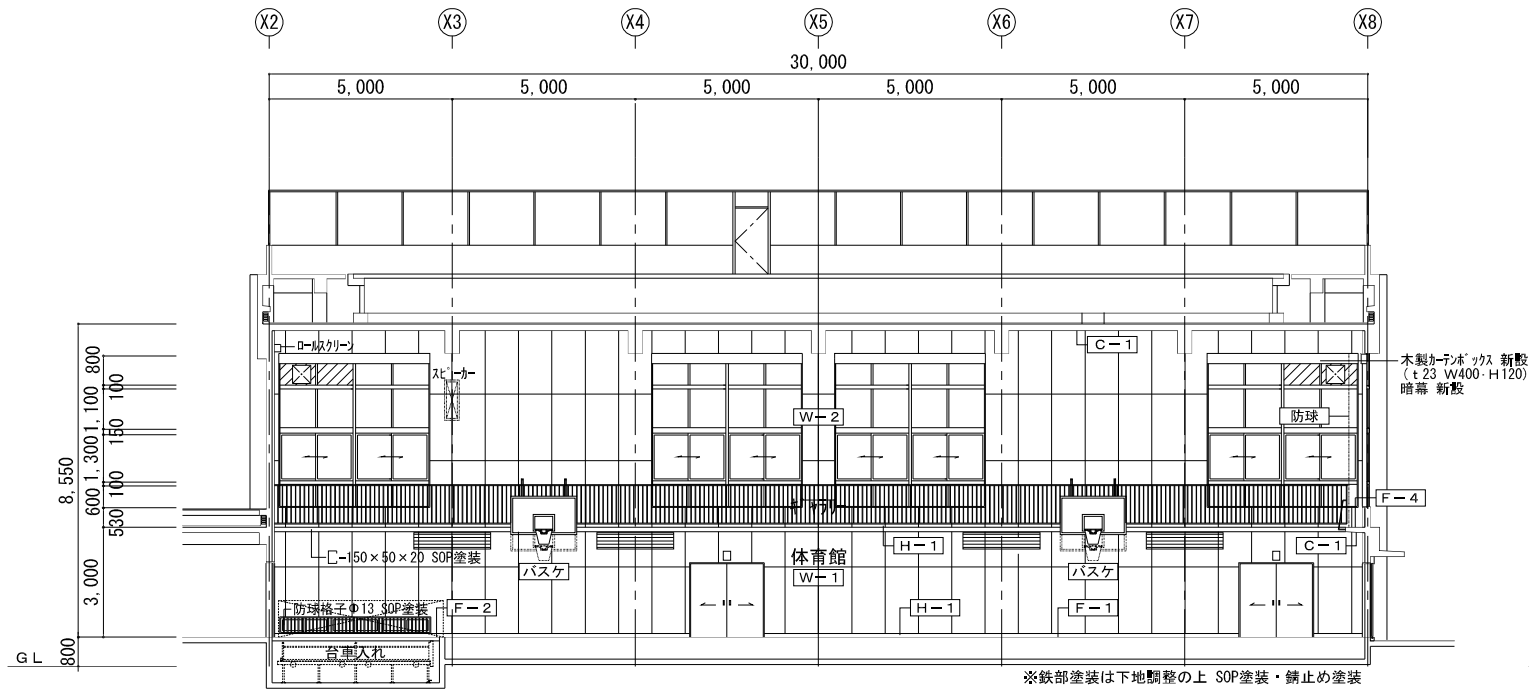
既存体育室 展開図 C面 1/100



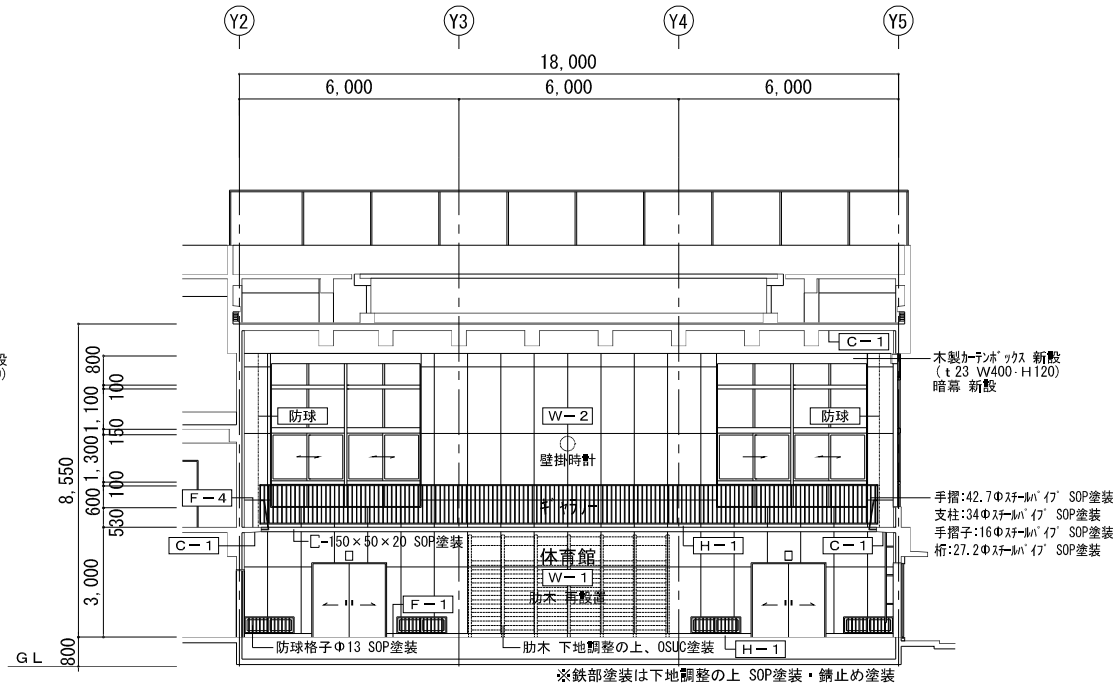
既存体育室 展開図 D面 1/100



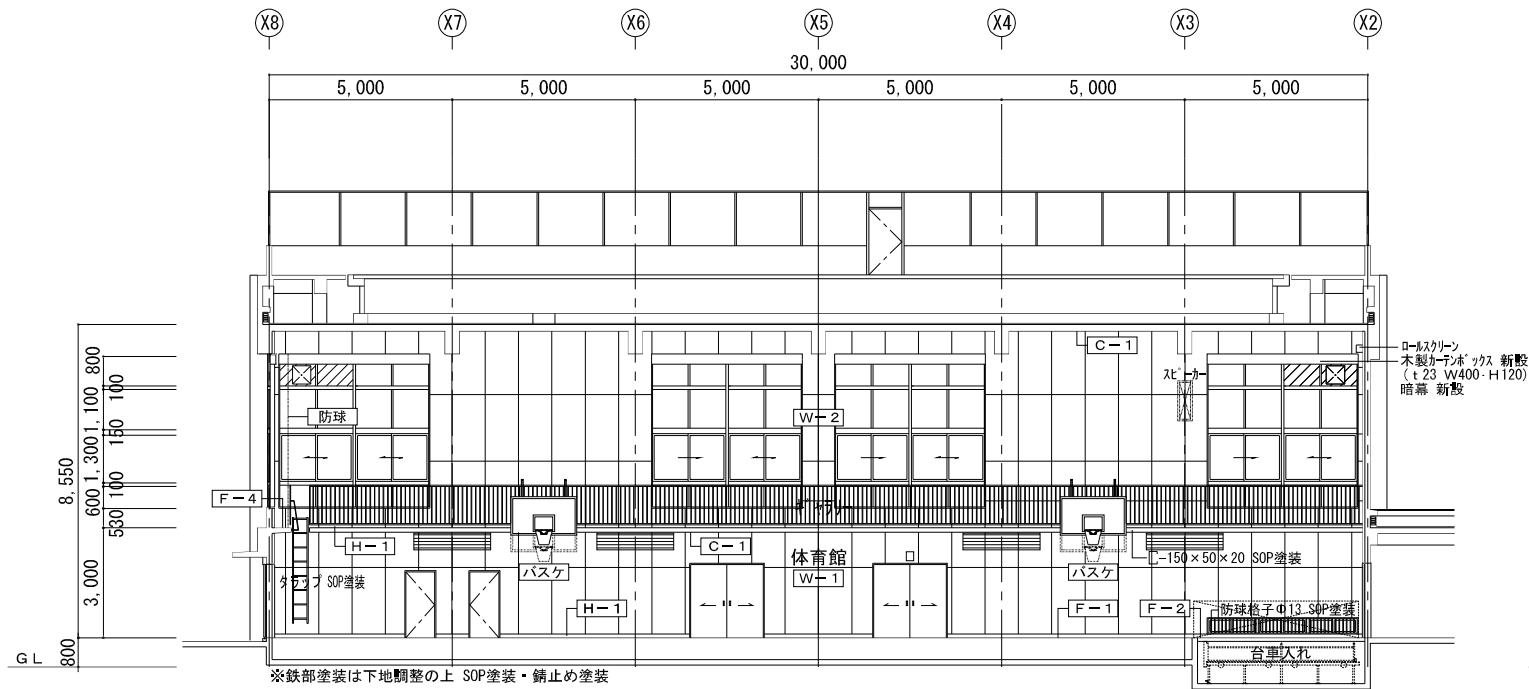
内 部 既 存 仕 上 表								
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
床	F－1	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗、サンダー掛け2回、カバ 単層フローリング厚18、パーティクルボード厚15、端部 カバ集成材 銅製床下地 一部復旧（全体10%程度）	巾木	H－1	ラワン材 厚30 H100 EP塗装 新設	天井	C－1	EP塗装 下地調整（梁型共）
	F－2	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗、サンダー掛け2回、カバ 単層フローリング厚18、パーティクルボード厚15、樑 カバ集成材 上下可動式ステージ 既存のまま	壁	W－1	ラワン合板 厚9（寒冷紗裏打）目透し張り EP塗装 新設、 外壁面：発泡ウレタン 厚25充填	バスケット ゴール	バスケ	手動折畳式バスケットゴール 新設
	F－4	既存のまま		W－2	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷紗裏打）目透し張り EP塗装 新設、 外壁面：発泡ウレタン 厚25充填	防球ネット	防球	再取付



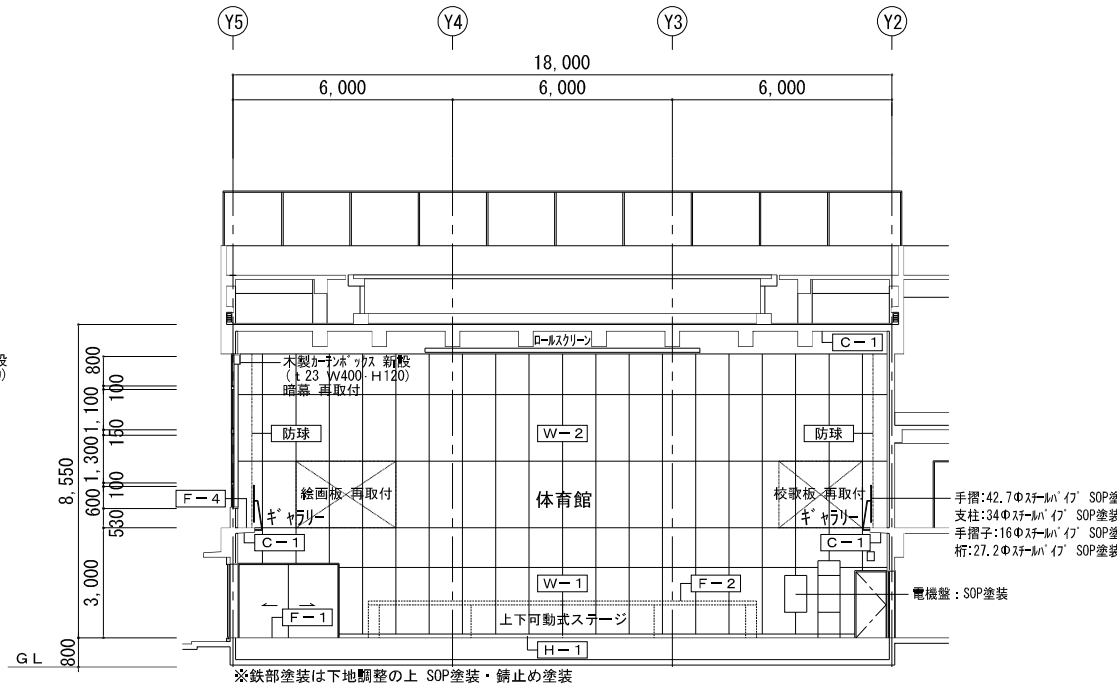
改修体育室 展開図 A面 1/100



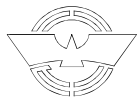
改修体育室 展開図 B面 1/100

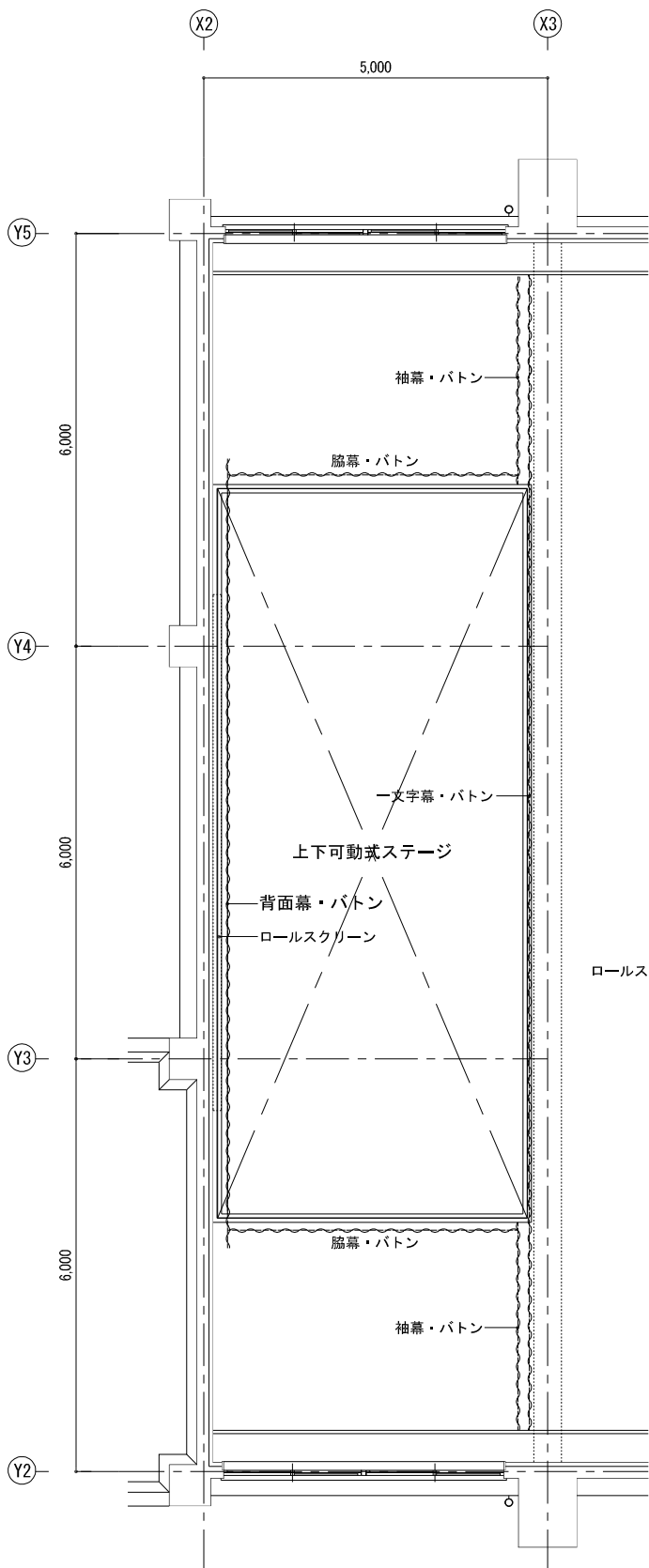


改修体育室 展開図 C面 1/100



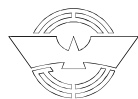
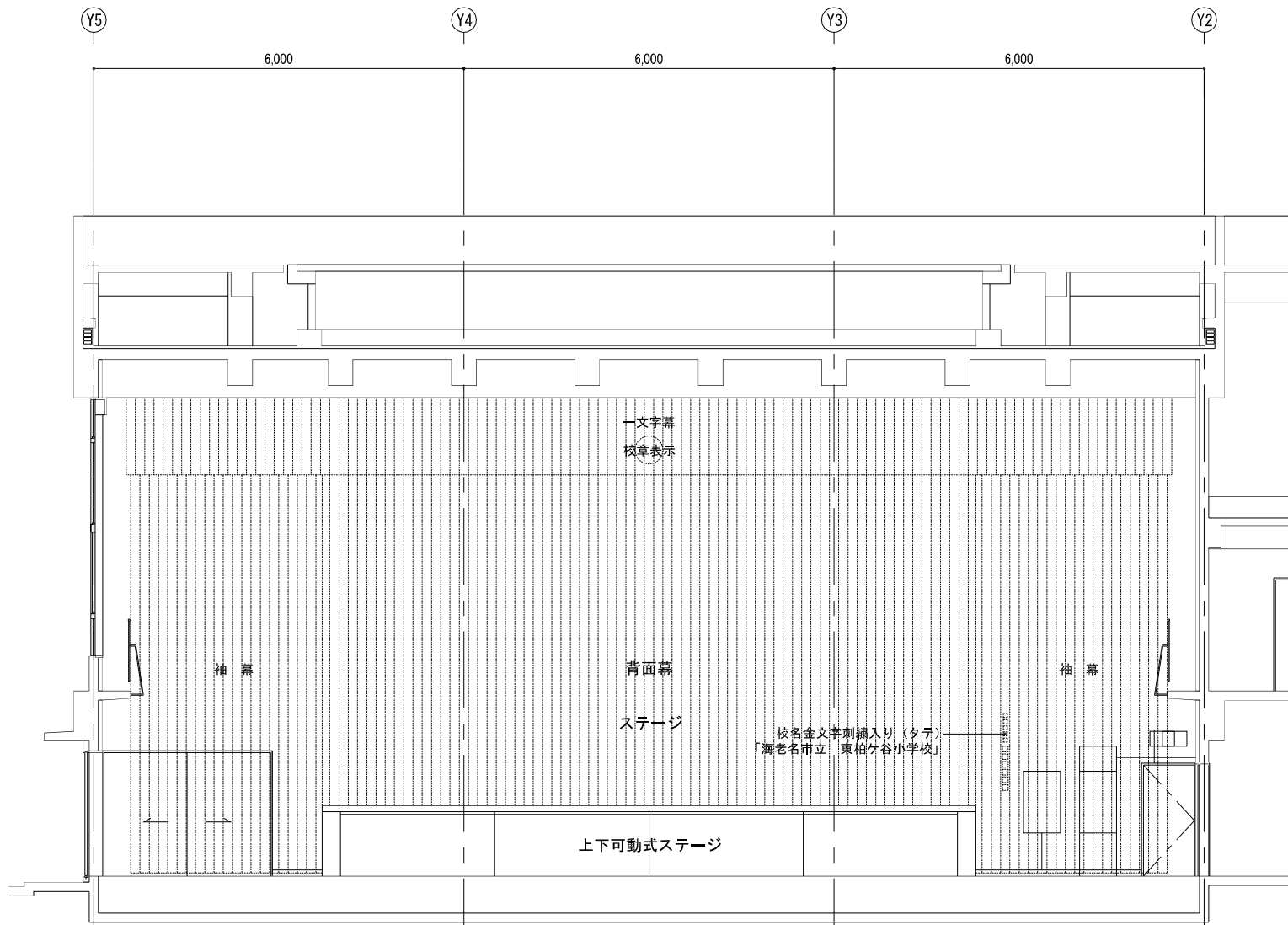
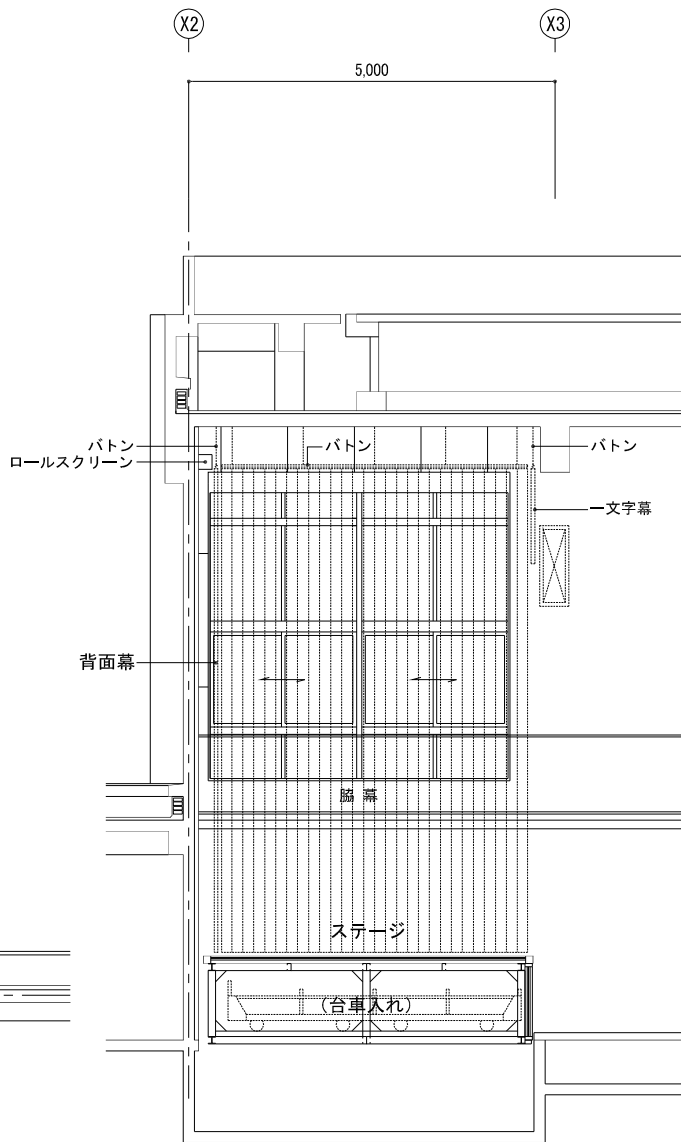
改修体育室 展開図 D面 1/100

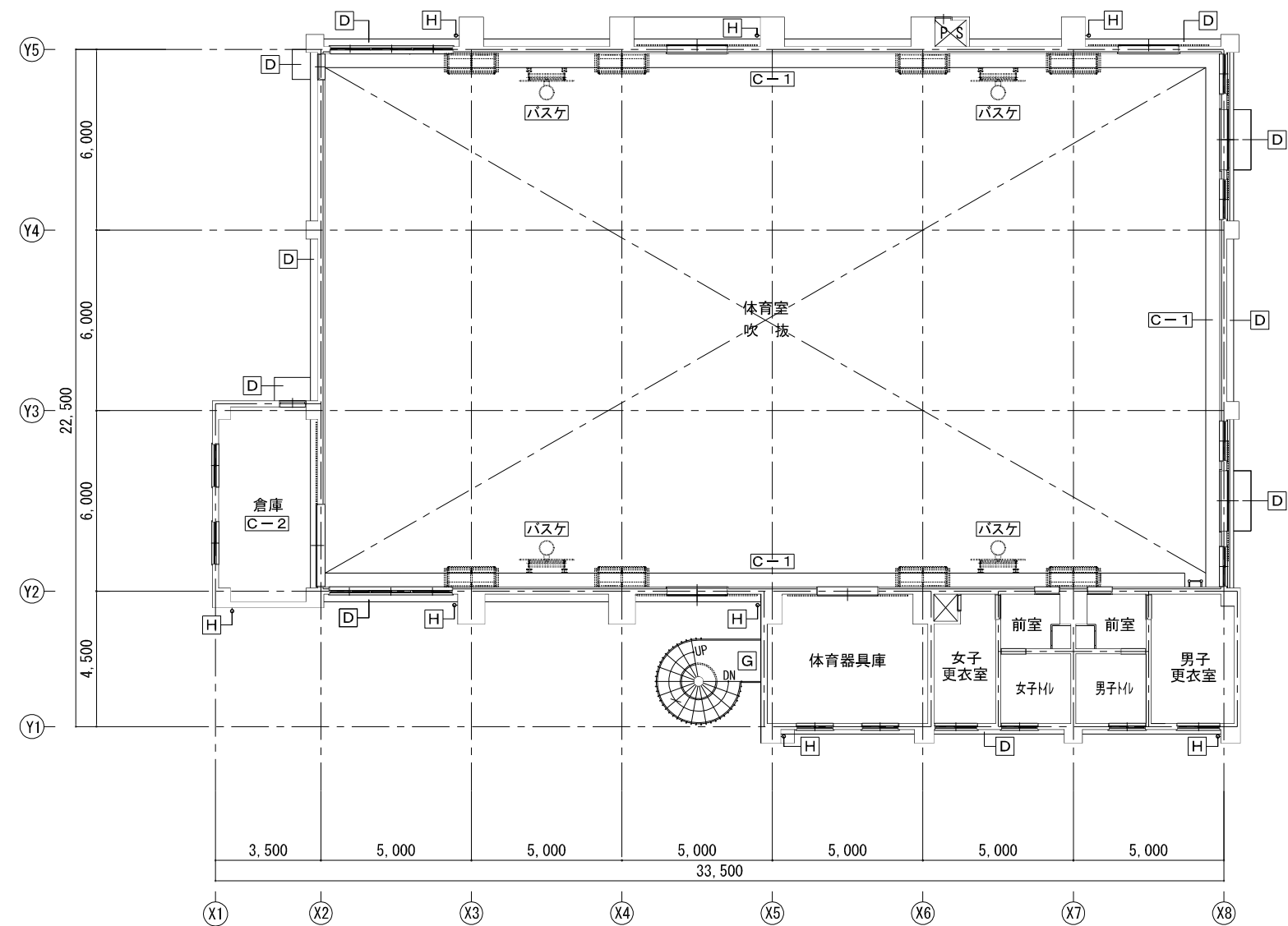




舞台装置 リスト

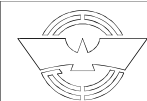
名 称	サイズ (W × H)	数量	駆動方式他
袖幕：撤去新設	W3,000×H6,100	2	右側 学校名 「海老名市東柏ヶ谷小学校」刺繍
一文字幕：撤去新設	W16,800×H1,300	1	校章 φ450 本刺繍
脇幕：撤去新設	W4,500×H6,100	2	
背面幕：撤去新設	W11,000×H6,600	1	
バトン：撤去新設 支持パイプ・ワイヤー共	3m 16.8m 4.5m 11m	2 1 2 1	昇降ウインチ×3
ロールスクリーン：取外し再取付		1	
暗幕（ギャラリ）：撤去新設	W4,070×H4,150（撤去新設） W4,400×H4,150（撤去） W2,235×H3,350（新設） W2,235×H4,150（新設） W5,495×H4,150（撤去新設）	4 4 4 4 2	

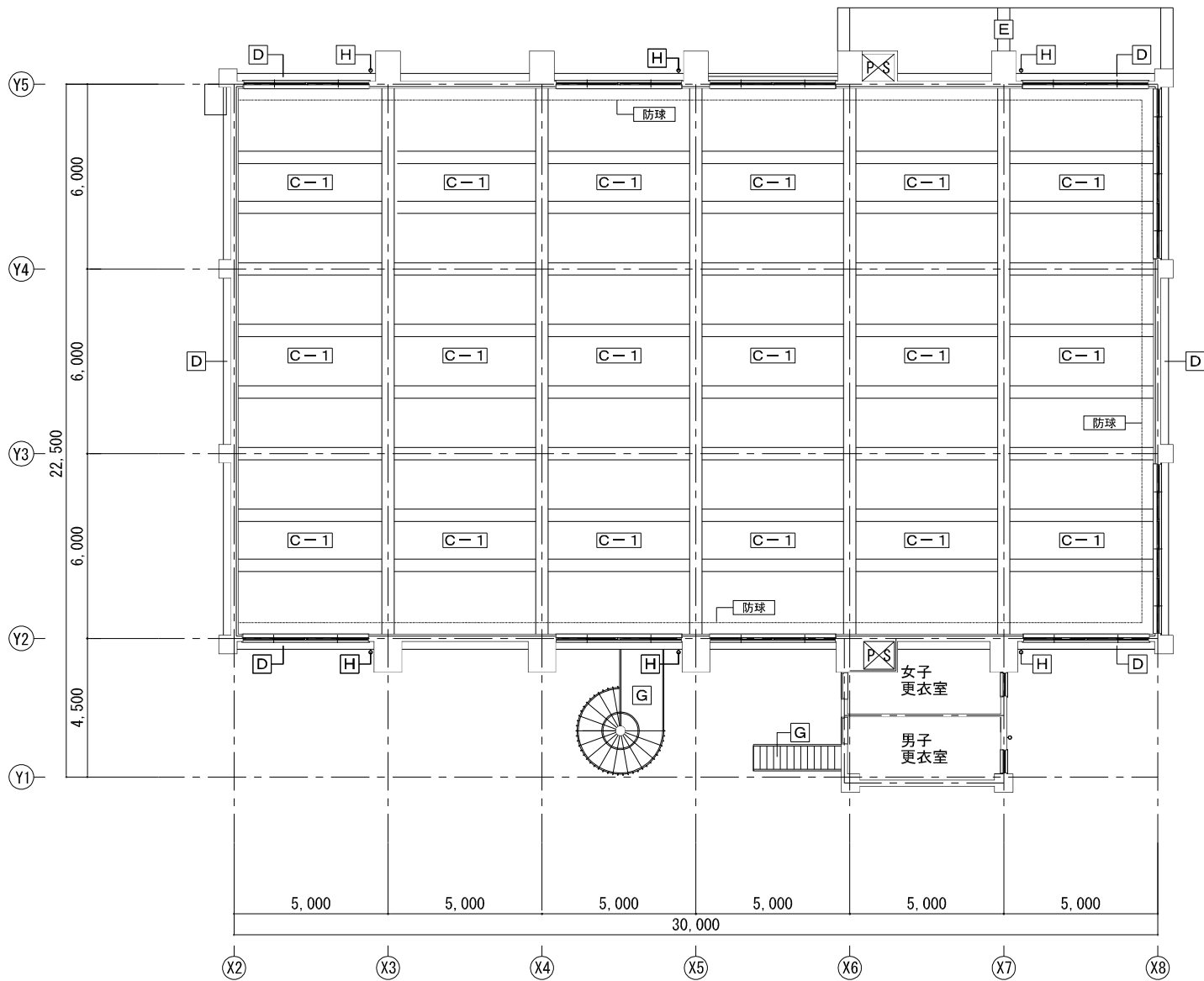




1階天井伏せ図 1/100

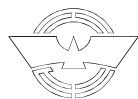
外 部 仕 上 表			内 部 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
庇・梁型	D	既存：外装薄塗材E 改修：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa	天 井	C-1	既存：木毛セメント板あらわし・コンクリート打放面 AEP塗装 改修：EP塗装 下地調整（梁型・ギャラリ下面共）
軒 裏	E	既存：外装薄塗材E 改修：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa		C-2	既存：コンクリート打放面 白セメント吹付 改修：可とう形改修塗材E、下地調整
鉄骨階段	G	既存：SOP塗装 改修：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整 RB種	バスケット ゴール	バスケ	バスケットゴール板 撤去・手動折畳式バスケットゴール 新設
樋	H	既存（堅樋）：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去、SUS飾り棚 改修（堅樋）：カラー塩ビ管φ100、SUS金物、SUS飾り棚 クリーニング	防球ネット	防球	取外し・再取付

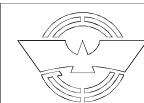
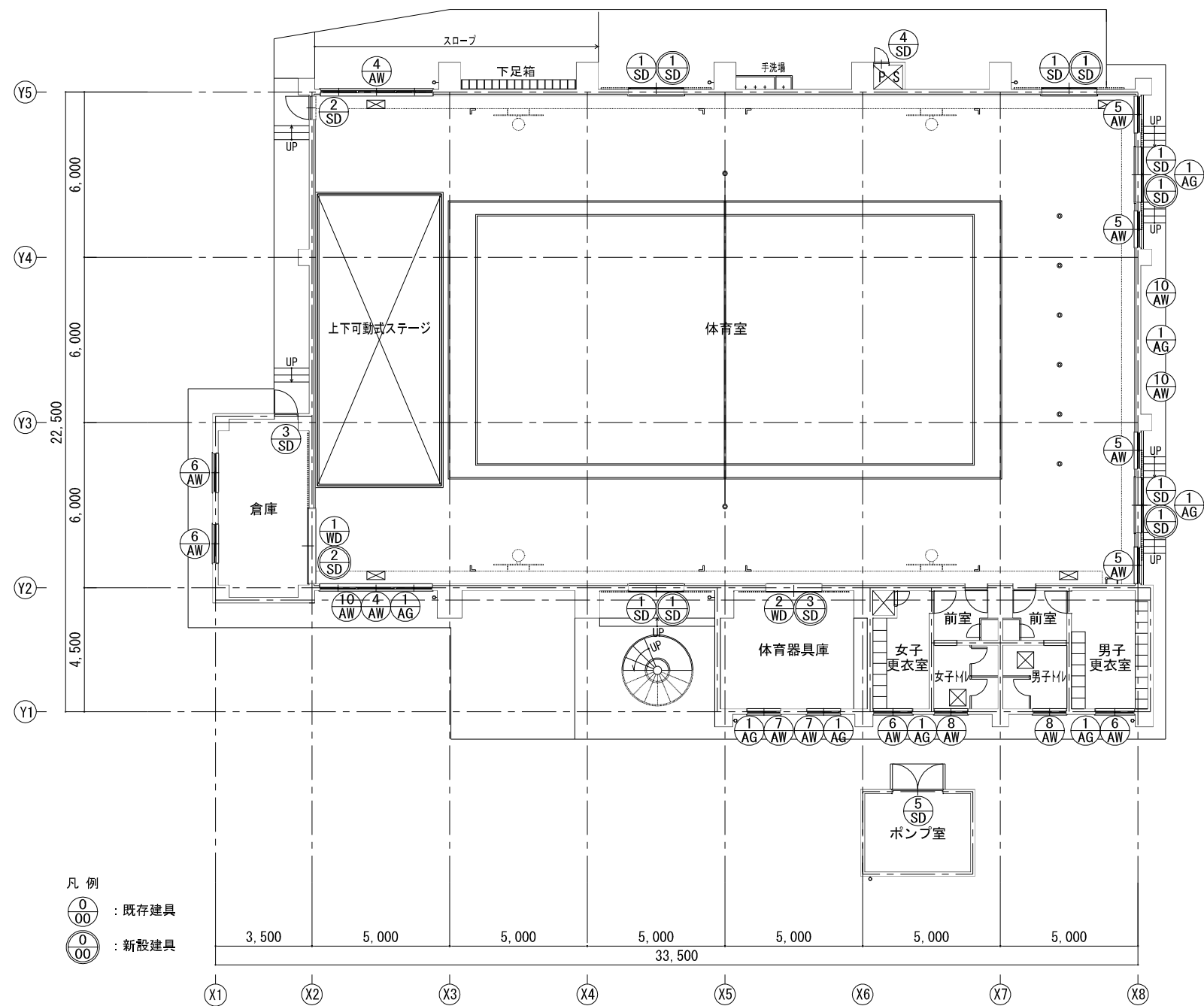


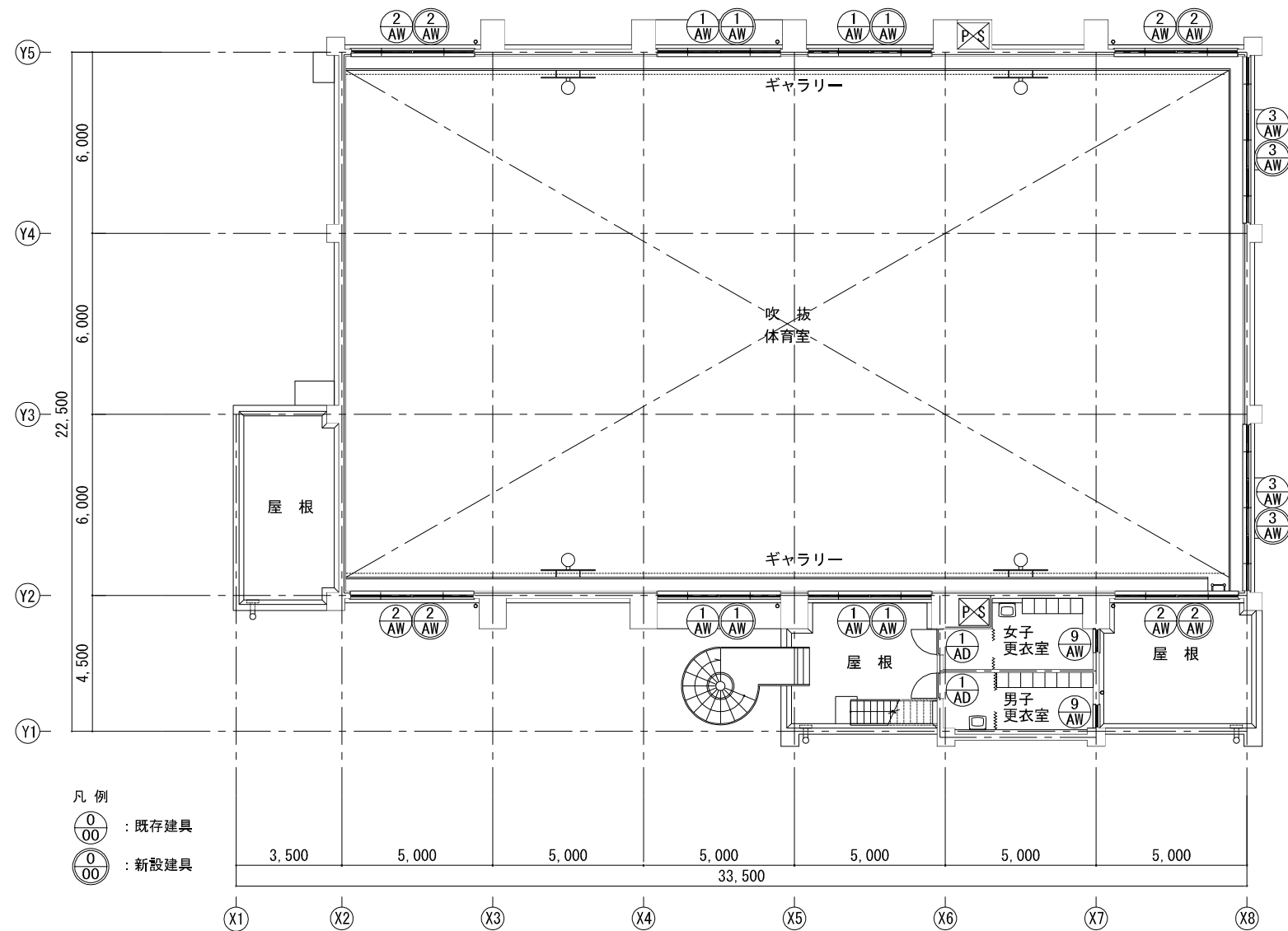


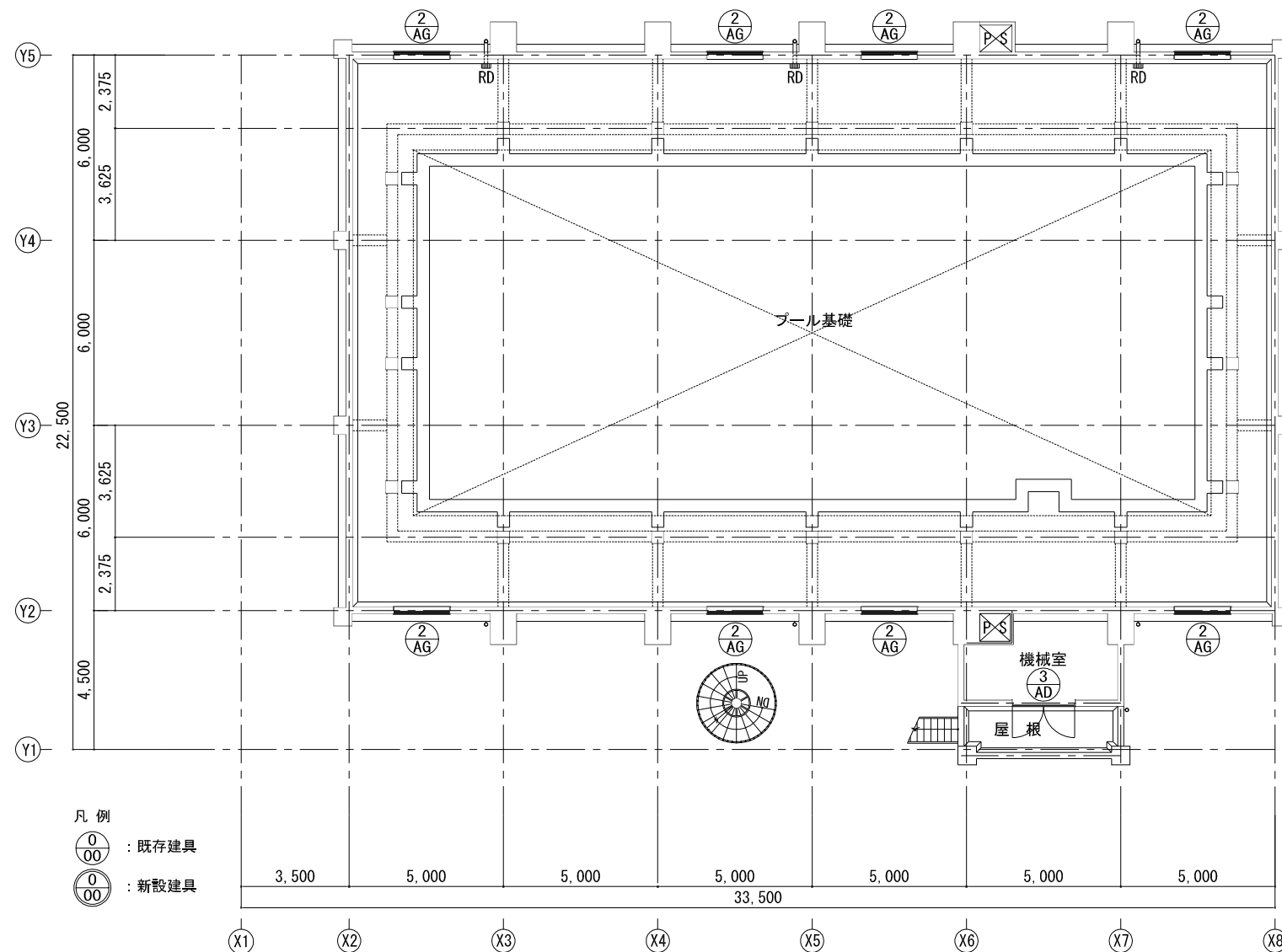
吹抜部分天井伏せ図 1/100

外 部 仕 上 表			内 部 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
庇・梁型	D	既存：外装薄塗材E 改修：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa	天 井	C-1	既存：木毛セメント板あらわし・コンクリート打放面 AEP塗装 改修：EP塗装 下地調整（梁型・ギャラリ下面共）
軒 裏	E	既存：外装薄塗材E 改修：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa	バスケット ゴール	バスケ	バスケットゴール板 撤去・手動折畳式バスケットゴール 新設
鉄骨階段	G	既存：SOP塗装 改修：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整 RB種	防球ネット	防球	取外し・再取付
樋	H	既存（堅樋）：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去、SUS飾り掛 改修（堅樋）：カラー塩ビ管φ100、SUS金物、SUS飾り掛 クリーニング			

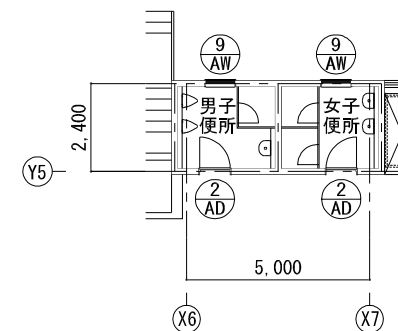




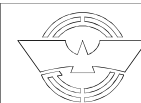




3階キープラン表 1/100

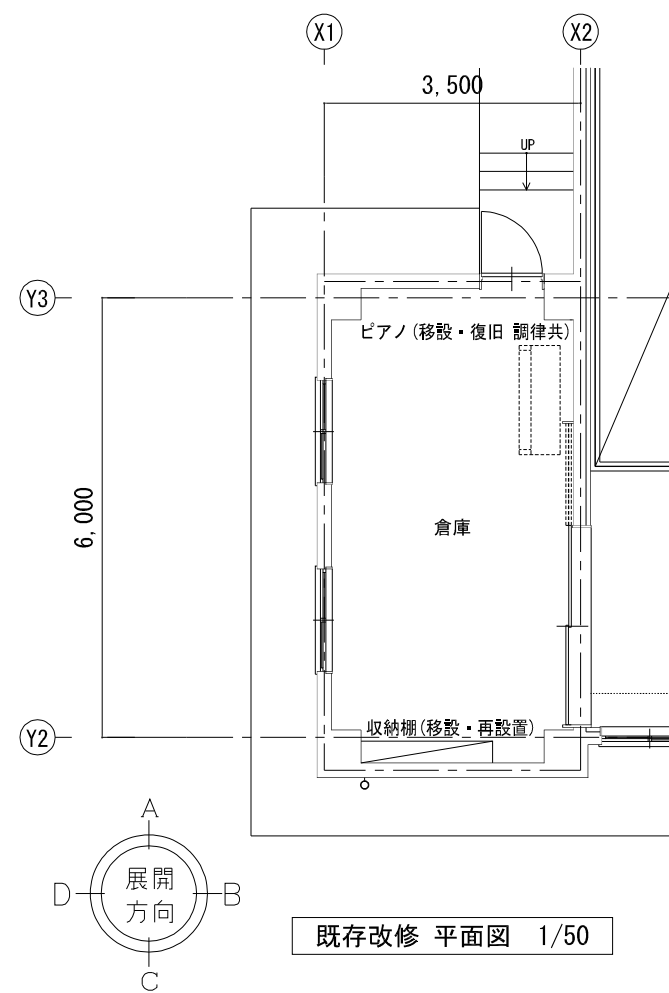


4階キープラン表 1/100



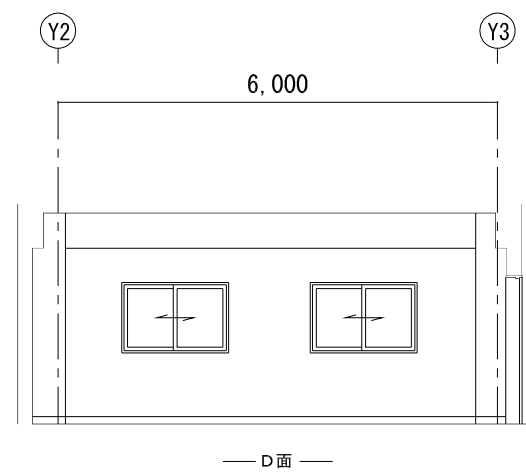
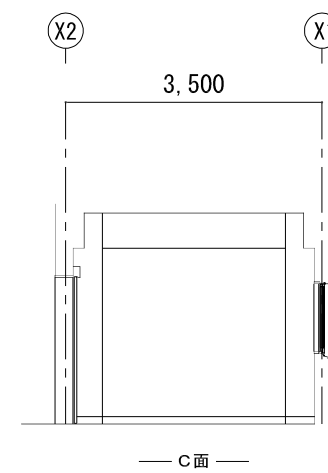
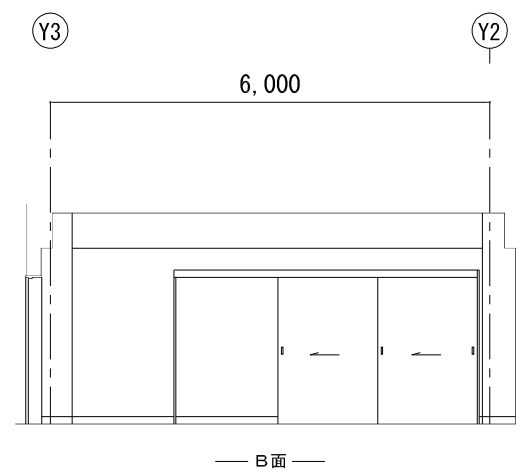
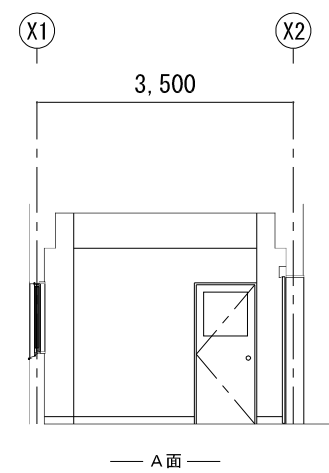
名 称	①AW アルミ 連窓 引連窓 (FIX窓・ガラリ付) (撤去)			4	②AW アルミ 連窓 引連窓 (FIX窓・ガラリ付) (撤去)			4	③AW アルミ 連窓 引連窓 (FIX窓・ガラリ付) (撤去)			2				
姿 図																
場 所	体育室				体育室				体育室							
仕 上																
見 込	70 mm				70 mm				70 mm							
ガラス	網入り磨きガラス 厚6.8mm				網入り磨きガラス 厚6.8mm				網入り磨きガラス 厚6.8mm							
金 物	クレセント、引手、戸車				クレセント、引手、戸車				クレセント、引手、戸車							
備 考	ガラリ付(ヒューズ付2個)				ガラリ付(ヒューズ付2個)				ガラリ付(ヒューズ付)							
	改修内容：撤去 (額縁共)				改修内容：撤去 (額縁共)				改修内容：撤去 (額縁共)							
符 号 称	④AW アルミ 3連 引連窓	2	⑤AW アルミ 引連窓	4	⑥AW アルミ 引連窓	4	⑦AW アルミ 引連窓	2	⑧AW アルミ 引連窓 (ガラリ付)	2	⑨AW アルミ FIX窓・突出し窓	4				
姿 図																
場 所	体育室				体育室				男女トイレ							
仕 上	アルミ、アルマイト処理				アルミ、アルマイト処理				アルミ、アルマイト処理							
見 込	70 mm				70 mm				70 mm							
ガラス	網入りガラス 厚6.8mm				網入りガラス 厚6.8mm				ラフワイヤー 厚6.8mm							
金 物	クレセント、引手、戸車				クレセント、引手、戸車				クレセント、引手、戸車							
備 考	改修内容：建具クリニグ・ｶﾞﾗｽｼｰﾙ止め・建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ打替・ｸﾚﾄ取替・木製額縁 EP塗装				改修内容：建具クリニグ・ｶﾞﾗｽｼｰﾙ止め・建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ打替・ｸﾚﾄ取替・木製額縁 EP塗装				改修内容：建具クリニグ・ｶﾞﾗｽｼｰﾙ止め・建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ打替・ｸﾚﾄ取替							
符 号 称	⑩AW アルミ FIX窓	3	⑪AG①AG アルミ ガラリ	8・8	⑫AD アルミ 片開扉 (ガラリ付)	2	⑬AD アルミ 片開扉 (ガラリ付)	2	⑭AD アルミ 両開扉 (ガラリ付)	1	⑮SD スチール ハンガー 引分戸 (撤去)	5				
姿 図																
場 所	床下部分				男女更衣室				男女トイレ (4F)							
仕 上	アルミシルバー				アルミ、アルマイト処理				アルミ、アルマイト処理							
見 込	70 mm				70 mm				70 mm							
ガラス	—				ラフワイヤー 厚6.8mm				ラフワイヤー 厚6.8mm							
金 物	アルミ水切、付属金物一式				ビスケットヒンジ、ドアチェック、シリンドー錠、戸当り				ビスケットヒンジ、ドアチェック、フランス落し、シリンドー錠、戸当り							
備 考	アルミパネル2mm				ガラリ付				ガラリ付(ヒューズ付2個)							
	改修内容：建具クリニグ・ﾊﾞﾚｰ止め・建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ打替				改修内容：建具クリニグ・建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ打替				改修内容：建具クリニグ・ｶﾞﾗｽｼｰﾙ止め・建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ打替							
符 号 称	⑯SD スチール 片開扉	1	⑰SD スチール 片開扉	1	⑱SD スチール 点検口	1	⑲SD スチール 両開扉 (ガラリ付)	1	⑳SD 木製 ハンガー扉 (片引戸) (撤去)	1	㉑SD 木製 ハンガー扉 (引分戸) (撤去)	1				
姿 図																
場 所	体育室				倉庫				3F.機械室							
仕 上	スチールフラッシュ、OP塗装				スチールフラッシュ、OP塗装				アルミ、アルマイト処理							
見 込	86 mm				86 mm				100 mm							
ガラス	—				—				—							
金 物	ビスケットヒンジ、ドアチェック、シリンドー錠、戸当り				ビスケットヒンジ、ドアチェック、シリンドー錠、戸当り				ビスケットヒンジ、ドアチェック、フランス落し、シリンドー錠、戸当り							
備 考	編入ガラス 厚6.8mm				編入ガラス 厚6.8mm				ガイドレール、引手、戸当り、内掛 (大型)、郵便受 (1ヶ所)							
	改修内容：ガラシール止め・建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ打替、DP塗装、錆止め塗装				改修内容：建具クリニグ・建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ打替、DP塗装、錆止め塗装				改修内容：撤去 (3方枠共)							
	改修内容：ガラシール止め・建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ打替、DP塗装、錆止め塗装				改修内容：ガラシール止め・建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ打替、DP塗装、錆止め塗装				改修内容：撤去 (3方枠共)							
	改修内容：建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ打替、DP塗装、錆止め塗装				改修内容：建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ打替、DP塗装、錆止め塗装				改修内容：撤去 (3方枠共)							
	改修内容：建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ打替、DP塗装、錆止め塗装				改修内容：建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ打替、DP塗装、錆止め塗装				改修内容：撤去 (3方枠共)							
工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事								海老名市		図面名称		建具表 (1)				
										縮尺		A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A - 32		

符 号 名	① AW	アルミ 連窓 引連窓 (FIX付) (新設)	4	② AW	アルミ 連窓 引連窓 (FIX付) (新設)	4	③ AW	アルミ 連窓 引連窓 (FIX付) (新設)	2
姿 図									
	※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること			※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること			※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること		
場 所	体育室			体育室			体育室		
仕 上	アルミ、アルマイト処理			アルミ、アルマイト処理			アルミ、アルマイト処理		
見 込	70 mm			70 mm			70 mm		
ガラス	Low-E複層ガラス 厚 4.0+ A6 + T4.0 飛散防止フィルム張り			Low-E複層ガラス 厚 4.0+ A6 + T4.0 飛散防止フィルム張り、一部7mm厚 厚5.0			Low-E複層ガラス 厚 4.0+ A6 + T4.0 飛散防止フィルム張り		
金 物	クレセント、引手、顔縁、ストッパー、転落防止付			クレセント、引手、顔縁、ストッパー、転落防止付			クレセント、引手、顔縁、ストッパー、転落防止付		
備 考	水切、付属金物一式			水切、付属金物一式			水切、付属金物一式		
符 号 名	① SD	スチール 引き分け ハンガードア (3方枠) (新設)	5	② SD	スチール 片引き ハンガードア (3方枠) (新設)	1	③ SD	スチール 引き分け ハンガードア (3方枠) (新設)	1
姿 図									
	※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること			※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること			※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること		
場 所	体育室			体育器具庫			体育器具庫		
仕 上	高耐候性粉体焼付塗装、亜鉛メッキ鋼板			SOP塗装、亜鉛メッキ鋼板			SOP塗装、亜鉛メッキ鋼板		
見 込	235、扉厚38 mm			235、扉厚38 mm			235、扉厚38 mm		
ガラス	—			—			—		
金 物	SUS引手L450、錠前、シリンダー錠(内側サムターン)			SUS引手L100、錠前、シリンダー錠(内側サムターン)、SUSVレール			SUS引手L100、錠前、シリンダー錠(内側サムターン)、SUSVレール		
	ハンガーレール、ガイドレール、SUS下枠、附属金物一式			ストッパー、附属金物一式			ストッパー、附属金物一式		
備 考	断熱仕様 (発泡ウレタン充填)			—			—		
符 号 名									
姿 図									
場 所									
仕 上									
見 込									
ガラス									
金 物									
備 考									
工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事						海老名市		図面名称	
								建具表 (2)	
								縮尺	
								A1:1/50 A3:1/100	
								図面番号	
								A - 33	

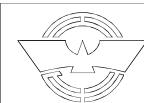


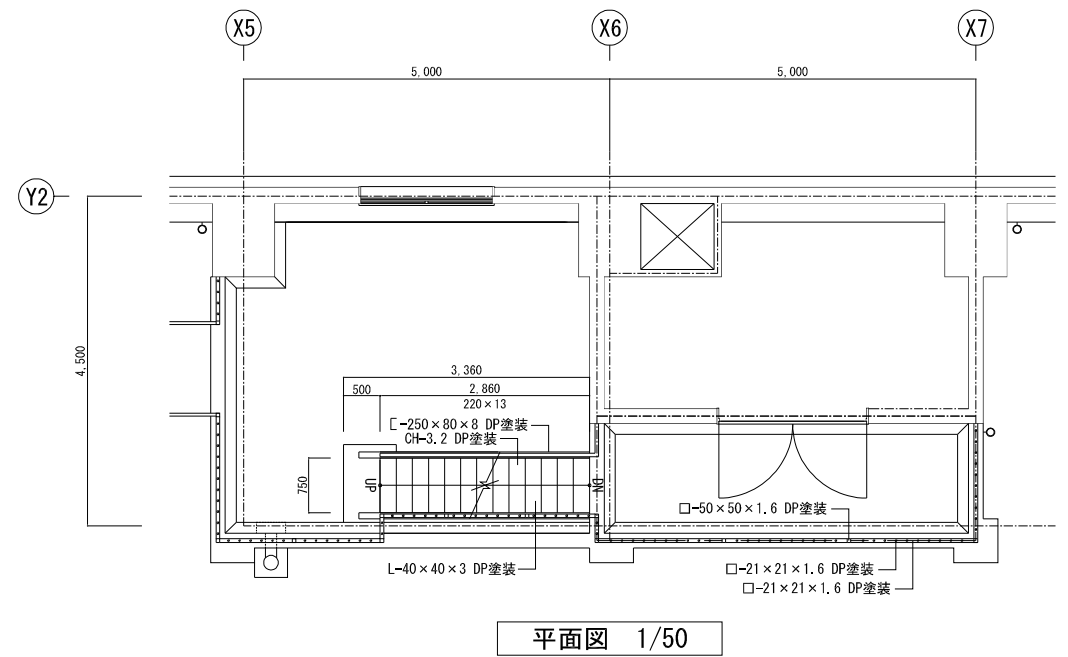
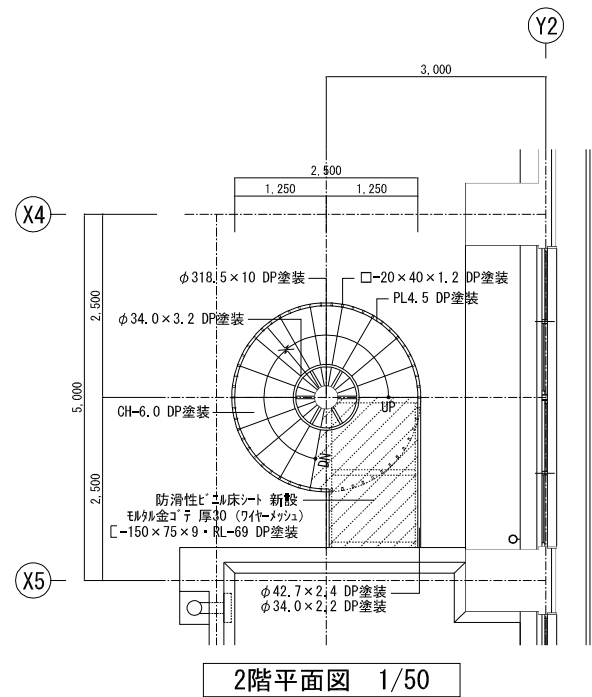
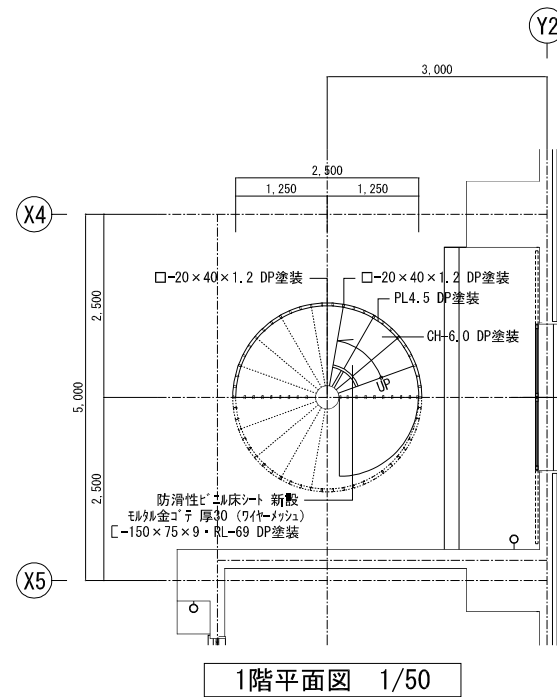
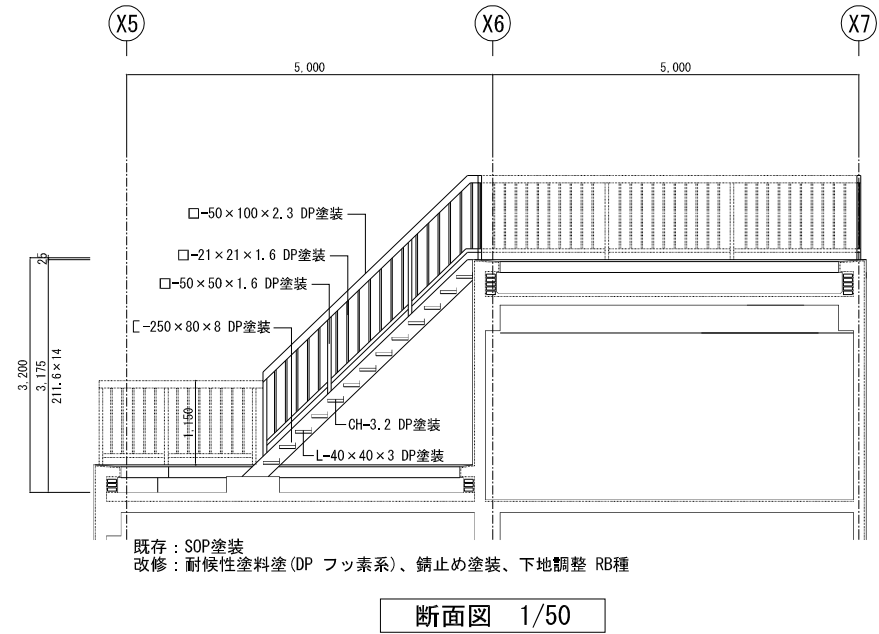
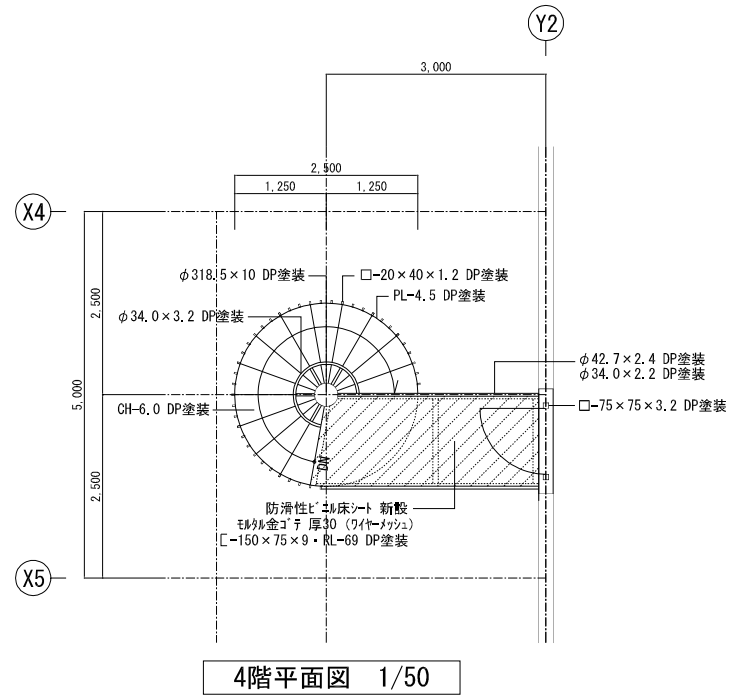
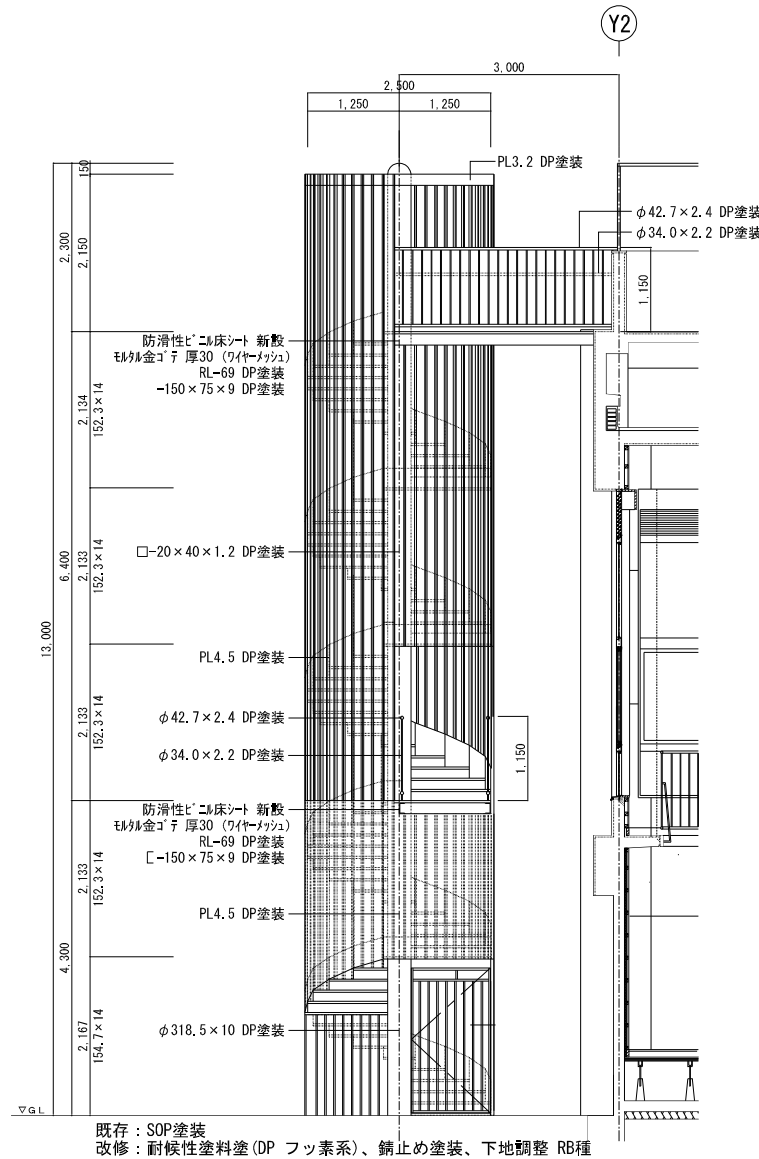
既存改修 平面図 1/50

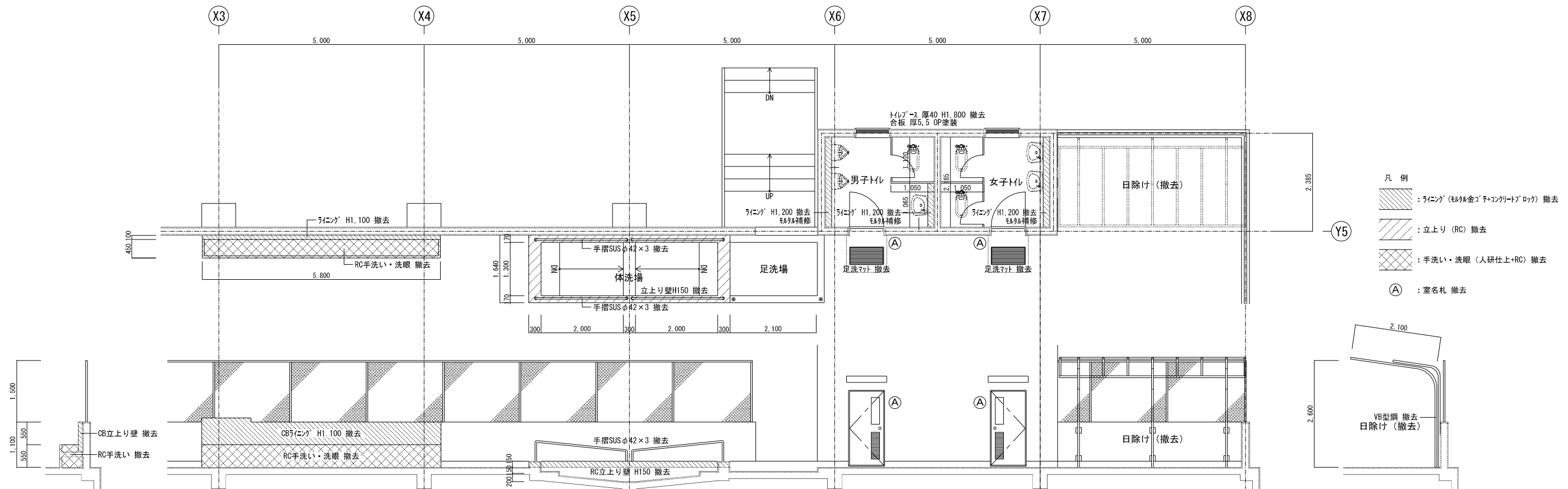
倉庫
天井（コンクリート打放面 白セメント吹付）：可とう形改修塗材E、下地調整
壁（コンクリート打放面 吹付タイル）：可とう形改修塗材E、下地調整
巾木（モルタル金ゴテ VP塗装）：EP塗装、下地調整
床（塩ビ系タイル貼 撤去）：長尺塩ビシート 厚2 新設、下地調整



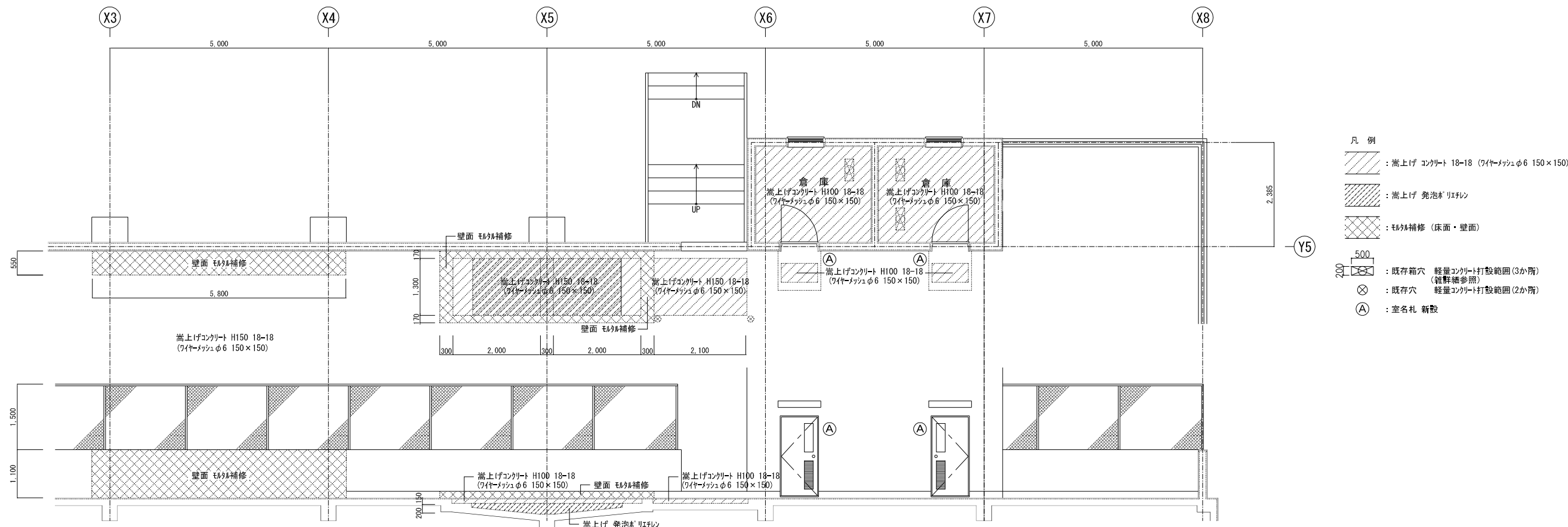
改修 展開図 1/50



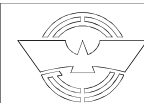




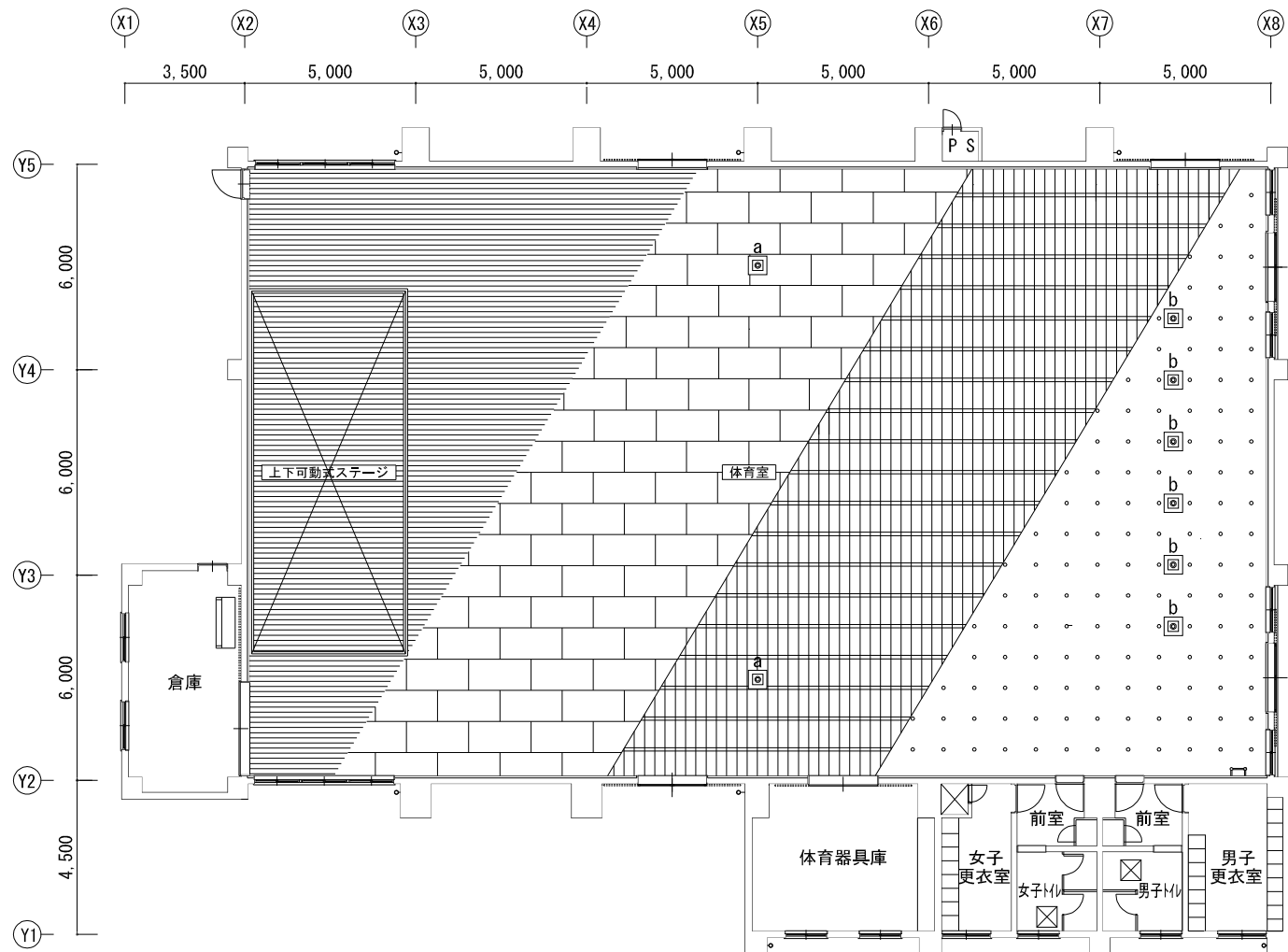
既存4階トイレ廻り詳細図 1/50



4階トイレ廻り改修図 1/50



床仕上表		体育室	ステージ
仕 上		2液形ホリクレン樹脂ニス3回塗 サンダー掛け2回 カバ単層フローリング 厚18	2液形ホリクレン樹脂ニス3回塗 サンダー掛け2回 カバ単層フローリング 厚18
		端部周囲衝衝材：EXPゴム18×25	
下 地 材		パネティカボード 厚15	パネティカボード 厚15
床 組		置床式鋼製床下地 一部撤去新設（全体10%） 根太：溶融亜鉛メッキ鋼板（SPCC）@300 □-29×34×64×t1.2 大引：溶融亜鉛メッキ鋼板（SPCC）@900 □-50×50×t2.3 支持脚@900（簡井製作所GT700-同等品以上） ※溶融亜鉛メッキ処理 撤去部分の床モジュール補修	上下可動式ステージ 撤去新設 床モジュール補修



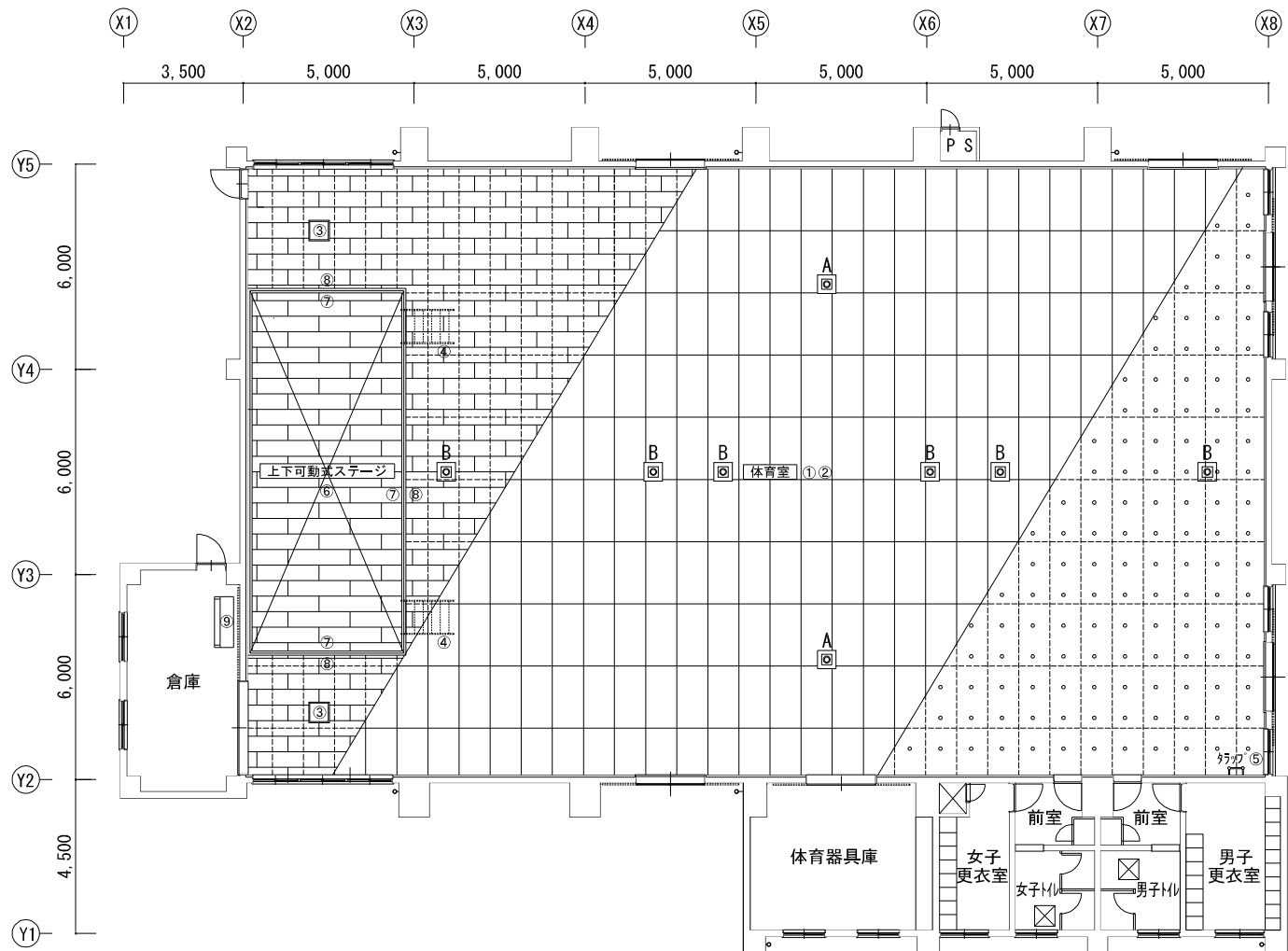
床平面图 (改修前) 1/100

撤去リスト

体育室床	ｶﾏﾁﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ 厚18張り ：撤去	捨張り板 厚15合板 ：撤去	大引、根太、束共ｽﾏｰﾙ製 ：一部撤去	緩衝材全周ｸﾛｯﾌﾟﾚﾝｺﾞﾑ ：撤去	幅木：撤去	ﾊﾞｰﾈｰﾙ用支持基礎 2カ所：撤去 低鉄棒用支持基礎 6カ所：撤去	
ステージ床	ｶﾏﾁﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ 厚18張り ：撤去 框：撤去	捨張り板 厚15合板 ：撤去	上下可動式ｽﾏｰﾌﾞ ：撤去	緩衝材ｸﾛｯﾌﾟﾚﾝｺﾞﾑ ：撤去	幅木：撤去	椅子収納：既存のまま	

支柱基礎(木[°]上蓋・中筒金物共) リスト

凡 例	競技名	か所
a	バレーボール用 撤去	2
b	移動用鉄棒用 撤去	6



床平面図 (改修後) 1/100

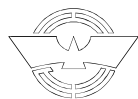
改修リスト

No.	項 目	摘 要	No.	項 目	摘 要
①	鋼製床組一部撤去新設	仕上表による	⑥	椅子収納台車:既存のまま	
②	床フローリング(下地合板共)撤去新設	仕上表による	⑦	櫃:カバ集成材	仕上表による
③	床点検口:新設	600角 4周廻フローリング 共(PU-2 20×20)	⑧	端部:カバ集成材	仕上表による
④	スロープ 階段:撤去新設	詳細図参照	⑨	ビーム:移動再設置	鋼律共
⑤	タコツブ・キャットウォーク手摺:塗替	SOP塗装 錆止め塗装下地調整			

支柱基礎(ホース上蓋・中筒金物共) リスト

凡 例	競技名	か所
A	バレーボール用 新設	2
B	バトミントン用 新設	6

※詳細は、各部詳細図 参照
※支柱共新設



【特記仕様】

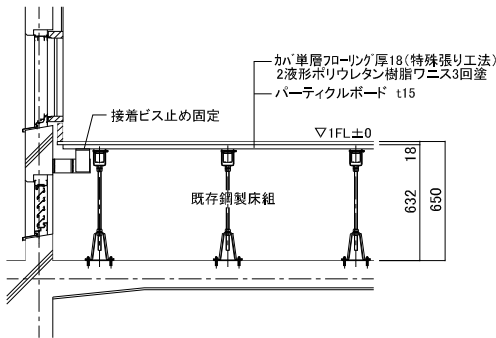
フローリングは単層フローリング特殊張り工法

許容荷重は上記を基準とする

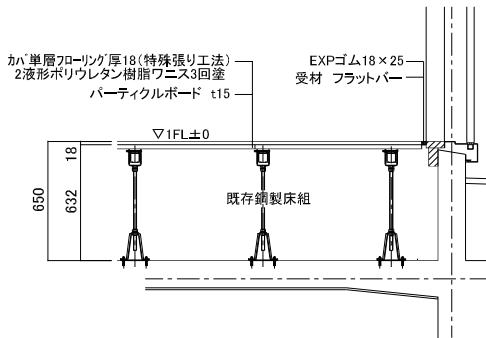
○2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗
F☆☆☆☆
※荒掛け・中掛け・仕上研磨をした上

【体育館床使用フローリング】

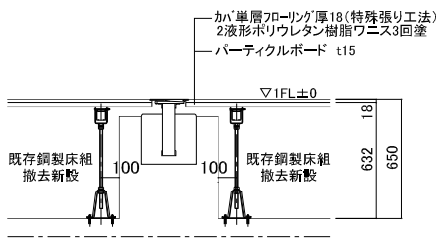
カバ単層フローリング
75×500以上×t18(2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗)
F☆☆☆☆



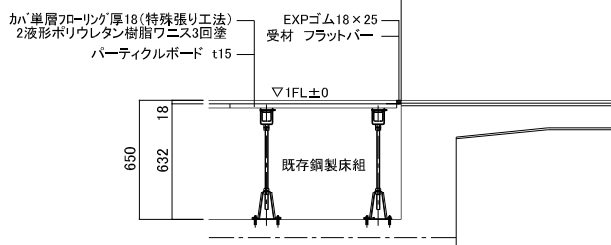
【壁廻り納まり図 S=1/20】



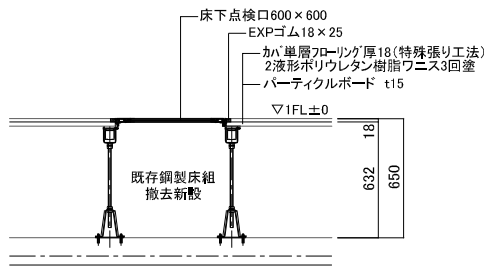
【出入口廻り納まり図 S=1/20】



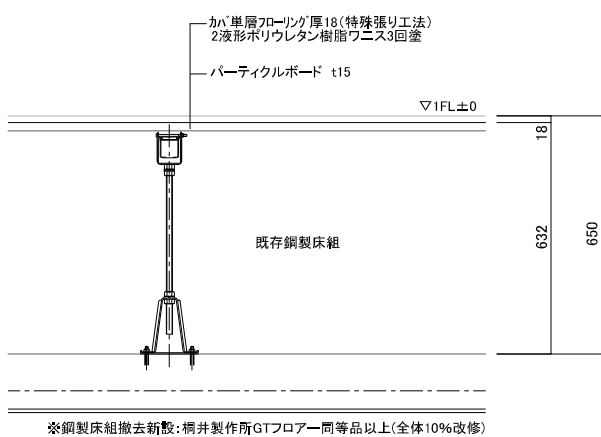
【体育館体育器具基礎廻り納まり S=1/20】



【体育館～ステージ廻り納まり S=1/20】

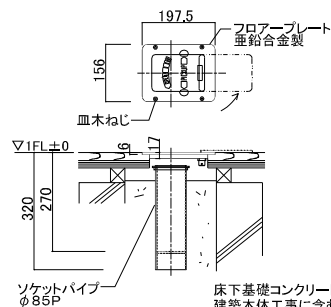


【体育館床下点検口廻り納まり S=1/20】



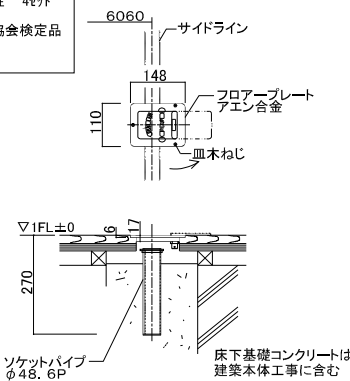
【体育館床基本断面 S=1/10】

バレーボール用支柱 3セット
ベベルギア式
日本バレーボール協会推薦品
鋼管 φ76.3 アルミ製
底部ゴム・ネット巻器付
床下250

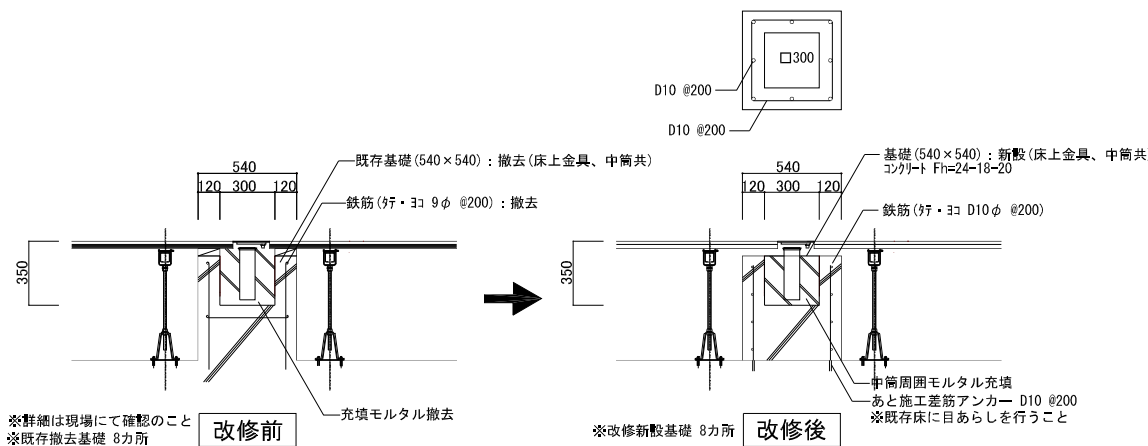


【バレー用床金具 S=1/10】

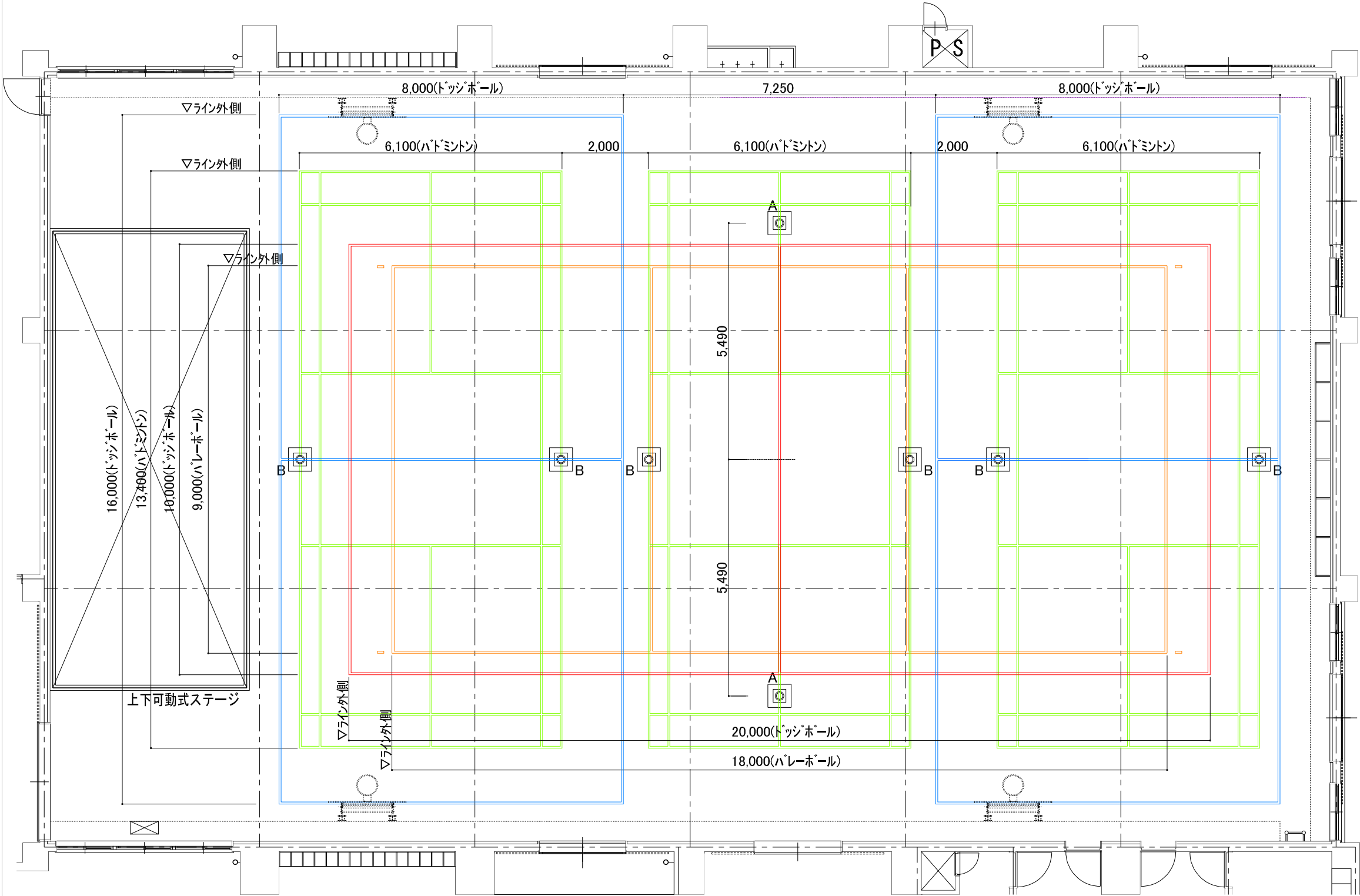
バドミントン用支柱 4セット
差込式
日本バドミントン協会検定品
鋼管 φ40 t3.5
床下150



【バドミントン用床金具 S=1/10】



【体育館体育器具基礎納まり S=1/20】



支柱基礎(ボスト上蓋・中筒金物共) リスト

凡 例	競技名	か所
A	バレーボール	2
B	バドミントン	6

※ 詳細は、各部詳細図 参照
※ 支柱共新設

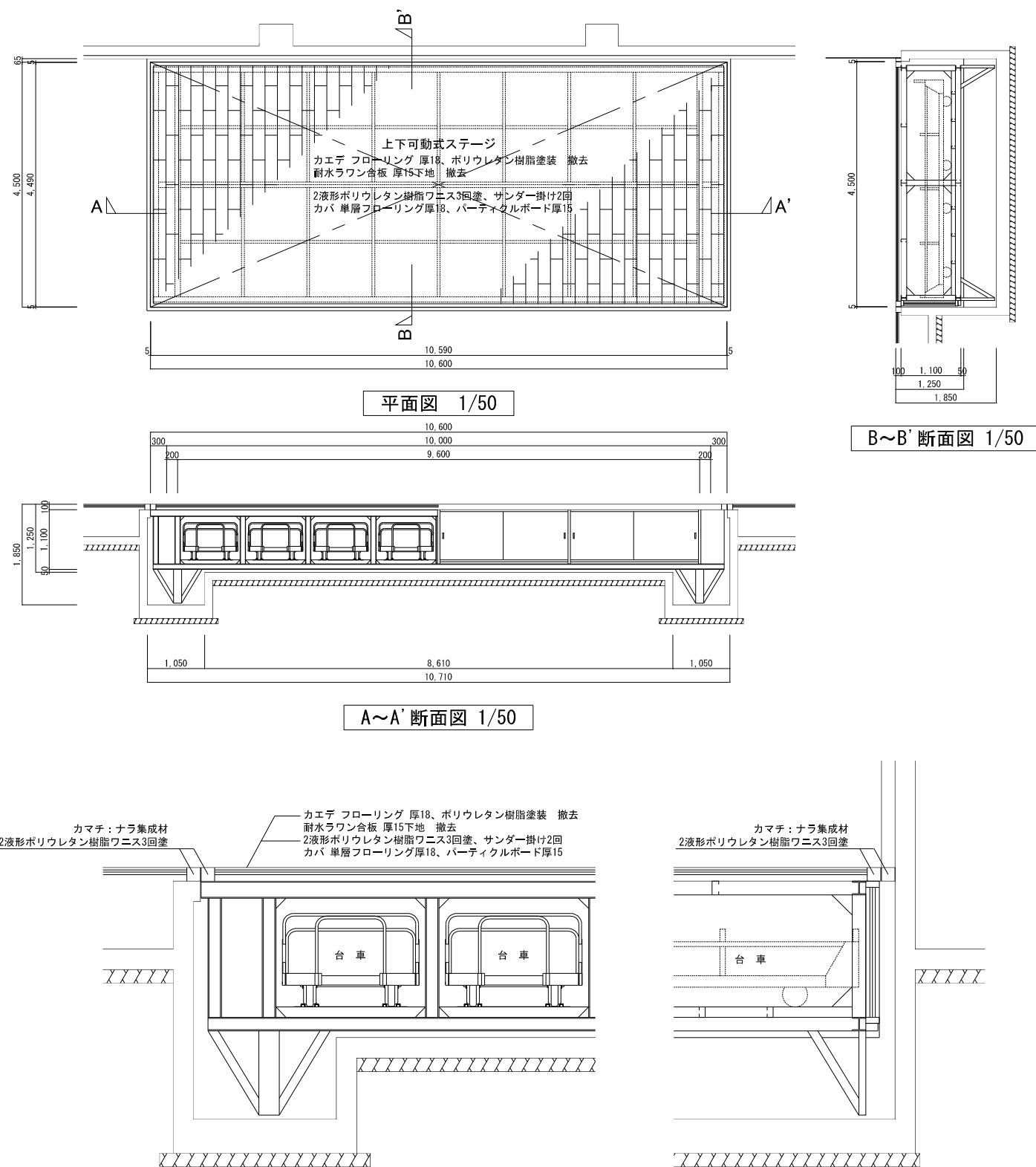
コートライン一覧表

優先順位	表示	コートライン名	線幅・色	コート寸法	コート数
①	黄線	バレーボールコートライン	50mm 黄線	9,000×18,000	1面
②	緑線	バドミントンコートライン	50mm 緑線	13,400×6,100	3面
③	赤線	ドッジボールコートライン	50mm 赤線	20,000×10,000	1面
④	青線	ドッジボールコートライン	50mm 青線	16,000×8,000	2面

※ 各コートラインは既存位置優先とする
※ 各コートラインの交差部は重ね塗りとする
※ コートライン寸法は、競技用ボスト及び既存バスケゴールと整合するよう十分調査の上、監督員の承諾を受けること
※ ボール等の基礎の位置とコートラインについては施工図を作成し、監督員の承諾を受けること

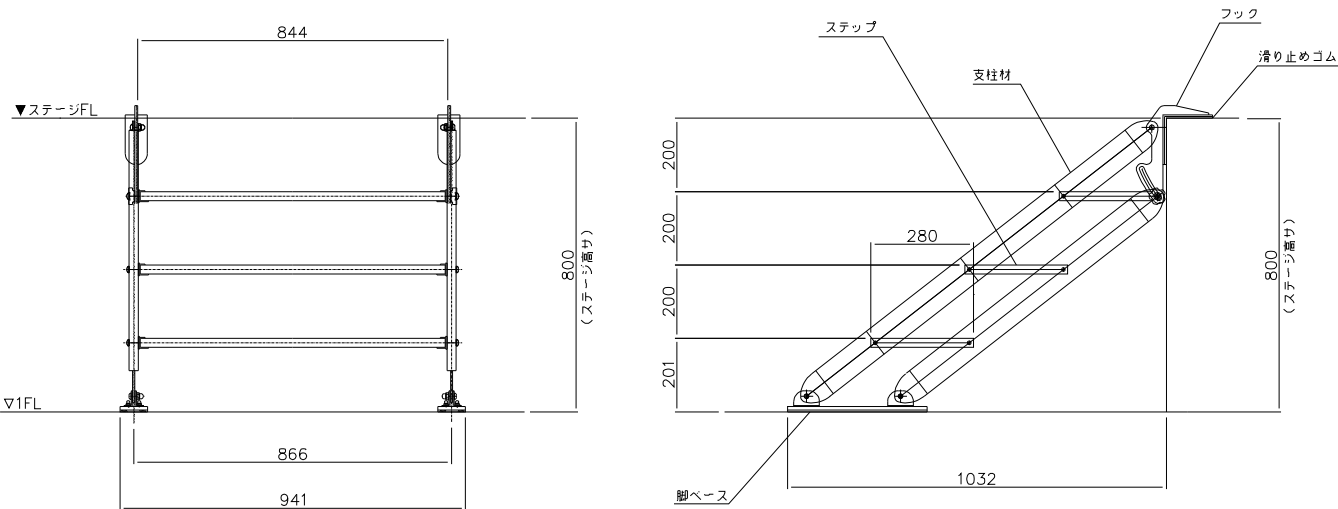


上下可動式ステージ詳細



ステップ詳細

ステージ・プール用ステップ（ステージ・プール高さH800・H1000用）		
フレーム	アルミ押し出し成形品	粉体塗装（ブラウン）
重量	約17kg	
台数	プール用 1台・ステージ用 2台	



工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

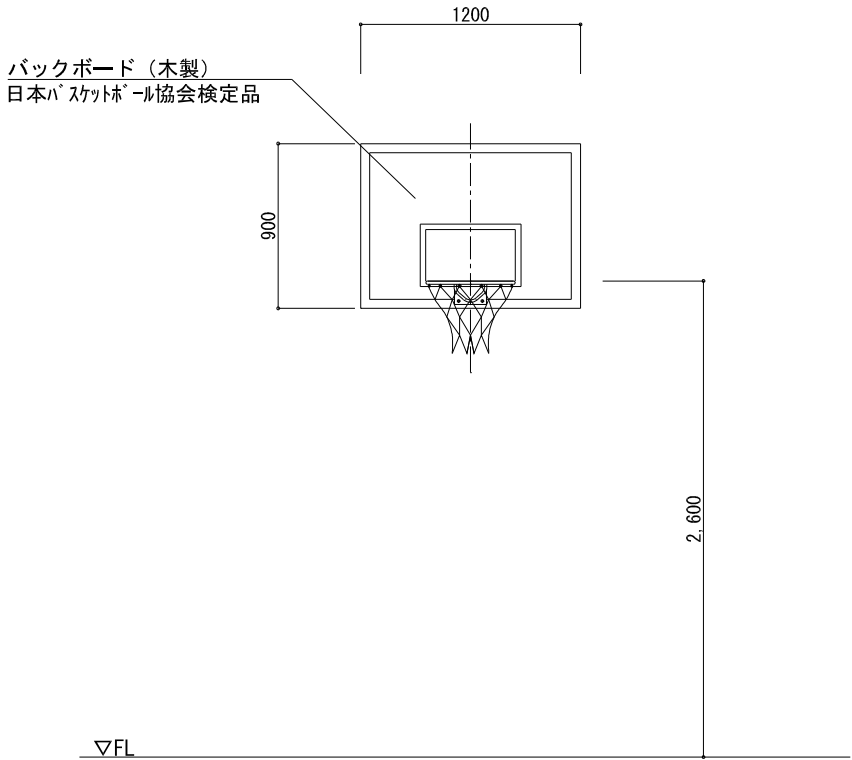
上下可動式ステージ 部分詳細図

縮尺

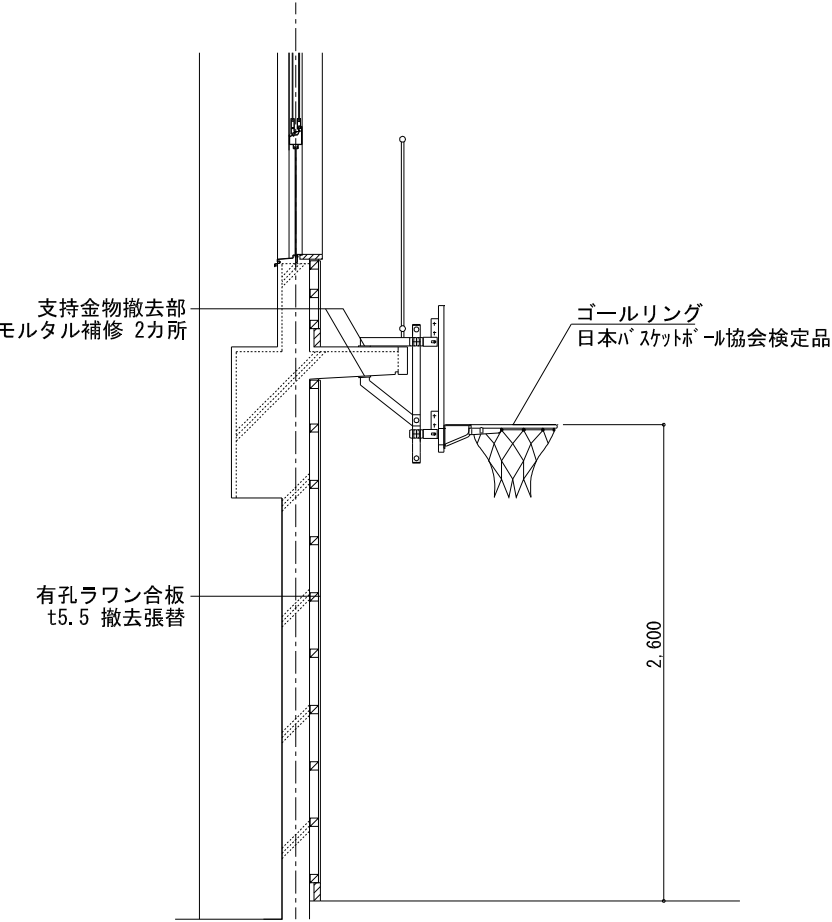
A1:1/50 A3:1/100

図面番号

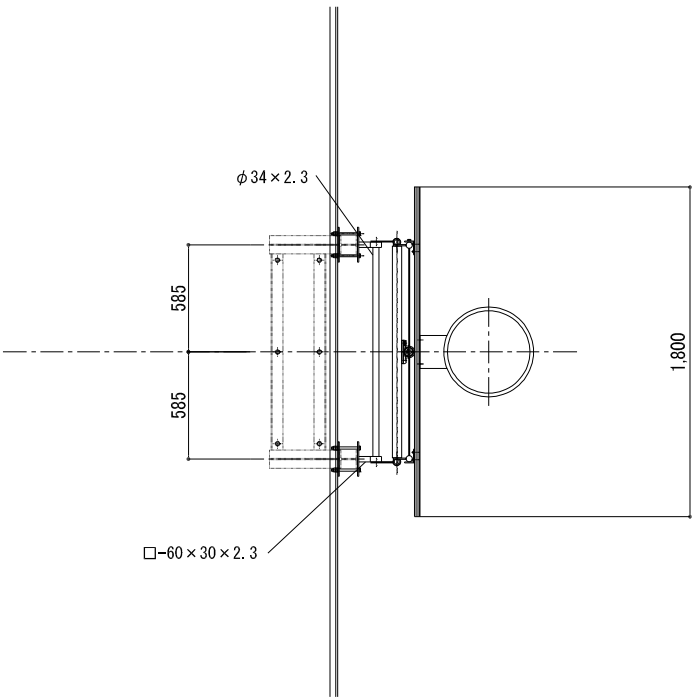
A - 40



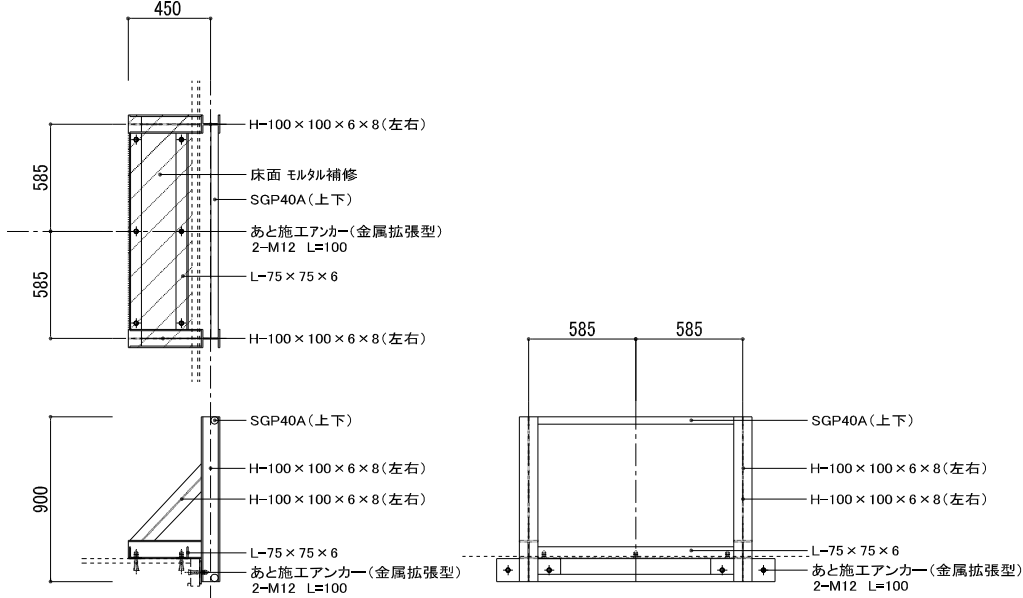
正面図



断面図

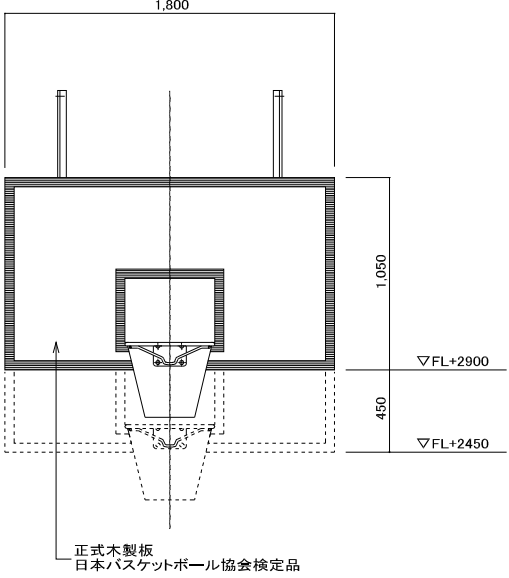


断面図



取付用鉄骨下地 建築工事

※鉄部は下地調整の上 SOP塗装・錆止め塗装



壁面固定式バスケット装置 (S=1/20)
上下可動装置付
イノコ BG-27FM(同等品以上)
日本バスケットボール協会装置普及検定品

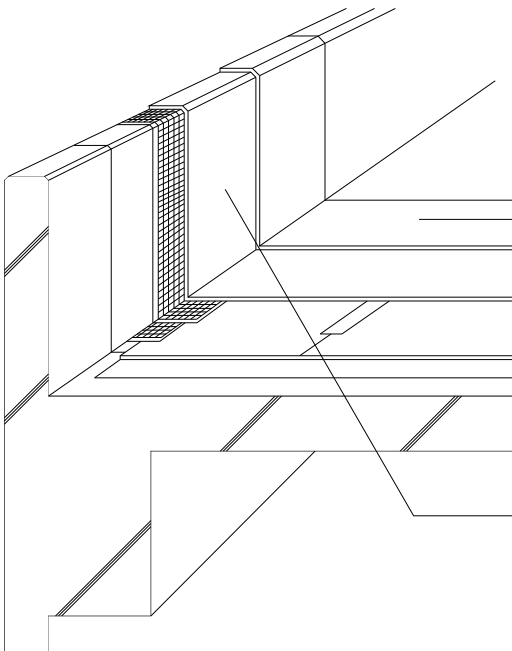
壁面固定式バスケット装置取り換え
既設バスケット装置 撤去処分



1. 標準仕様

- 1) 平 場:ウレタン塗膜防水(X-2・X-1H)
- 2) 立上り:ウレタン塗膜防水(X-2・X-2H)

※ 使用材料は全て環境対応型 とし、日本ウレタン建材工業会の「環境対応工法」認定品とする



種別	平場:X-2工法	
工程	材料・工法	使用量(kg/㎡)
1	プライマー塗り	0.2
2	ウレタン防水材塗り、補強布張り	0.3
3	ウレタン防水材塗り	1.5
4	ウレタン防水材(1類)塗り	1.2
5	仕上塗料塗り	0.2

種別	立上り:X-2工法	
工程	材料・工法	使用量(kg/㎡)
1	プライマー塗り	0.2
2	ウレタン防水材塗り、補強布張り	0.3
3	ウレタン防水材塗り	0.9
4	ウレタン防水材(1類)塗り	0.8
5	仕上塗料塗り	0.2

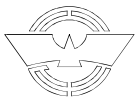
2. 下地処理:公共建築改修工事標準仕様書による

- 1) 既存下地に付着している異物はケレンし、全面を高圧水洗浄(加圧力10～15MPa)を行う
- 2) ルーフドレン部の改修を行う(改修用ドレン設置)
- 3) 平場・立上り面共、樹脂モルタルにて下地調整を行う
 - ※コンクリート面等のひび割れ部は、樹脂モルタルにて補修を行う
 - ※既存下地の欠損部及びぜい弱部は、樹脂モルタルにて補修を行う
 - ※ひび割れ幅が2mm以上の場合はUカットのうえ、ポリウレタン系シーリング材等を充填する

種別	平場:X-1H工法	
工程	材料・工法	使用量(kg/㎡)
1	プライマー塗り	0.2
2	通気緩衝シート シートジョイント、シート端部処理用テープ	—
3	超速硬化ウレタン吹付	3.0
4	トップコート(粗面仕上)	0.2

種別	立上り:X-2H工法	
工程	材料・工法	使用量(kg/㎡)
1	プライマー塗り	0.2
2	超速硬化ウレタン吹付	2.0
3	トップコート	0.2

施工留意事項:防水材塗継ぎの重ねは幅を100mm以上、補強布の重ねは幅を50mm以上とする



Uカットシール材充填工法				充填工法(軽量エポキシ樹脂モルタル)											
打放し(A工法)		打放し(B工法)		モルタル塗り(A工法)		モルタル塗り(B工法)									
※挙動あり:ひび割れ幅＞1.0mm		※挙動あり:0.2mm≦ひび割れ幅≦1.0mm ※挙動なし:ひび割れ幅＞1.0mm		※挙動あり:ひび割れ幅＞1.0mm		※挙動あり:0.2mm≦ひび割れ幅≦1.0mm ※挙動なし:ひび割れ幅＞1.0mm									
補修範囲の確認 Uカット 孔内の清掃 プライマー塗布 シール材の計量 および混練		・ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・ひび割れに沿って、幅10mm、深さ10～15mm程度のU字型の溝を設ける。 ・Uカット溝内部の切粉等をワイヤーブラシ、刷毛等で除去し、清掃する。 ・プライマーを溝内部に塗残しがないように均一に塗布する。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、気泡を巻き込まないよう充分混練する。計量は、可使時間内に使い切る量とする。 仕上げ塗材・下地調整材のいずれか、または両者に石綿含有の場合は「Uカットシール材充填工法」の採用不可		シール材の充填 仕上げ 養生 清掃 自主検査		補修範囲の確認 下地処理・ケレン プライマー塗布 エポキシ樹脂 モルタルの計量・混練 エポキシ樹脂 モルタルの充填 表面仕上げ 養生 清掃 自主検査									
				・溝内にシール材をコーキングガンで、空隙や打残し等のないよう加圧しながら充てんし、表面を平滑に仕上げる。 ※A工法の場合はシーリング材をコンクリート表面から3～5mm程度低めに充てんする。 ・A工法:シーリング材の硬化後、ポリマーセメントモルタルをコンクリート表面に合わせて平滑に塗り込み仕上げる。 ・B工法:可とう性エポキシ樹脂の上に仕上塗材、塗料等を施す場合は、硬化前に表面にけい砂を散布する。 ・シール材が硬化するまで損傷、汚染等のないようにする。また降雨等からも養生する。 ・シール部以外の汚れ等を除去し、清掃する。 ・シール材の仕上がり状態、硬化状態および後片付けを確認する。		・欠損部の状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・欠損部の脆弱部分などを 手工具(※1)にて はつり取った後ほこり等除去して清浄で強固な下地を出す。 ・鉄筋が露出している場合は、錆を除去する。 ・防錆のためエポキシプライマーを塗布する。 刷毛で充分に浸透させながら行う。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に軽量し、充分に混練する。 ・プライマーの粘着性のあるうちに、エポキシ樹脂モルタルを充分押え込みながら充てんする。 ・表面を金ゴテ等で充分押えて、なだらかに仕上げる。 ・エポキシ樹脂モルタルが硬化するまでは(24時間以上)損傷、汚染のないようにし、また雨水等からも養生する。 ・補修部以外の汚れを除去、清掃する。 ・モルタルの仕上がり状態、硬化状態および後片付けを確認する。									
充填工法(軽量エポキシ樹脂モルタル) ※ 危険性「大」の場合				充填工法(ポリマーセメント樹脂モルタル) ※ 危険性「小」の場合											
打放し		モルタル塗り		打放し		モルタル塗り									
補修範囲の確認 下地処理 ケレン清掃 プライマー塗布 軽量エポキシ樹脂 モルタルの計量・混練		・欠損部の状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・欠損部の脆弱部分などを 手工具(※1)にて はつり取った後、ほこり等を除去して清浄で強固なコンクリート下地を出す。 ・鉄筋が露出している場合は、錆を除去する。 ・浮き錆はワイヤーブラシやサンダーでケレン清掃する。 ・防錆のためエポキシプライマーを塗布する。 刷毛で充分に浸透させながら行う。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、充分に混練する。		軽量エポキシ樹脂 モルタルの充填 表面仕上げ 養生 清掃 自主検査		補修範囲の確認 下地処理 ケレン清掃 プライマー塗布 ポリマーセメント樹脂 モルタルの調合・充てん		・欠損部の状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・手工具(※1)にて はつり取り、ほこり等を除去して清浄で強固なコンクリート下地を出す。 ・鉄筋が露出している場合は、錆を除去する。 ・浮き錆はワイヤーブラシやサンダーでケレン清掃する。 ・仕様に沿ったプライマーの調整を行う。 ・プライマーを被着面に塗り残しのないように塗布する。 ・ポリマーセメント樹脂モルタルは、仕様に基づいて調合してから充分に混練する。 ・欠損の状態の合わせ、数層に分けてポリマーセメント樹脂モルタルを充てん又は塗り付ける。 ・各層塗り厚は7mm程度とする。		表面仕上げ 養生 清掃 自主検査		・表面を金ゴテで充分押えて、平滑に仕上げる。 ・各層とも急激な乾燥を避けて、ポリマーセメント樹脂モルタルが硬化するまで損傷、汚染等のないようにするとともに降雨等からも養生する。 (7日以上) ・ポリマーセメント樹脂モルタルの硬化後、補修以外の汚れ等を除去し、清掃する。 ・ポリマーセメント樹脂モルタルの仕上がり状態、硬化状態およびあとかたづけを確認する。			
				・プライマーの粘着性のあるうちに、エポキシ樹脂モルタルを充分押え込みながら充てんする。 ・表面を金ゴテ等で充分押えて、平滑に仕上げる。 ・軽量エポキシ樹脂モルタルが硬化するまでは(24時間以上)損傷、汚染のないようにし、また雨水等からも養生する。 ・補修部以外の汚れを除去し、清掃する。 ・軽量エポキシ樹脂モルタルの仕上がり状態、硬化状態および後片付けを確認する。											
工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事						海老名市		図面名称		外壁の改修工法ディテールシート (1)					
								縮尺		NO SCALE		図面番号		A - 43	

樹脂注入工法

打放し

打放し

モルタル塗り

モルタル塗り

補修範囲の確認

ひび割れ部の清掃

注入孔位置決め

台座の貼り付け

仮止めシール

- ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。
- ひび割れ部を中心に幅50mm程度の表面をワイヤーブラシ等で清掃する。
ひび割れ部が濡れている場合は、乾燥するまで作業は中止する。
- 注入孔位置を下記の表によりスケール等で測定し、チョークなどでマーキングする。

ひび割れ幅 (mm)	0.3以下	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0以上
注入孔の間隔 (mm)	50～100	100～200	150～250	200～300
- 台座または専用器具の注入口を塞がないように接着剤で固定する。
- メーカー仕様に基づき、仮止めシール材を施工する。
硬化するまで出来るだけ振動を与えないように注意する。

エポキシ樹脂の計量・混練

エポキシ樹脂の注入

エポキシ樹脂の硬化・養生

専用器具・仮止めシール材の除去

自主検査

- 主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、均一になるまで充分混練する。
- 専用器具にエポキシ樹脂を充填し、注入を行う。
注入状態を確認し、必要に応じてエポキシ樹脂を補充する。
- 注入作業完了後も専用器具を設置したまま硬化養生する。
・12時間以上の放置養生
- 皮スキ、ディスクサンダー、ホットエアガンなどを用いて専用器具及び、仮止めシール材を除去し、下地面を平滑に仕上げる。
- エポキシ樹脂の使用量及び、専用器具内の残量から注入量を確認する。

仕上げ塗材・下地調整材のいずれか、または両者に石綿含有の場合は、「自動式低圧エポキシ樹脂注入工法」を採用する。

アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

モルタル塗り

アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

モルタル塗り

補修範囲の確認

アンカーピンニングの本数と配置の決定

せん孔 (※2)

孔内の清掃

アンカーピン固定用エポキシ樹脂の計量・混練

アンカーピン固定用エポキシ樹脂の注入

- テストハンマー等で打診し、浮きの状態と範囲を調べてマーキングする。
- アンカーピンニングのせん孔位置を右上表にてチョークでマーキングする。

せん孔径	φ10
せん孔深さ	30mm以上
- アンカーピンニング用のせん孔深さは、躯体コンクリートに30mm以上とする。
せん孔径は使用するアンカーピンの直径より2mm程度大きい直径とする。
- 孔内の切粉等をブラシや圧縮空気等で除去する。
- 主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、充分に混練する。
- グリスポンプを用いて、せん孔部の最深部から徐々にアポキシ樹脂を注入する。充填量は指定がある場合を除き1ヶ所当り25ccとする。
- 規定のアンカーピンを孔最深部まで埋め込む。
- 適切な長さのアンカーピンのねじ切り部分にアンカーピン固定用エポキシ樹脂を塗布してから、気泡の巻込みに注意して孔内最深部まで確実に挿入する。

アンカーピンの挿入

養生

アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

清掃

自主検査

- アンカーピン:ステンレス製全ネジφ4mm
アンカーピンの頭は仕上げ面から5mm程度引っ込むようにする。孔内よりはみ出したエポキシ樹脂は除去し、目立たぬ色のパテ状エポキシ樹脂で穴うめする。
- アンカーピン固定用エポキシ樹脂注入後、夏期15時間、冬季24時間以上は衝撃や振動を与えないようにし、また降雨等からも養生する。
- 注入部以外に付着した汚れを除去し、清掃する。
- テストハンマーで打診して注入状態を確認するとともに、後片付けも確認する。

残存浮き部への注入孔の位置決め

注入孔のせん孔 (※2)

孔内の清掃

ひび割れ等のシール

残存浮きへの注入

養生

仕上げ

清掃

自主検査

- テストハンマーで打診して残存浮き範囲を再確認し、注入孔位置をチョーク等でマーキングする。
- アンカーピン固定用エポキシ樹脂硬化後、躯体コンクリートに5mm以上の深さまでせん孔する。
- 孔内の切粉等をブラシや圧縮空気等で除去する。
- 注入時にエポキシ樹脂が流出する恐れのあるひび割れや開口部等は確実にシールし、硬化養生する。
- グリスポンプを用いてエポキシ樹脂を適切な注入圧を保ちながら、ゆっくり注入を行う。
注入順序は下部から上部へ、片端部から他端部へ打診しながら残存浮き部全面に注入する。
注入後注入孔をパッキン等でふさぐ。
- エポキシ樹脂注入後、夏期15時間、冬季24時間以上は衝撃や振動を与えないようにし、また降雨等からも養生する。
- アンカーピンニングおよび注入孔にパテ状エポキシ樹脂等を充てんし、仕上げを行う。
- 注入部以外に付着した汚れを除去し、清掃する。
- テストハンマーで打診して注入状態を確認するとともに、あとかたづけも確認する。

工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事

海老名市

図面名称

外壁の改修工法ディテールシート (2)

縮尺

NO SCALE

図面番号

A - 44

■ 金属屋根改修塗装仕様		
遮熱塗料塗り(屋根用高日射反射率(遮熱)弱溶剤系高耐候型変性シリコン樹脂塗料)		
[ガルバリウム鋼板屋根面]		
工程・材料	工法	所要量
下地調整	「高圧水洗機による水洗い工法」又は、「水洗い」にて汚れ・付着物・下地に適さない劣化した既存塗膜を除去後、十分に乾燥させる	加圧力10～15MPa
下塗り	刷毛・全面にローラー塗り 塗装間隔(23℃)8H～7D	0.22kg／㎡以上 ウエット膜厚150μm ドライ膜厚55μm
上塗り(1～2回) 屋根用高日射反射率(遮熱)弱溶剤系高耐候型変性シリコン樹脂塗料 (ミラクールS100 各色 同等品)	刷毛・全面にローラー塗り 塗装間隔(23℃)4H～7D	0.22～0.25kg／㎡以上 ウエット膜厚180μm ドライ膜厚70μm

■ 外壁改修塗装仕様		
防水形複層塗材E (JIS A 6909)		
[外壁垂直面・外壁水平面・小庇等小面積の上裏・ALCパネル(凸凹模様)]		
工程・材料	工法	所要量
下地調整	「高圧水洗機による水洗い工法」又は、「水洗い」にて汚れ・付着物・下地に適さない劣化した既存塗膜を除去	加圧力10～15MPa
下地調整塗材(C-1 ポリマーセメント系) (※1)	全面にローラー塗り	0.8kg／㎡以上
下塗り 防水形複層塗材用下塗材 (JIS A 6909)	全面に吹付 1回	0.1kg／㎡以上
増塗り 防水形複層塗材用下塗材 (JIS A 6909)	出隅・入隅・目地部・開口部回り等にはけ又はローラー塗りにより、端部に段差のないように塗り分ける	0.9kg／㎡以上
主材基層塗り	全面に吹付 2回	1.7kg／㎡以上
主材模様塗り(パラペット天端等の平場はフラット)	全面に吹付	0.9kg／㎡以上
上塗り(JIS A 6909) フッ素系・1液・水系	全面に吹付 2回	0.25kg／㎡以上

外装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材(外装薄塗材E) (JIS A 6909)		
[庇・軒裏コンクリート面]		
工程・材料	工法	所要量
下地調整(既存下地の場合)	「高圧水洗機による水洗い工法」又は、「水洗い」にて汚れ・付着物・下地に適さない劣化した既存塗膜を除去	加圧力10～15MPa
下地調整塗材(C-1 ポリマーセメント系) (※1)	全面に吹付け、またはローラー塗り	0.8kg／㎡以上
下塗り	全面に吹付	0.1kg／㎡以上
主材塗り	全面に吹付 2回	1.5kg／㎡以上

(※1)下地補修等で不陸が著しく生じる部分は下地調整塗材(C-2 ポリマーセメント系)を使用すること

水性アクリル樹脂系塗床(防滑仕上) 塗替え		
[階段,通路]		
工程・材料	工法	所要量
下地調整	「高圧水洗機による水洗い工法」又は、「水洗い」にて汚れ・付着物・下地に適さない劣化した既存塗膜を除去	加圧力10～15MPa
下地調整塗材(C-1 ポリマーセメント系) (※1)	全面にローラー塗り	0.8kg／㎡以上
下塗り 水性アクリル樹脂系塗床材	全面にローラー塗り	0.4kg／㎡以上
仕上塗料塗り(防滑仕上) 水性アクリル樹脂系塗床材	全面にローラー塗り	0.6kg／㎡以上

■ ガラス繊維天井改修塗装仕様		
飛散防止塗料塗り(表面固化粉塵飛散防止処理工法)		
[ガラス繊維天井面]		
工程・材料	工法	所要量
下地調整	小さな傷・ほつれ等は押えて補修する 剝離・脆弱部分は撤去	
表面固化 飛散防止塗料塗り(表面固化粉塵飛散防止処理工法) (ロックシール工法R 同等処理工法)	エアレススプレー 工程内2以上	0.6～1.0kg／㎡ 18～30㎡／18kg(2回での量)

■ 外部鉄部改修塗装仕様		
耐候性塗料塗り DP塗装(鉄鋼面改修)		
※下地調整 RA種の場合は公共建築改修工事標準仕様書による		
工程・材料	工法	所要量
下地調整(RB種) 既存塗膜の除去 汚れ、付着物除去 油類除去 研磨紙ざり	ディスクサンダー、スクレーパー等により劣化部分を全面除去し活膜は残す 素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により除去する 溶剤ぶき 研磨紙P120～220で全面を平らに研磨する	
下塗り(2回) 変性エポキシ樹脂プライマー E種	はけにて全面塗り付け 塗装間隔(20℃)24時間以上～7日以内	0.14kg／㎡以上
研磨紙ざり	研磨紙P120～220で研磨する	
中塗り 鋼構造物用耐候性塗料(JIS K5659) 中塗り塗料	はけにて全面塗り付け、塗料用シンナーA 塗装間隔(20℃)24時間以上～7日以内	0.14kg／㎡以上 希釈率0～10%
上塗り 鋼構造物用耐候性塗料(JIS K5659)フッ素系塗料 1級	はけにて全面塗り付け、塗料用シンナーA	0.10kg／㎡以上 希釈率0～10%

■ 内部鉄部改修塗装仕様		
合成樹脂調合ペイント塗り SOP塗装(鉄鋼面改修)		
工程・材料	工法	所要量
下地調整(RB種) 既存塗膜の除去 汚れ、付着物除去 油類除去 研磨紙ざり	ディスクサンダー、スクレーパー等により劣化部分を全面除去し活膜は残す 素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により除去する 溶剤ぶき 研磨紙P120～220で全面を平らに研磨する	
下塗り(1回目)+研磨紙ざり下塗り(2回目) 鉛・クロムフリー錆止めペイント(JIS K5674) A種	はけにて全面塗り付け、研磨紙P120～180で全面研磨する 塗装間隔(20℃)24時間以上～7日以内	0.10kg／㎡以上
パテかい(JASS18M-110)+研磨紙ざり	研磨紙P180～240で全面研磨する	
中塗り(1回目)+研磨紙ざり+中塗り(2回目) 合成樹脂調合ペイント塗料(JIS K5516) 1種	はけにて全面塗り付け、塗料用シンナーA、研磨紙P220～240で全面研磨する 塗装間隔(20℃)24時間以上～7日以内	0.09kg／㎡以上
上塗り 合成樹脂調合ペイント塗料(JIS K5516) 1種	はけにて全面塗り付け、塗料用シンナーA	0.08kg／㎡以上

■ 内部木部改修塗装仕様		
OSCU塗り 水性1液ウレタン塗料塗り(木部面改修)		
工程・材料	工法	所要量
新設の場合 :素地ごしらえ,木部B種 既存塗膜ある場合:下地調整,木部RA種(既存塗膜全面除去)		
着色(2回) 水性自然系木部用浸透型着色剤 OS (VATON FX各色同等品) ふき取り	刷毛塗り/ローラーにて全面塗り付け 塗装間隔(23℃)16時間以上 全面白木綿布片でふき取る	0.03kg／㎡以上
下塗り・中塗り(艶有り) 水性ウレタン塗料(無黄変タイプ)(水性VATON FXフロアNX同等品) 研磨紙刷り	羊毛モップ塗り/刷毛塗りにて全面塗り付け 塗装間隔(23℃)16時間以上	0.05kg／㎡以上 (0.08～0.10)
上塗り(各艶) 水性ウレタン塗料(無黄変タイプ)(水性VATON FXフロアNX同等品)	研磨紙P240～320	
	羊毛モップ塗り/刷毛塗りにて全面塗り付け	0.05kg／㎡以上 (0.08～0.10)

2液形ポリウレタン樹脂ワニス塗料(床面改修)		
[ステージ床、体育室床面]		
工程・材料	工法	所要量
体育室床の場合:素地ごしらえ,木部B種 ステージ床の場合(既存塗膜ある場合):下地調整,木部RA種(既存塗膜全面除去)		
下塗り(1回) 水性2液型ポリウレタンワニス 研磨紙ざり(研磨紙240～320)	専用アプリケーションター(ムートン等)/刷毛塗り 塗装間隔(20℃)16時間以上3日間以下	0.06kg／㎡以上
中塗り(1回) 水性2液型ポリウレタンワニス 研磨紙ざり(研磨紙240～320)	専用アプリケーションター(ムートン等)/刷毛塗り 塗装間隔(20℃)6時間以上	0.06kg／㎡以上
コートライン引き(体育室床) 溶剤型1液ポリウレタン樹脂塗料 50mm(コートライン一覧表による)	刷毛塗り 塗装間隔(20℃)12時間以上3日間以下	0.06kg／㎡以上
上塗り(1回) 水性2液型ポリウレタンワニス	専用アプリケーションター(ムートン等)/刷毛塗り	0.06kg／㎡以上

工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

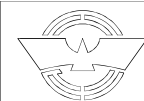
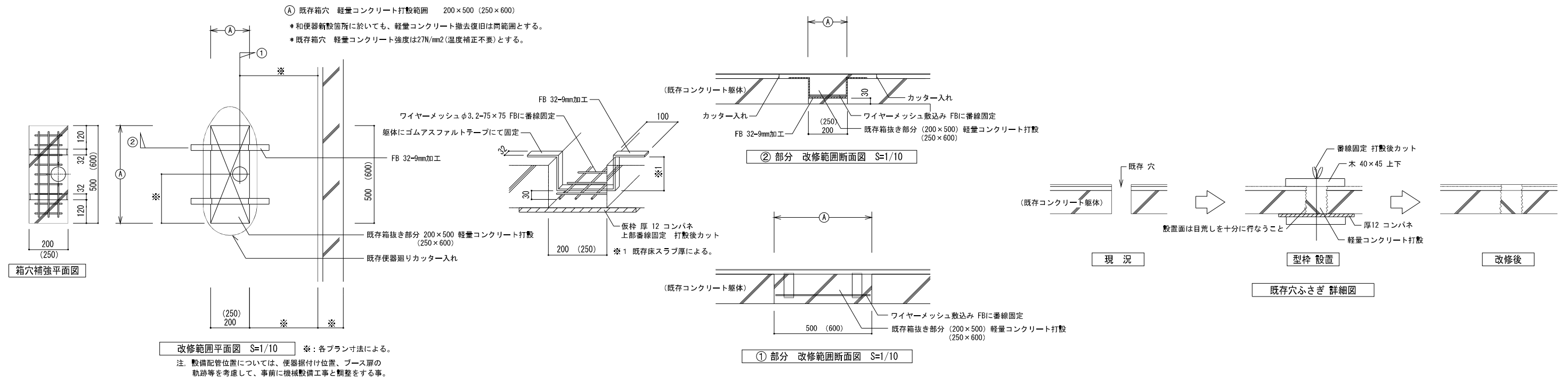
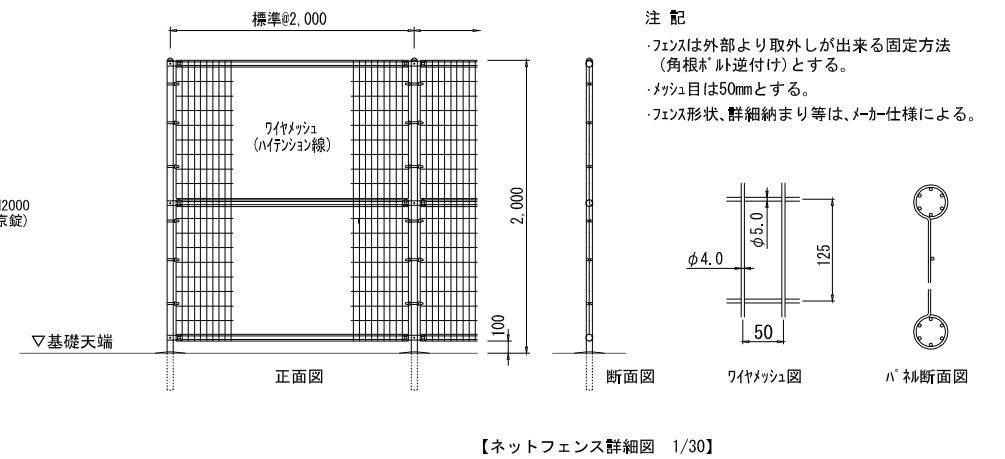
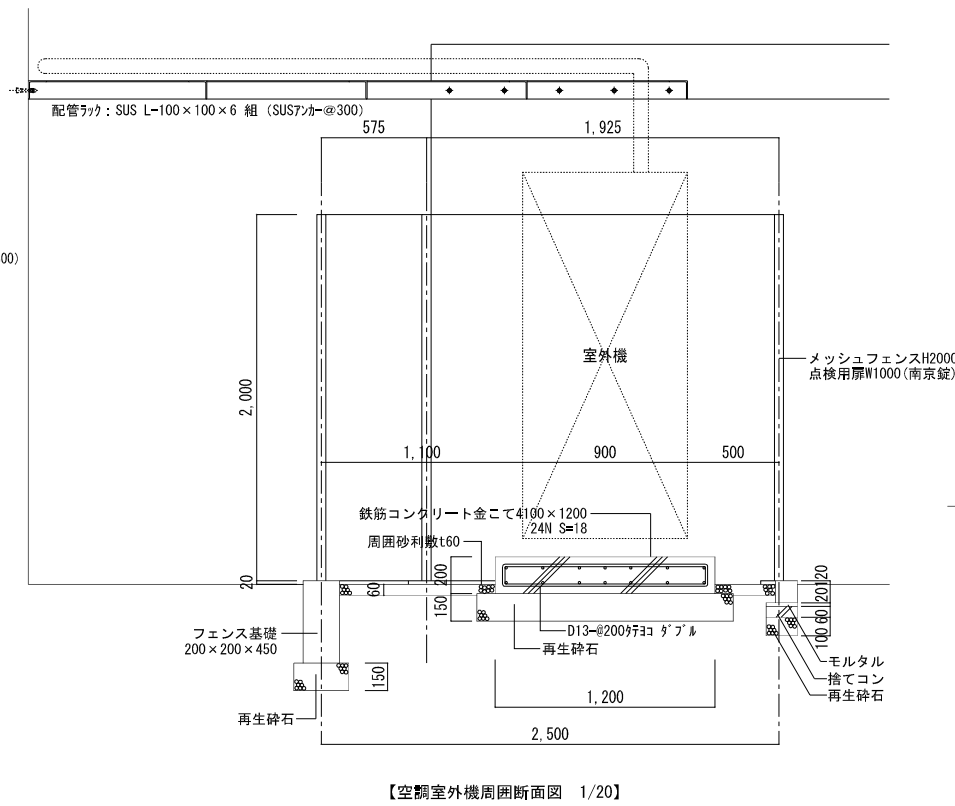
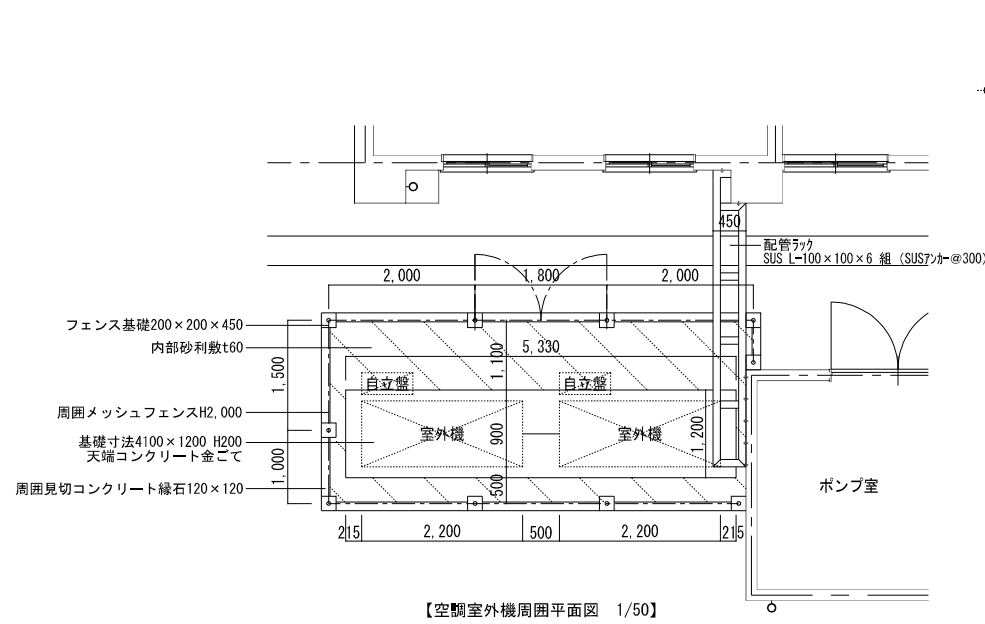
改修塗料等仕様書

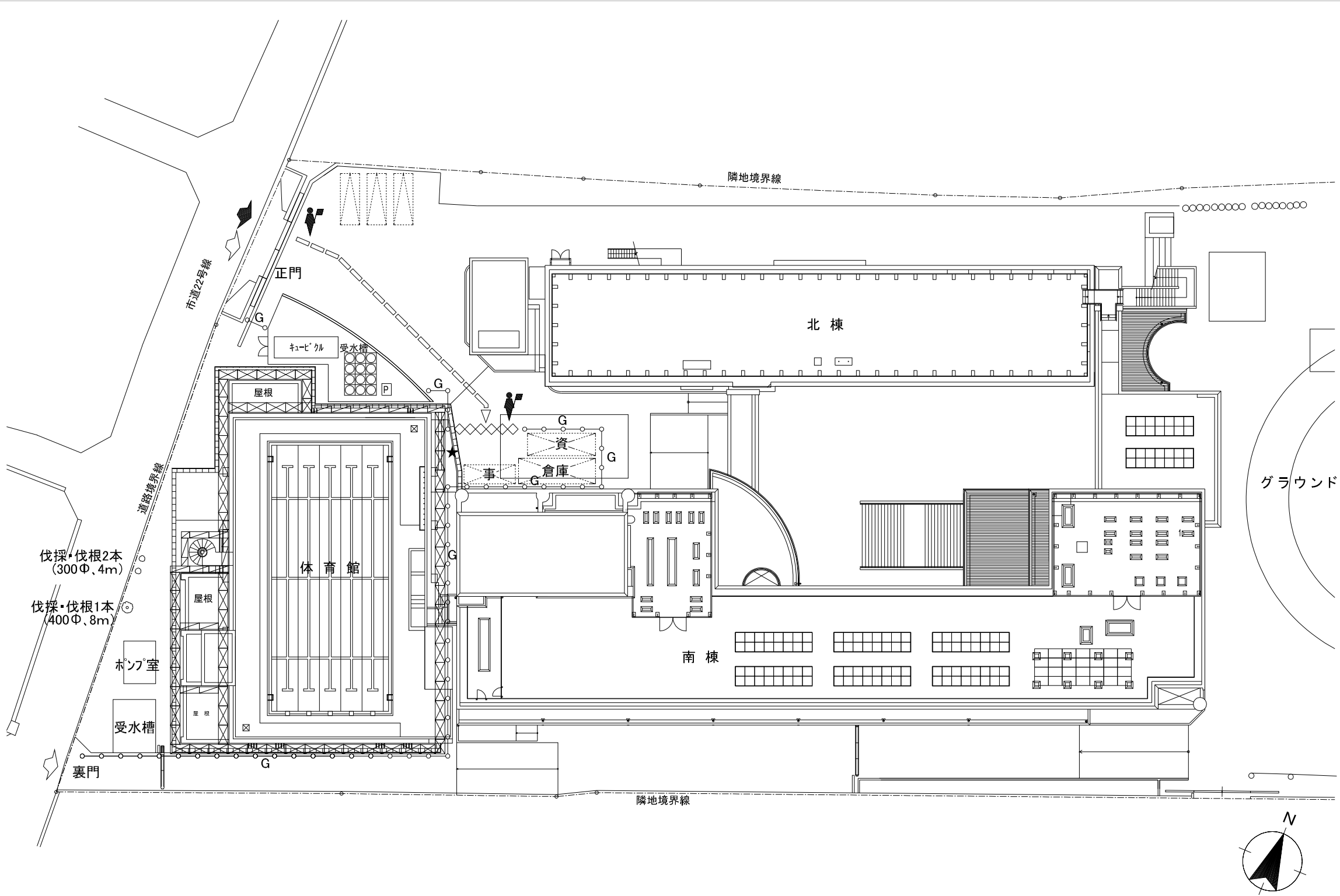
縮尺

N0 SCALE

図面番号

A - 45



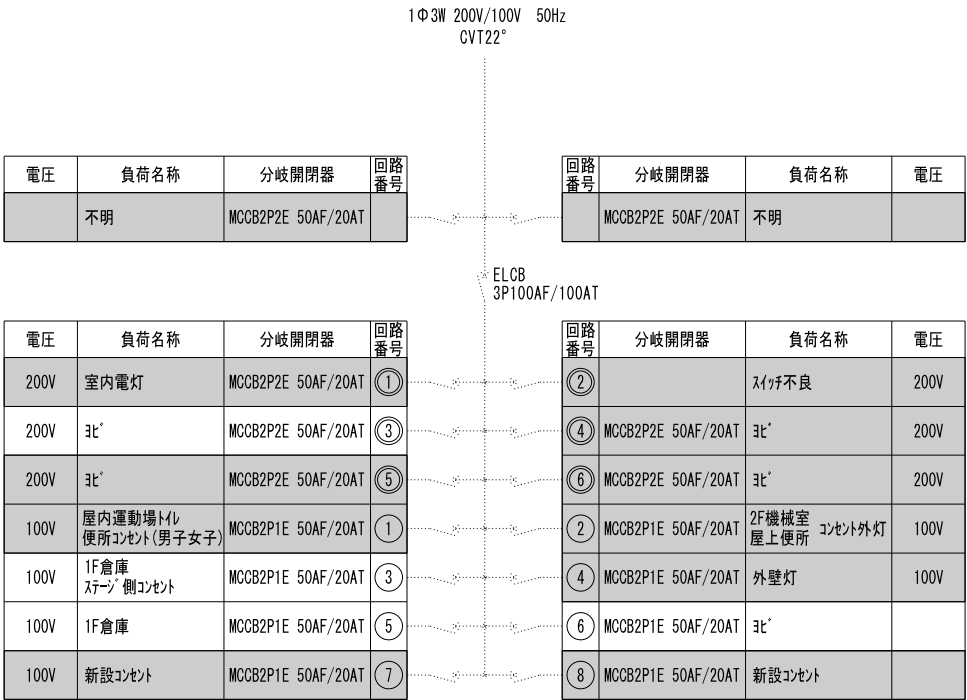


■ 仮設計画図凡例	
	工事車両 敷地出入り口
	学校関係 敷地出入り口
	工事関係 建物出入口
	児童職員出入口
	工事車両搬入通路
	交通整理員
	手すり先行枠組本足場 (手すり据置型とする)W600・W900
	・安全手すり共 ・ネット状養生シート(防災Ⅰ類) ・扉鍵付共
	荷揚げ資材仮置きステージ足場 ★最上部電動ウィンチ
	附帯施設屋根、底足場下 ビニルシート+t12ラワン合板養生
	仮設敷鉄板養生
	ポリエチレン製敷板養生
	ゴムマット養生
	クロスゲート(W6,000×H1,800)
	ガードフェンス H1,800
	カラーコーン+バー
	樹脂フェンス
	資材置場(シート床養生共)
	現場事務所(設置可能場所)
	仮設倉庫(ユニットハウス2.4×7.2程度) 体育館備品置場
	搬出入車両置場

■特記事項	
・本図をもとに仮設図を作成し 施設管理者、監督員と協議のうえ着手すること。	
＜体育館屋根改修＞	
・体育場床・舞台・ギャラリーは 養生撤去のあと清掃を行うこと。	
・ピアノは毛布掛けのうえビニルシートにて 養生をし、工事完了後に調律を行うこと。	
・附帯施設等の下屋に金属板葺きがある場合は ビニルシート+t12ラワン合板養生を行い単管フック足場にて 仮設足場の軽量化を図る事。	
＜サッシ改修＞	
・サッシ改修部分(内部)はシート床養生(サッシ幅×1m)とする。	
・改修サッシで移動の必要がある家具は 移動・再設置をすること。	
＜設備改修＞	
・ガス配管、電気配線等の敷設の際は、児童動線との 隔離対策を行うこと。	

(既設)

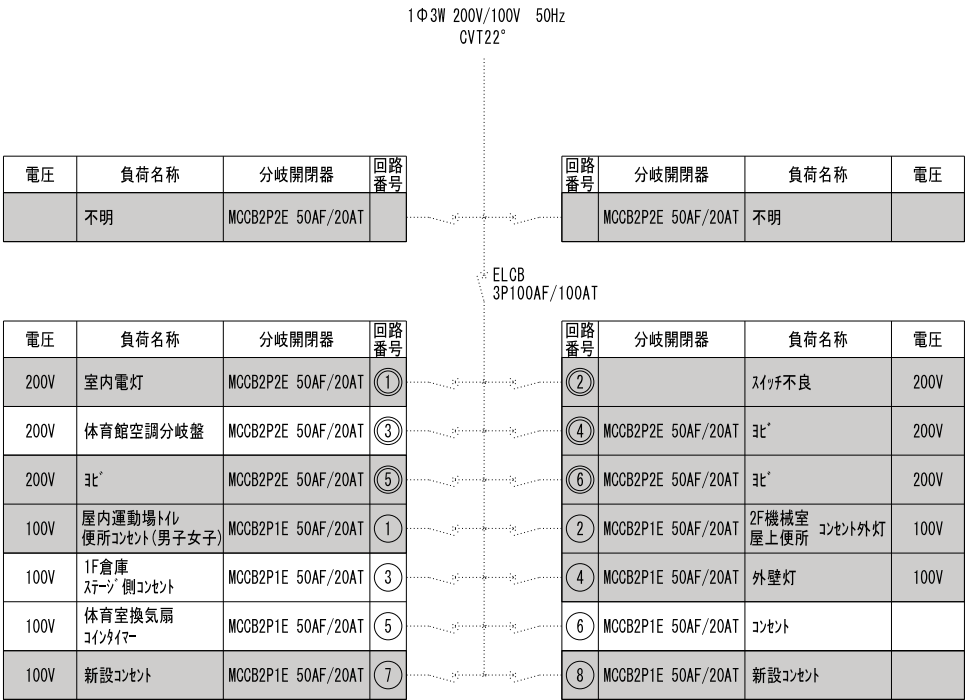
電灯分電盤 (埋込型)



※改修後、⑤の2次側配線を③の2次側へ接続する。

(改修後)

電灯分電盤 (埋込型)

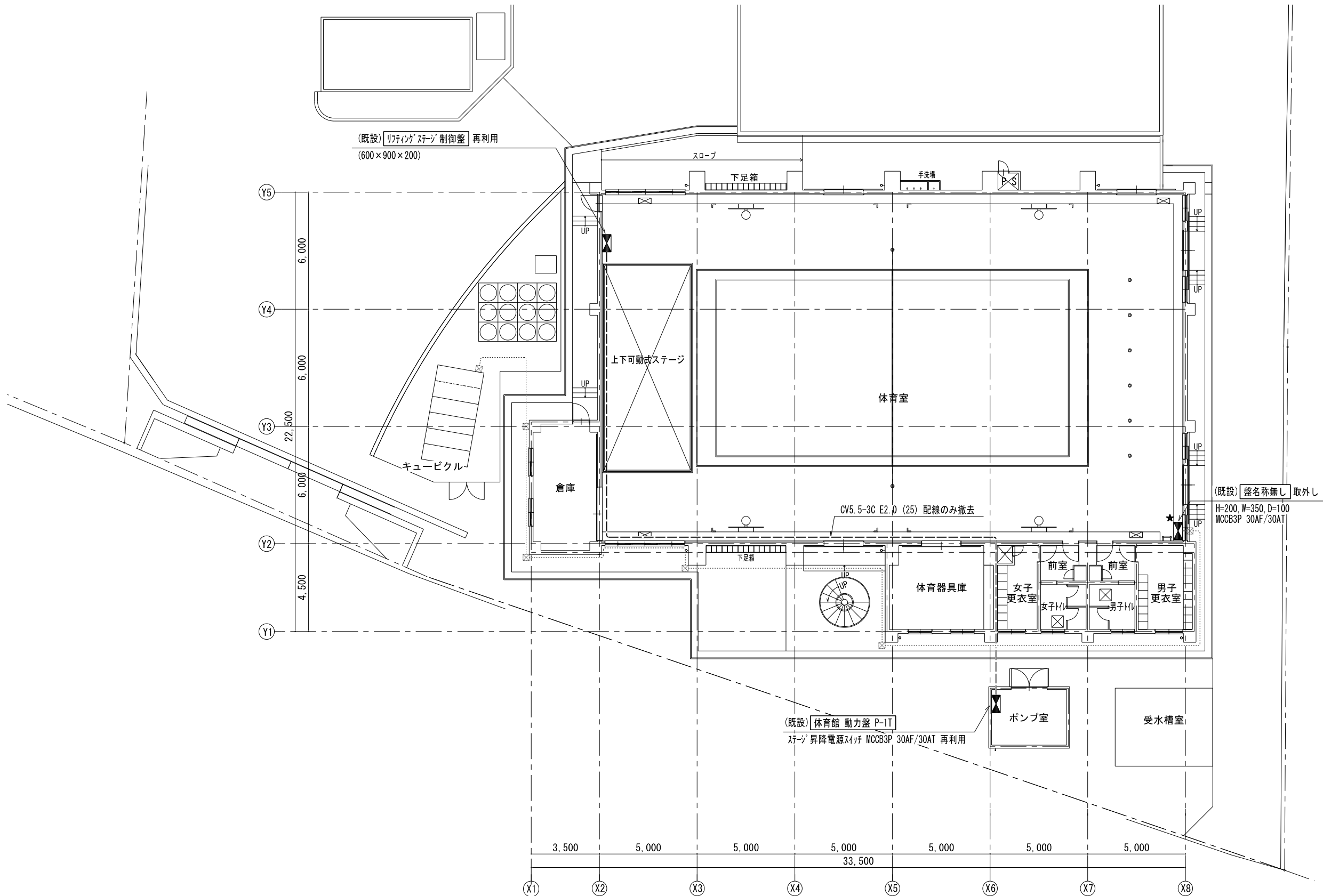


注1. 今回工事は太線を示す。

注2. 対象外とする。

注3. MCCB2P1E → AC-1φ3W-100Vを示す。
MCCB2P2E → AC-1φ3W-200Vを示す。





凡例	
★	取外し後、再取付を示す。

※特記なき太線は撤去とする。

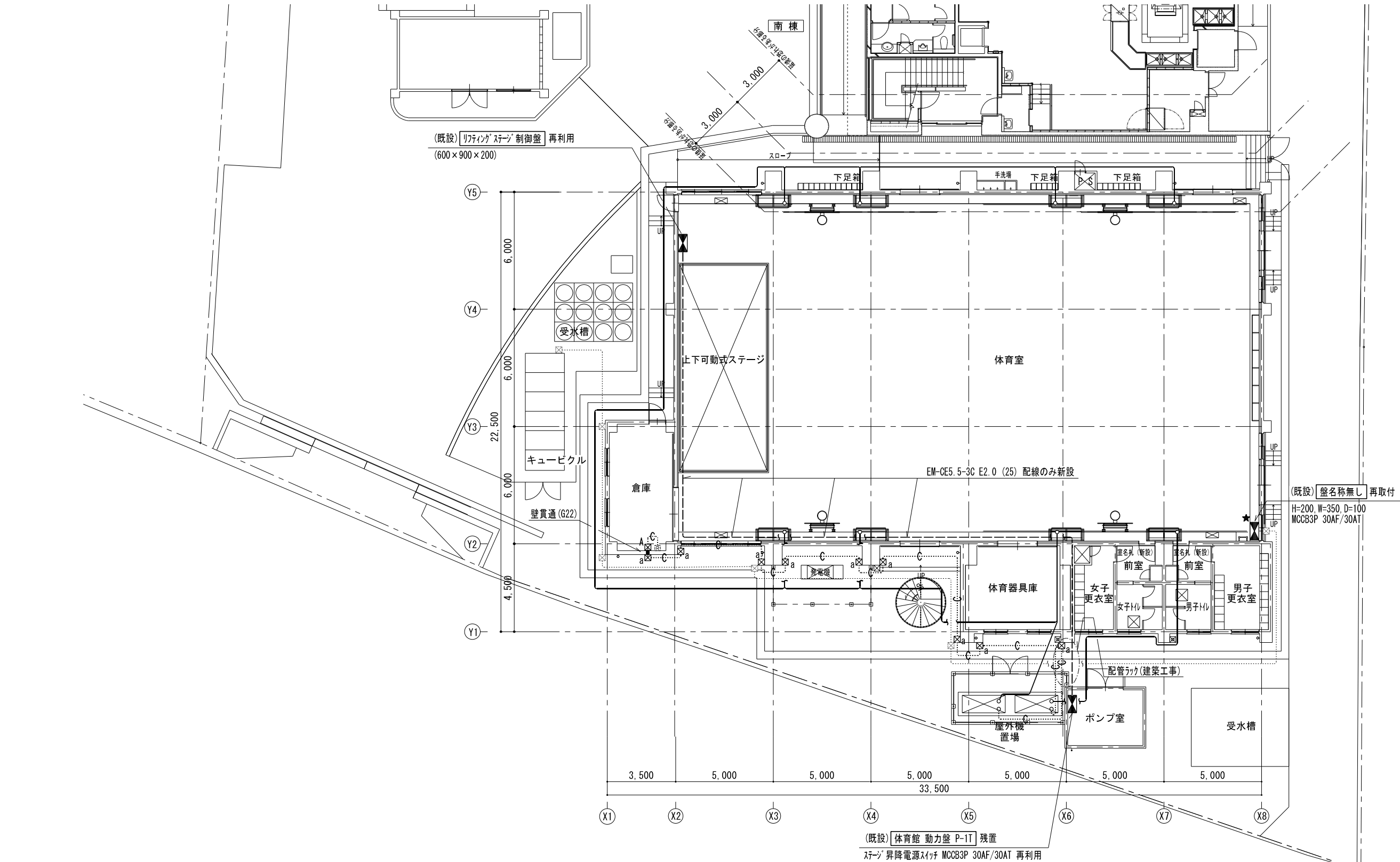
動力設備 既存 1階平面図 1/100

工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称	動力設備 既存 1階平面図		
	縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E- 03



特記なき配管配線は下記とする。		
	EM-EEF2.0-3C	(冷媒配管共巻き)
	(G22)	(配線は機械設備工事とする)

注1. 図中露出配管の配線は、内装改修（壁仕上材げ張替え等）が伴う場合、可能な限り壁内配線とする。
※特記なき太線は新設とする。

- 凡例
- ☒A : プルボックス(150×150×100)鋼板製 錆止め塗装
 - ☒a : プルボックス(150×150×100)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ☒B : プルボックス(200×200×150)鋼板製 錆止め塗装
 - ☒b : プルボックス(200×200×150)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ☒D : プルボックス(300×300×200)鋼板製 錆止め塗装
 - ☒d : プルボックス(300×300×200)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ☒回 : 個別リモコン (機械設備工事)
- ※()は接地端子付とする。

工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

動力設備 改修 1 階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

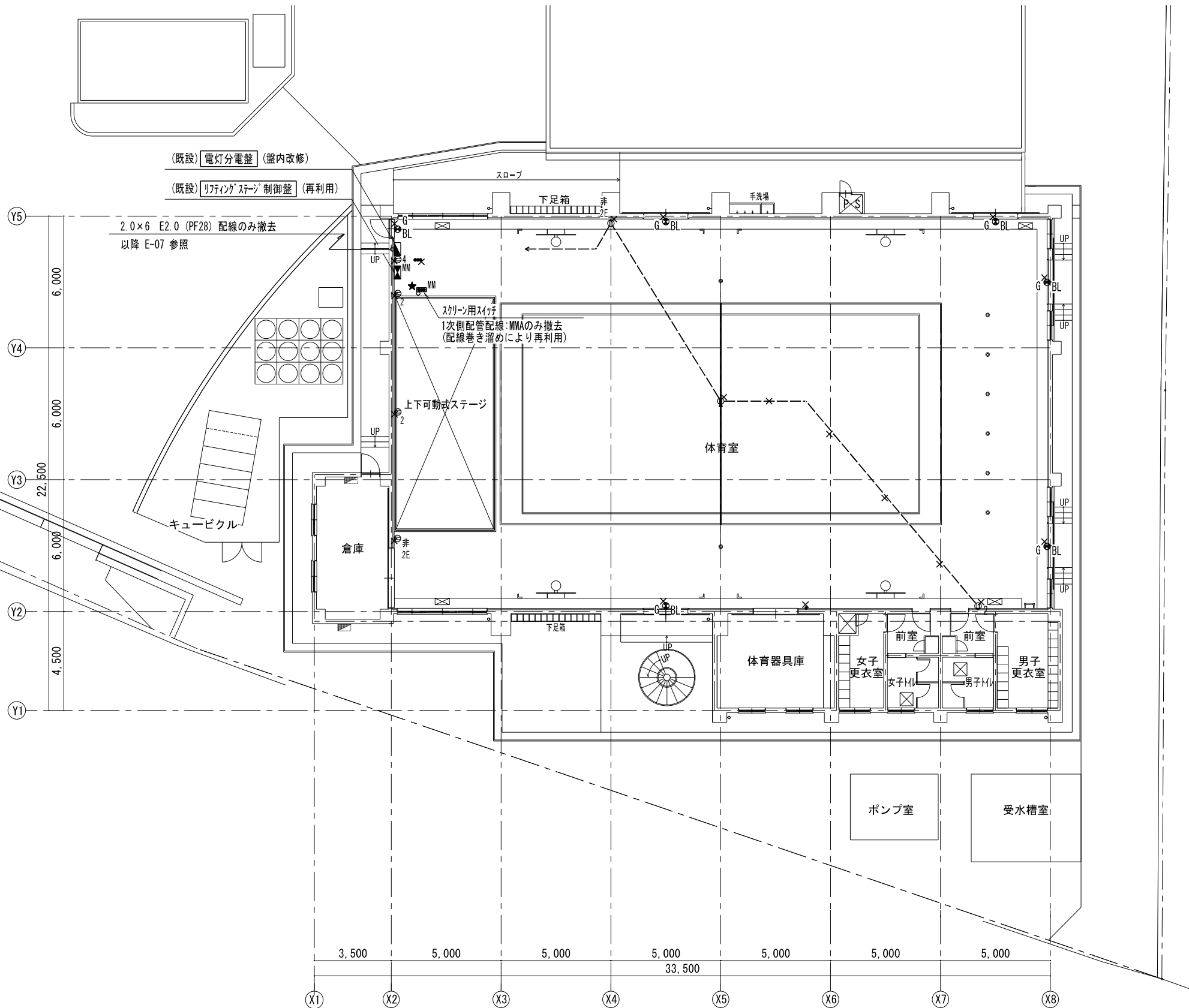
図面番号

E- 04

動力設備 改修 1 階平面図 1/100

凡例	
G ● BL	避難口誘導灯 BL級 ガート リニューアル付
●	スイッチ 1P15A×1
■	スイッチ 1P15A×3
■ MM	スイッチ 1P15A×3・MMA用※ ッス(1個用) (スクリーン用)
⓪ 2	コンセント 2P15A×2
⓪ 2E 非	非常用コンセント 2P15A×2 接地極 (赤色)
⓪ 4 MM	コンセント 2P15A×4・MMA用※ ッス(2個用)
ⓧ	ブール※ ッス(200×200×150)銅板製
★	取外し後、再取付を示す。
×	撤去を示す。
特記なき配管配線は下記とする。	
----	EM-1E2.0×2 E2.0 (19)

※特記なき太線は撤去とする。



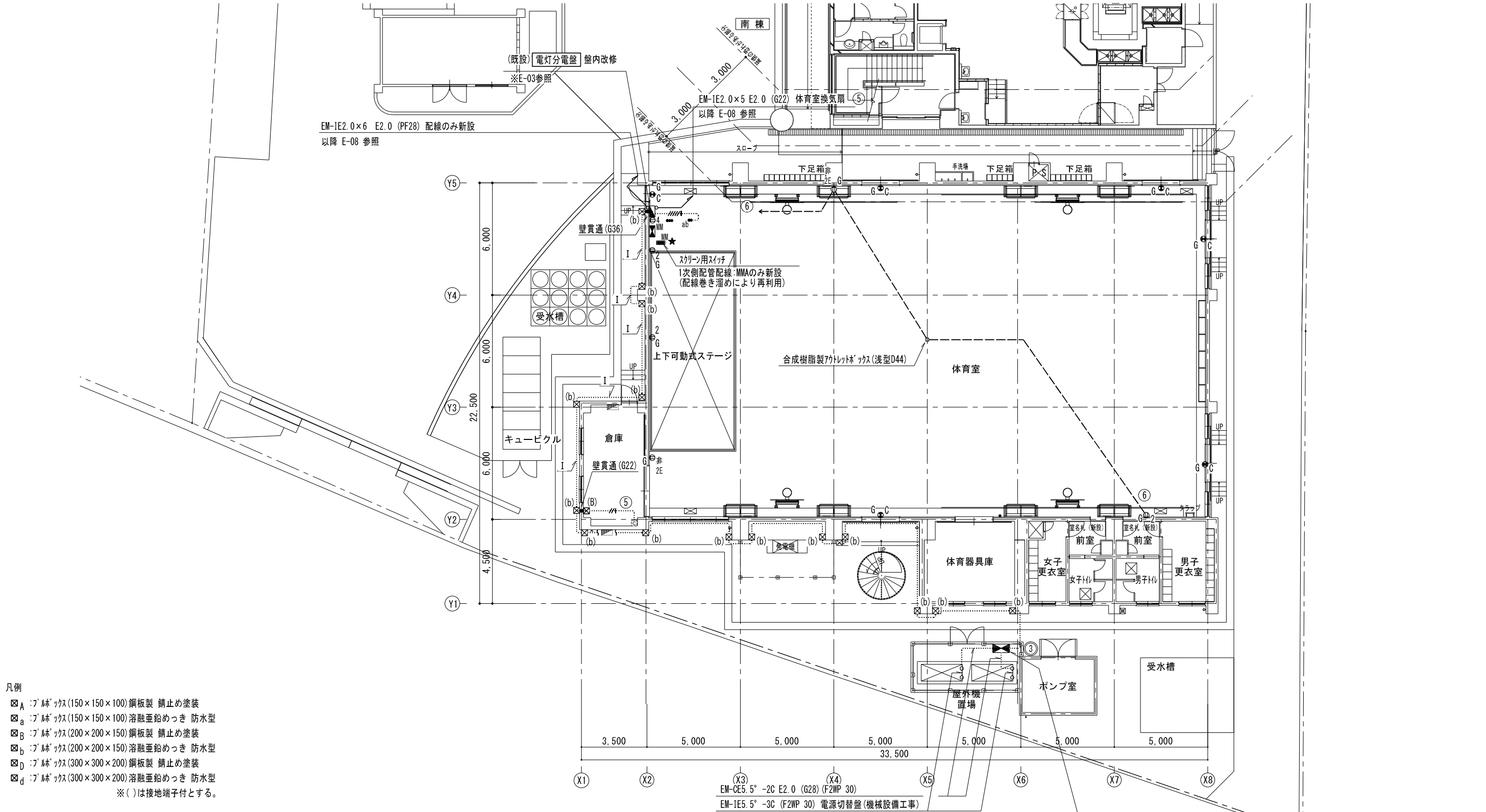
電灯設備 既存 1階平面図 1/100

工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



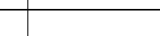
海老名市

図面名称	電灯設備 既存 1階平面図		
	縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E- 05



凡例			特記なき配管配線は下記とする。	
	避難口誘導灯 C級 ガード付		コンセント 2P15A×2 ガードプレート付	 EM-CET14° E2.0 (G36)
	スイッチ 1P15A×1		コンセント 2P15A×4 MMA用ボックス(2個用)	 EM-IE2.0×2 E2.0 (G16)
	スイッチ 1P15A×3		非常用コンセント 2P15A×2 接地極 (赤色) ガードプレート付	 EM-IE2.0×5 E2.0 (G22)
	スイッチ 1P15A×3・MMA用ボックス(1個用) (スクリーン用)		リフティングステージ制御盤 (建築工事)	----- EM-IE2.0×2 E2.0 (既設) 配線のみ新設
	スイッチ 1P15A×2 PLラン付・露出スイッチボックス 1個用		再取付を示す。	

注1. 図中露出配管の配線は、内装改修（壁仕上材げ張替え等）が伴う場合、可能な限り壁内配線とする。
※特記なき太線は新設とする。

新設	結線図	回路	電圧	分岐開閉器		付帯機器	容量(VA)	負荷名称	
		番号	(V)	MCCB	AF/AT				
体育館空調分岐盤									
○形状、仕様		①	200	ELCB2P	50/20		1330	GHP-1	
銅板製、壁掛形		②	200	ELCB2P	50/20		1330	GHP-2	
屋外防水壁掛型									
設置高さ H=GL+1400									

使用する屋内・屋外機の推奨トリップ値とすること。

電灯設備 改修 1階平面図 1/100

工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

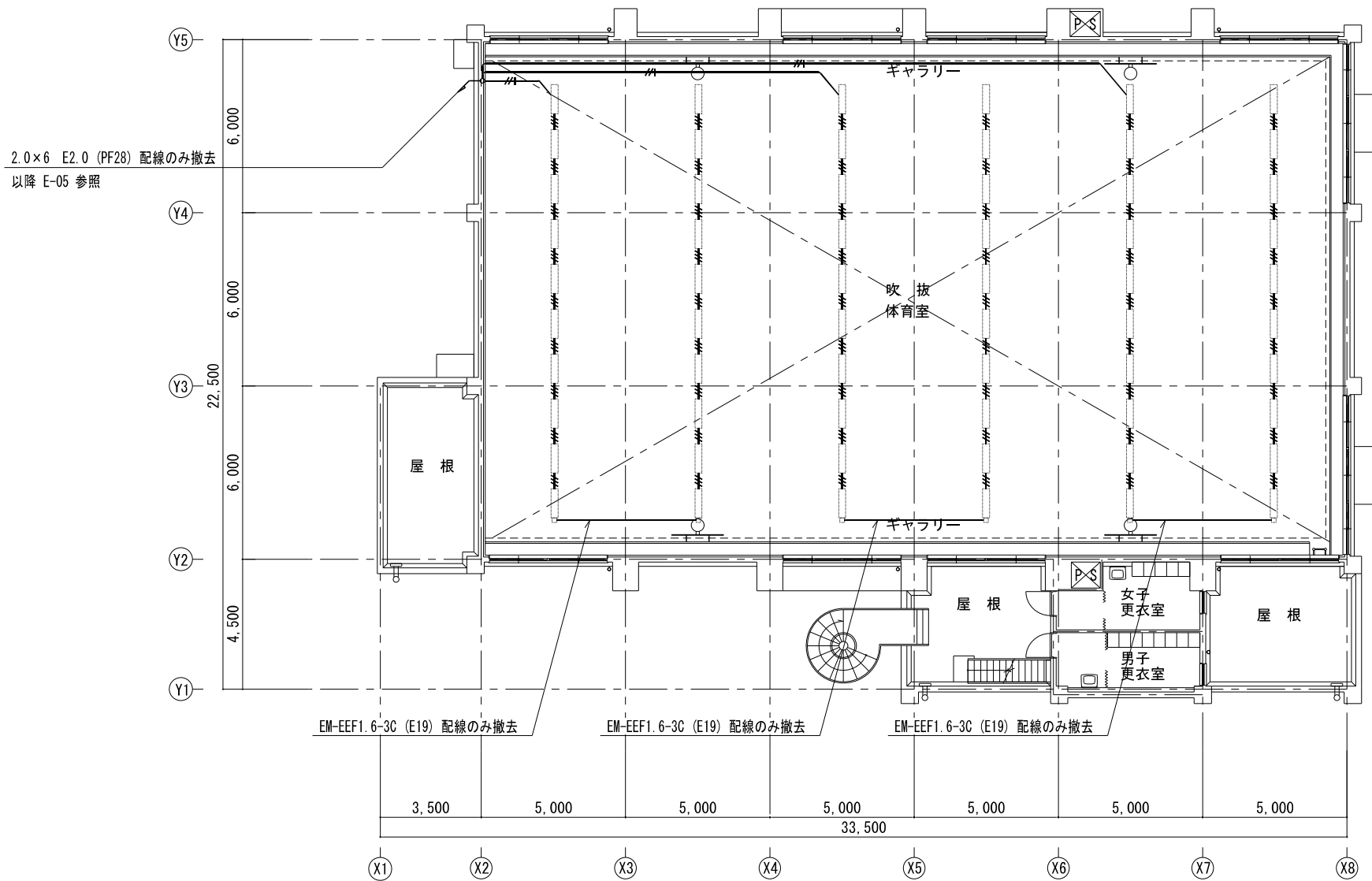
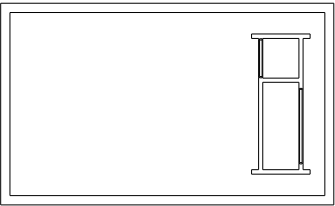
電灯設備 改修 1階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 06



凡例		
	LED照明器具(既設)	
特記なき配管配線は下記とする。		
	1.6×3 (既設)	配線のみ撤去
	EM-EEF 1.6-3C (レスウェイ)	配線のみ撤去

※特記なき太線は撤去とする。

電灯設備 既存 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

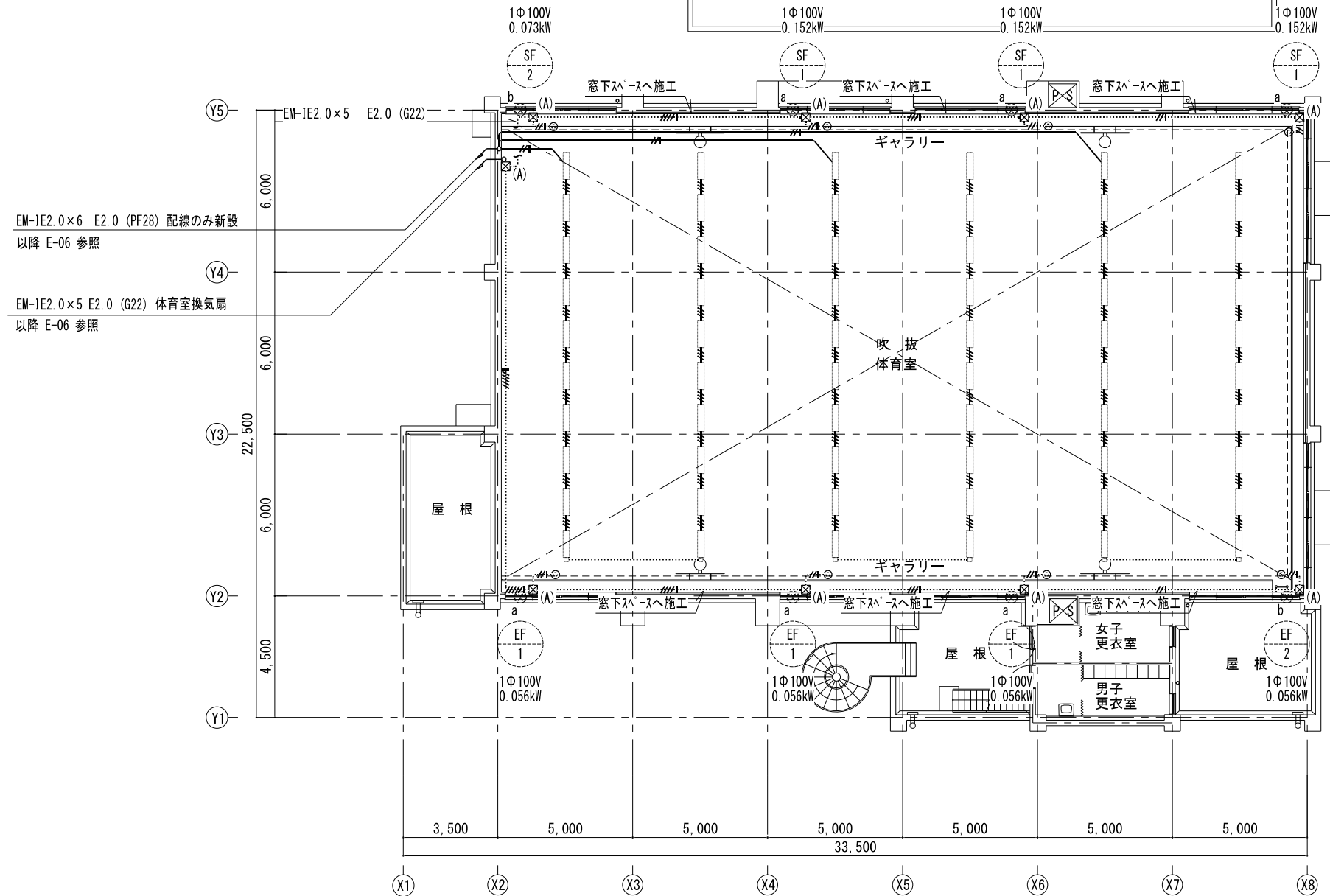
電灯設備 既存 2階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 07



凡例

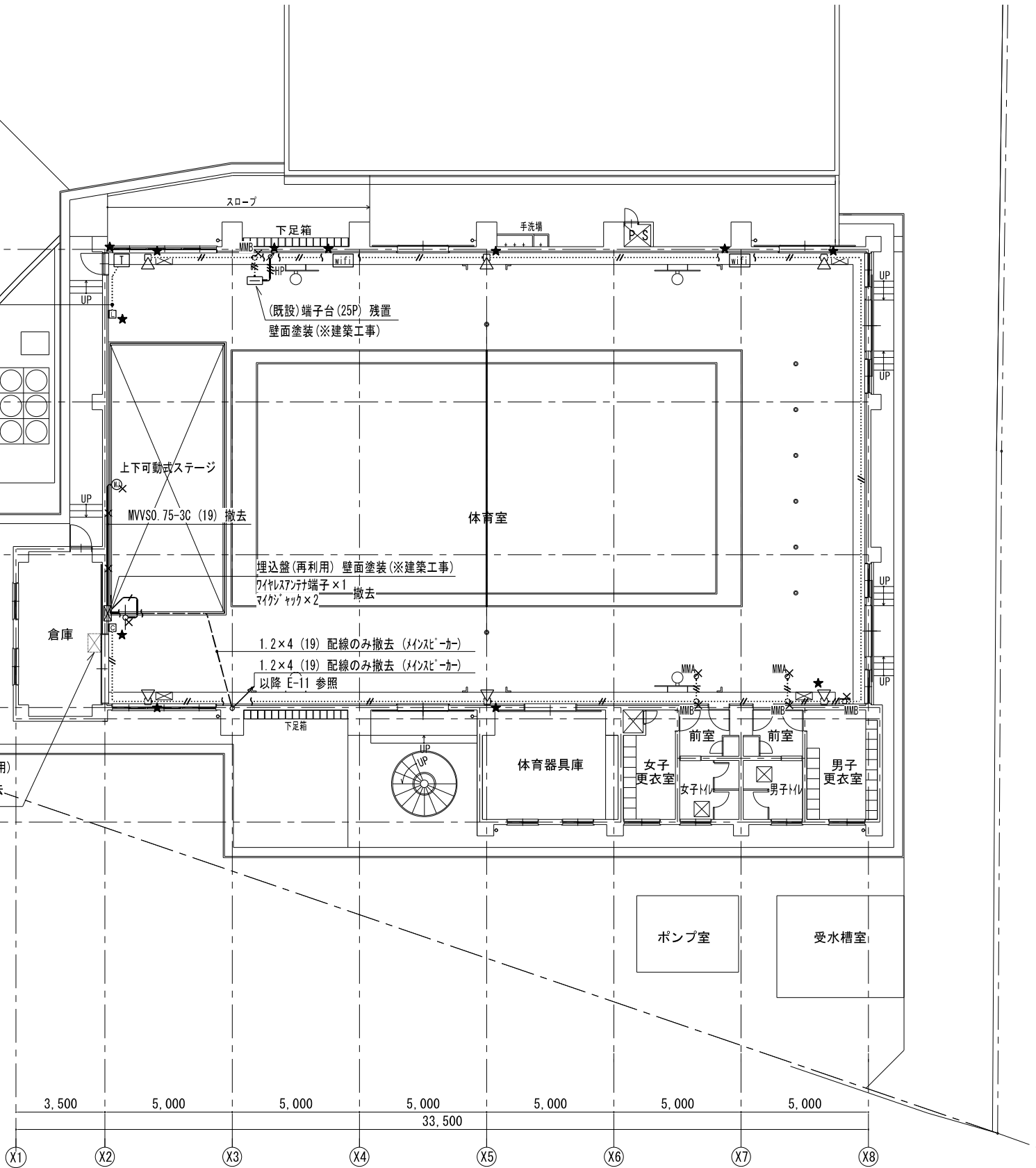
- ☒_A : 7' 1/2" ヲス(150×150×100) 銅板製 錆止め塗装
- ☒_a : 7' 1/2" ヲス(150×150×100) 溶融亜鉛めっき 防水型
- ☒_B : 7' 1/2" ヲス(200×200×150) 銅板製 錆止め塗装
- ☒_b : 7' 1/2" ヲス(200×200×150) 溶融亜鉛めっき 防水型
- ☒_D : 7' 1/2" ヲス(300×300×200) 銅板製 錆止め塗装
- ☒_d : 7' 1/2" ヲス(300×300×200) 溶融亜鉛めっき 防水型

※ () は接地端子付とする。

電灯設備 改修 2階平面図 1/100

凡例		
	既設端子盤	(拡声設備)
	災害用特設公衆電話用端子盤	ホン型スピーカー (非常放送用)
	wifiアンテナ	アンテナ
	モジュラージャック・MMA用ボックス(1個用)	カットリレー
	MMA用 丸型ボックス	(音響設備)
	MMB用 角型ボックス	ワイヤレスアンテナ
	取外し後、再取付を示す。	マイクジャック
	撤去を示す。	
特記なき配管配線は下記とする。		
	HP1.2-2C (MM2)	
	HP1.2-3C (既設) 配線のみ撤去	
	5C-2V (既設) 配線のみ撤去	

※特記なき太線は撤去とする。



通信・情報設備 既存 1階平面図 1/100

工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

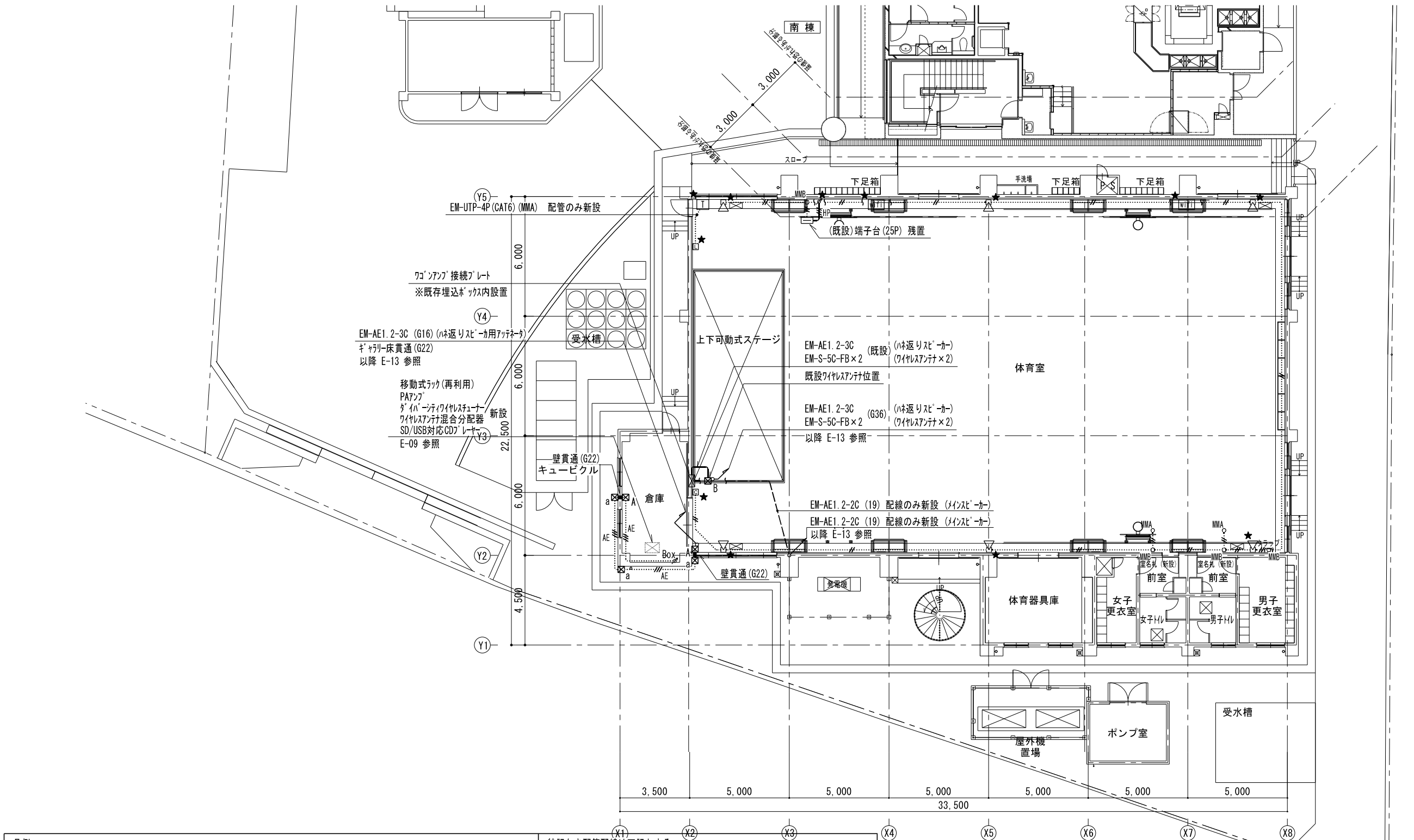
通信・情報設備 既存 1階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 10



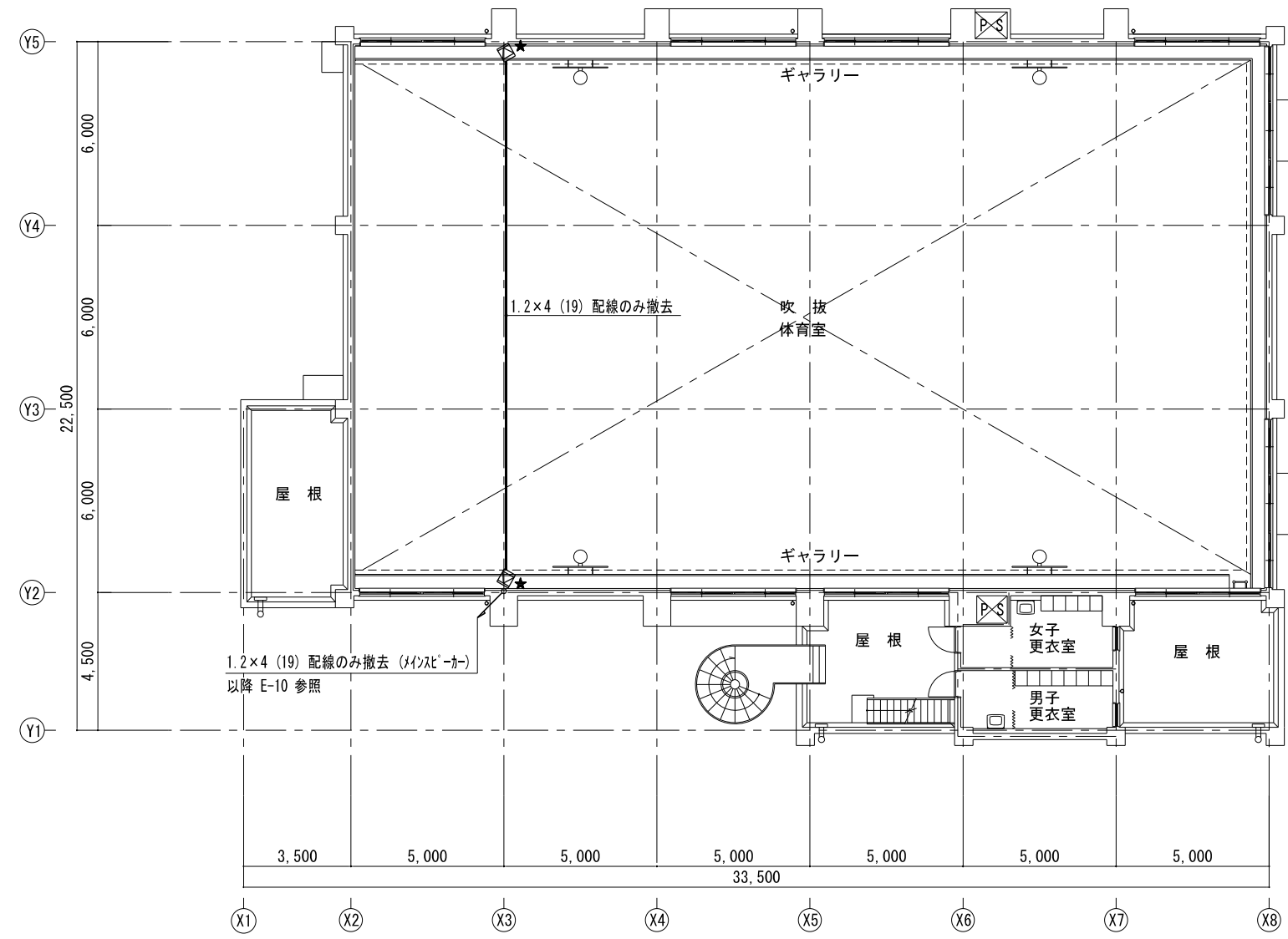
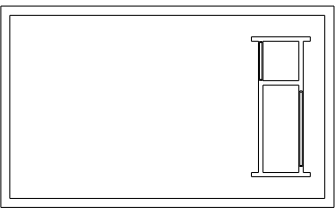
凡例		特記なき配管配線は下記とする。	
	既設端子盤	(拡声設備)	HP..... EM-HP1.2-2C (MM2)
	災害用特設公衆電話用端子盤	ワイドホンスピーカー (防球ガード付)	——HP—— EM-HP1.2-3C (既設) 配線のみ新設
	wifiアンテナ	アンテナ 6W以下	AE..... EM-AE1.2-3C (G16) (ハネ返りスピーカー用アンテナ)
	モニタリングヤック・MMA用ボックス(1個用)	カットリレー	
	MMA用 丸型ボックス	(音響設備)	
	MMB用 角型ボックス	Box アンテナ 30W以下 スイッチボックス(1個用) (ハネ返りスピーカー用)	
	再取付を示す。		

- 凡例
- ⓐ : プレートボックス(150×150×100)鋼板製 錆止め塗装
 - ⓑ : プレートボックス(150×150×100)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ⓒ : プレートボックス(200×200×150)鋼板製 錆止め塗装
 - ⓓ : プレートボックス(200×200×150)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ⓔ : プレートボックス(300×300×200)鋼板製 錆止め塗装
 - ⓕ : プレートボックス(300×300×200)溶融亜鉛めっき 防水型
- ※()は接地端子付とする。

※特記なき太線は新設とする。

通信・情報設備 改修 1階平面図 1/100





凡例	
☒	メインスター
★	取外し後、再取付を示す。

※特記なき太線は撤去とする。

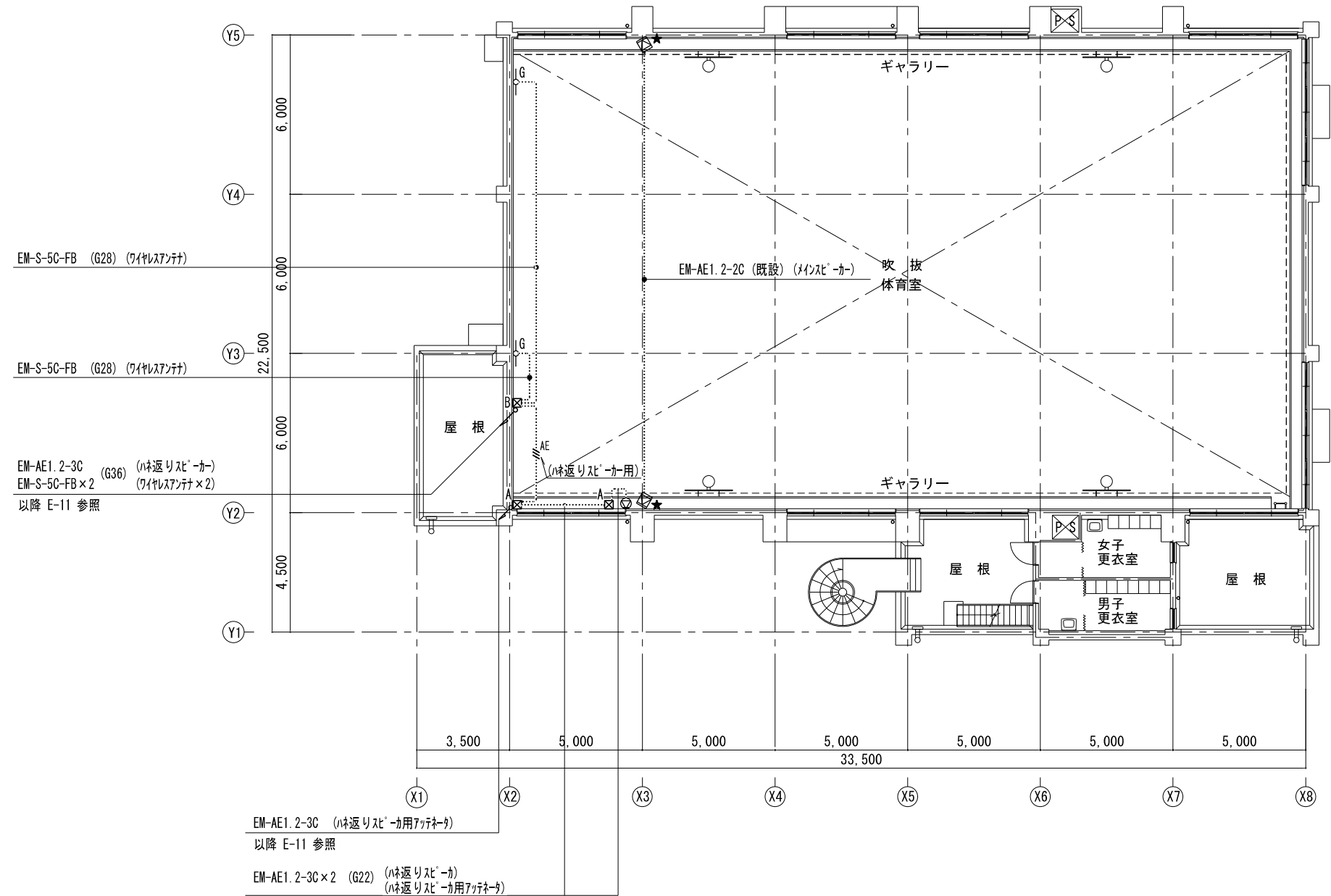
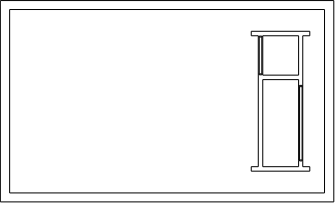
通信・情報設備 既存 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称	通信・情報設備 既存 2階平面図		
	縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号 E- 12



凡例	
	メインエレベーター
	ハネ返りエレベーター
	壁取付用ワイヤレスアンテナ (防球ガード付)
	再取付を示す。

AE
EM-AE1.2-3C (G16) (ハネ返りエレベーター)
※特記なき太線は新設とする。

- 凡例
- ⊠A : プルボックス(150×150×100)銅板製 錆止め塗装
 - ⊠a : プルボックス(150×150×100)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ⊠B : プルボックス(200×200×150)銅板製 錆止め塗装
 - ⊠b : プルボックス(200×200×150)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ⊠D : プルボックス(300×300×200)銅板製 錆止め塗装
 - ⊠d : プルボックス(300×300×200)溶融亜鉛めっき 防水型
- ※()は接地端子付とする。

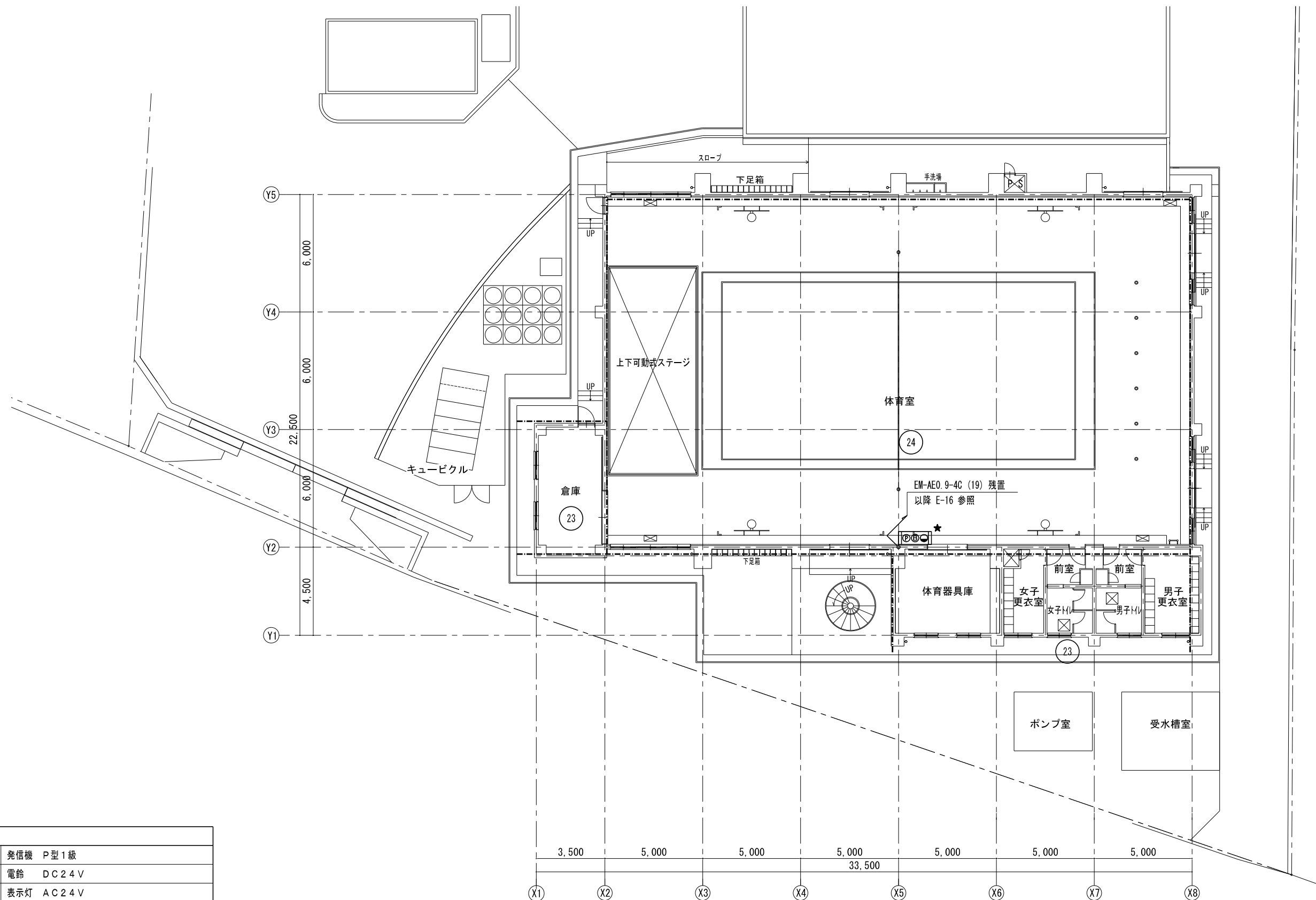
通信・情報設備 改修 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称		通信・情報設備 改修 2階平面図	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E- 13



凡例	
㊦	発信機 P型1級
㊧	電鈴 DC24V
●	表示灯 AC24V
□	機器収容箱 (総合盤・単独)
---	警戒区域境界線
(No)	警戒区域番号
★	取外しを示す。

自動火災報知設備 既存 1階平面図 1/100

工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

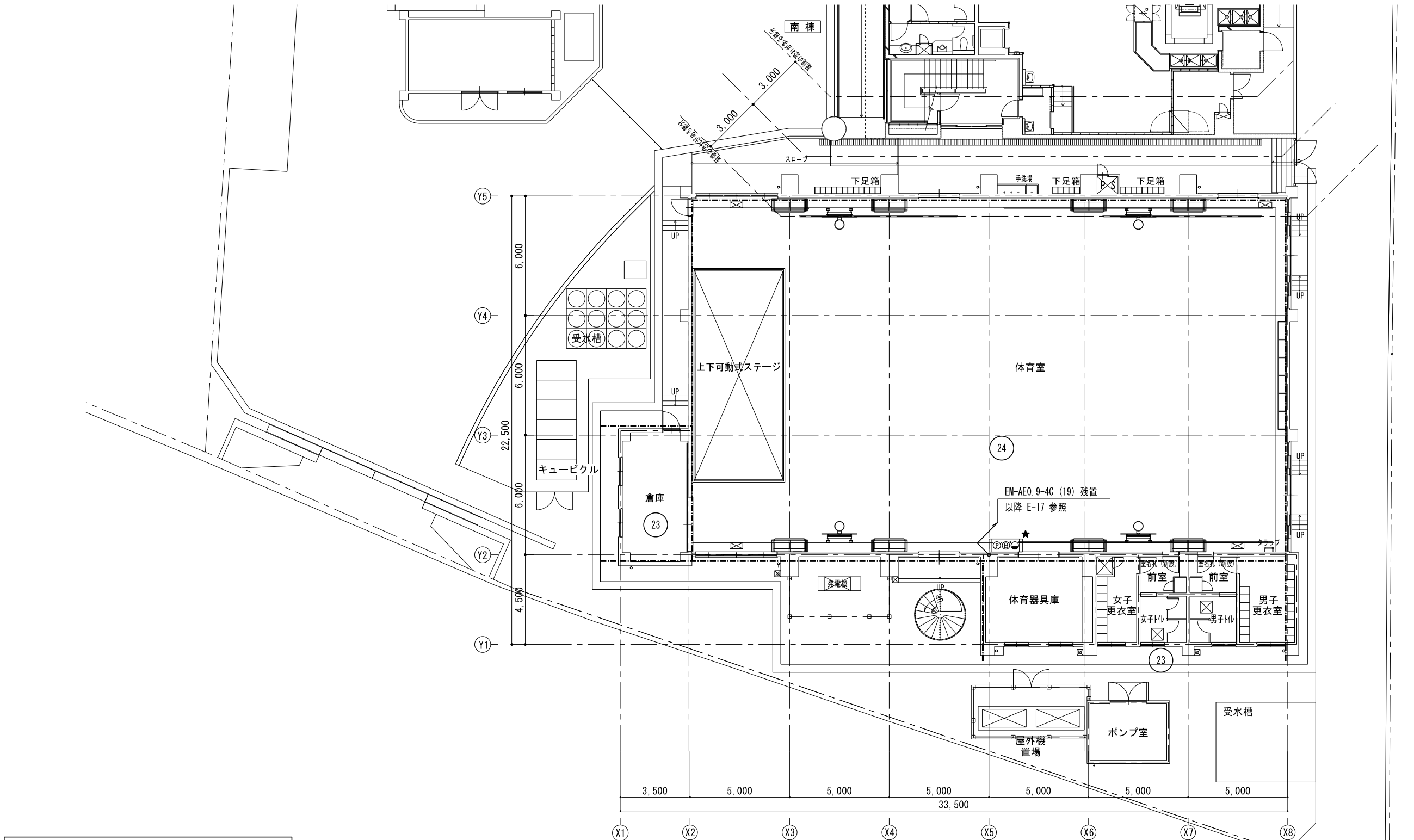
自動火災報知設備 既存 1階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 14



凡例	
①	発信機 P型1級
②	電鈴 DC24V
③	表示灯 AC24V
④	機器収容箱
---	警戒区域境界線
⑤	警戒区域番号
★	再取付を示す。

自動火災報知設備 改修 1階平面図 1/100

工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

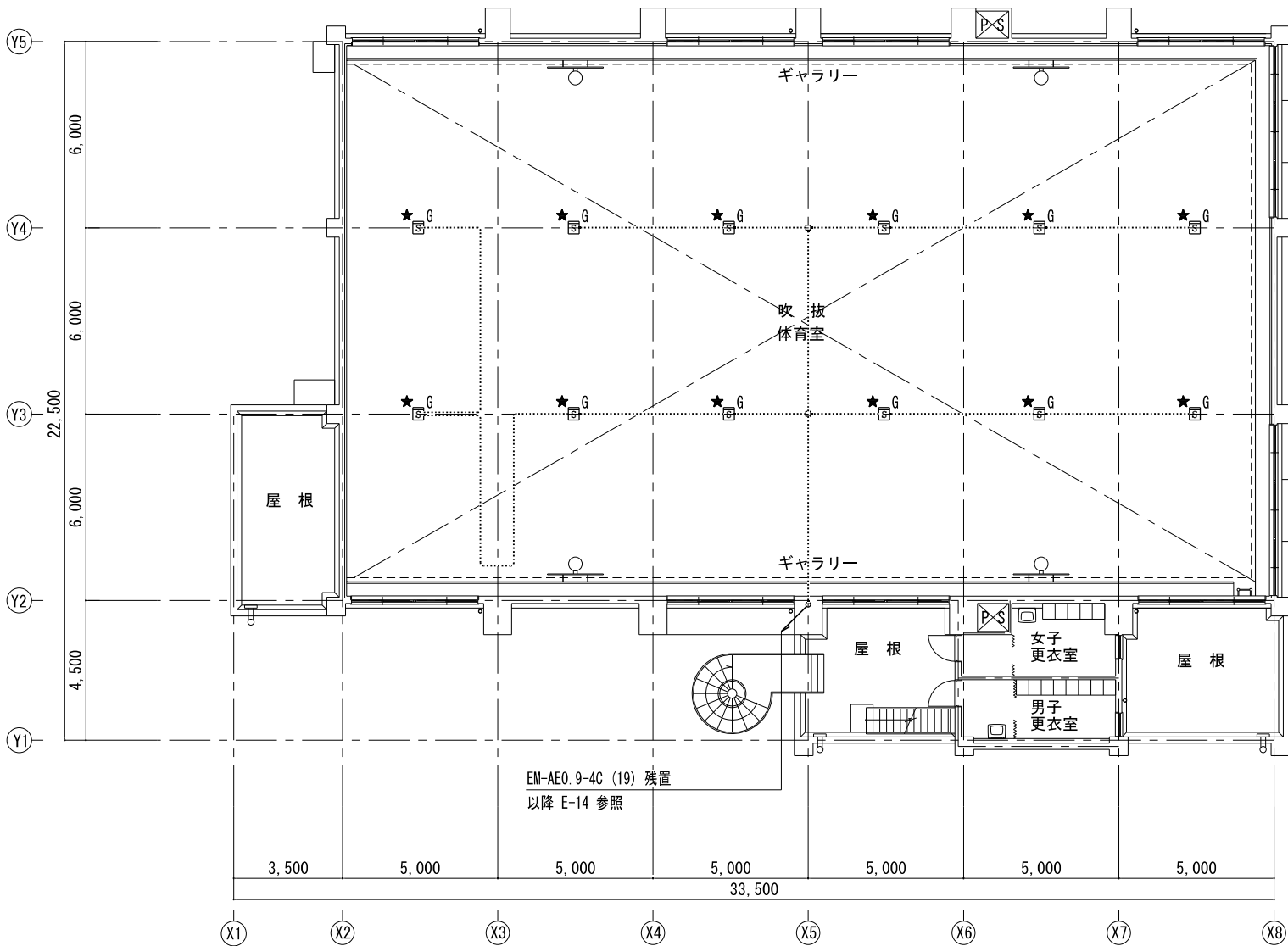
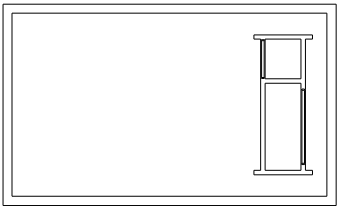
自動火災報知設備 改修 1階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 15



凡例	
図 G	煙感知器 光電式ｽﾏｰﾄ型2種 (ｶﾞｰﾄﾞ付)
★	取外しを示す。

.....//..... EM-AE0.9-4C (E19) 取外し

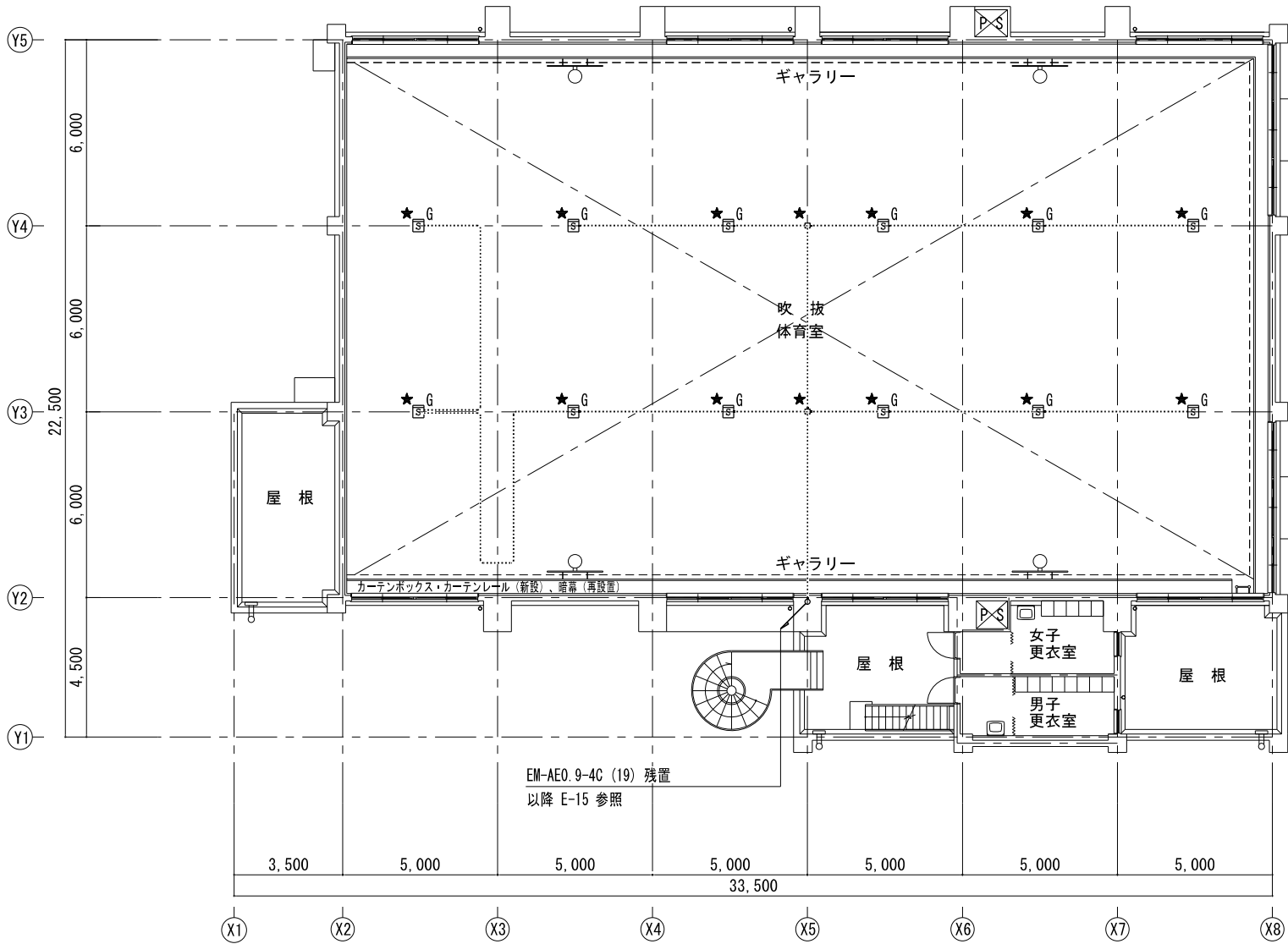
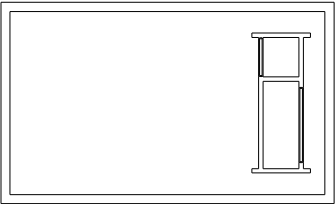
自動火災報知設備 既存 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称		自動火災報知設備 既存 2階平面図		
縮尺		A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E- 16



凡例	
図 G	煙感知器 光電式ｽﾏｰﾄ型2種 (ｶﾞｰﾄﾞ付)
★	再取付を示す。

.....//..... EM-AEO.9-4C (E19) 再取付

自動火災報知設備 改修 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

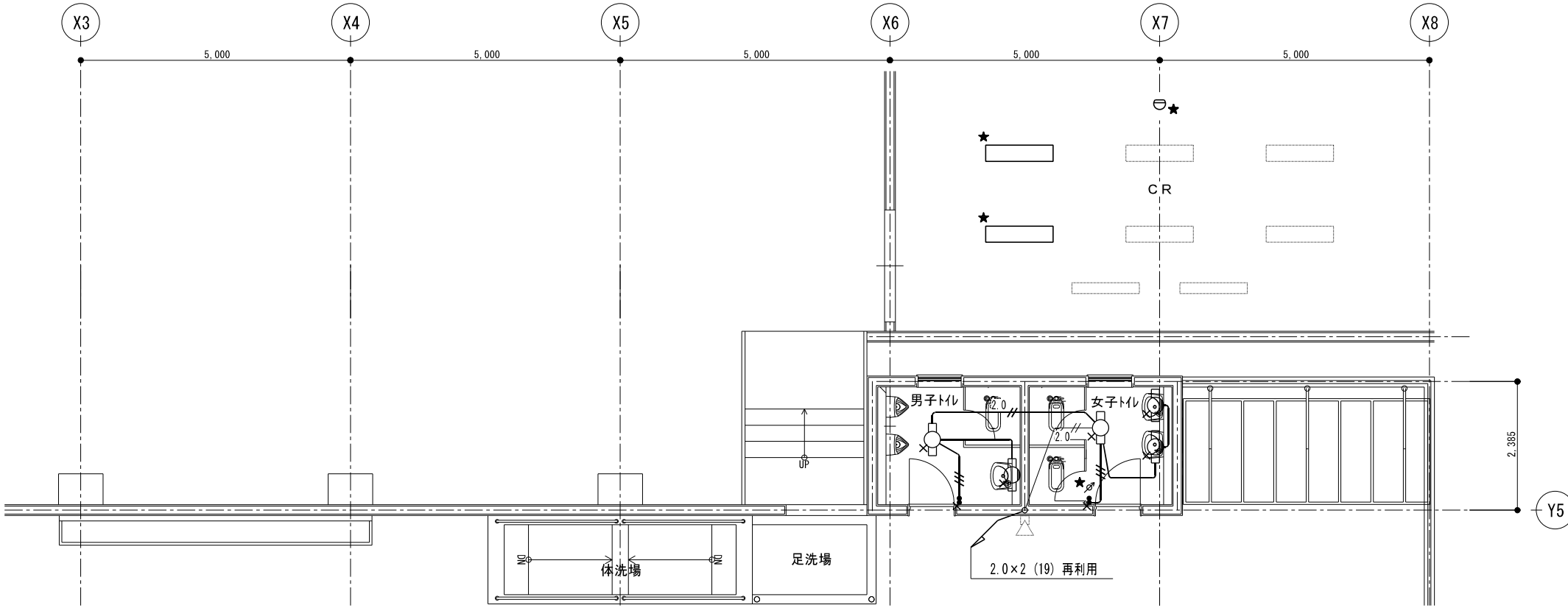
自動火災報知設備 改修 2階平面図

縮尺

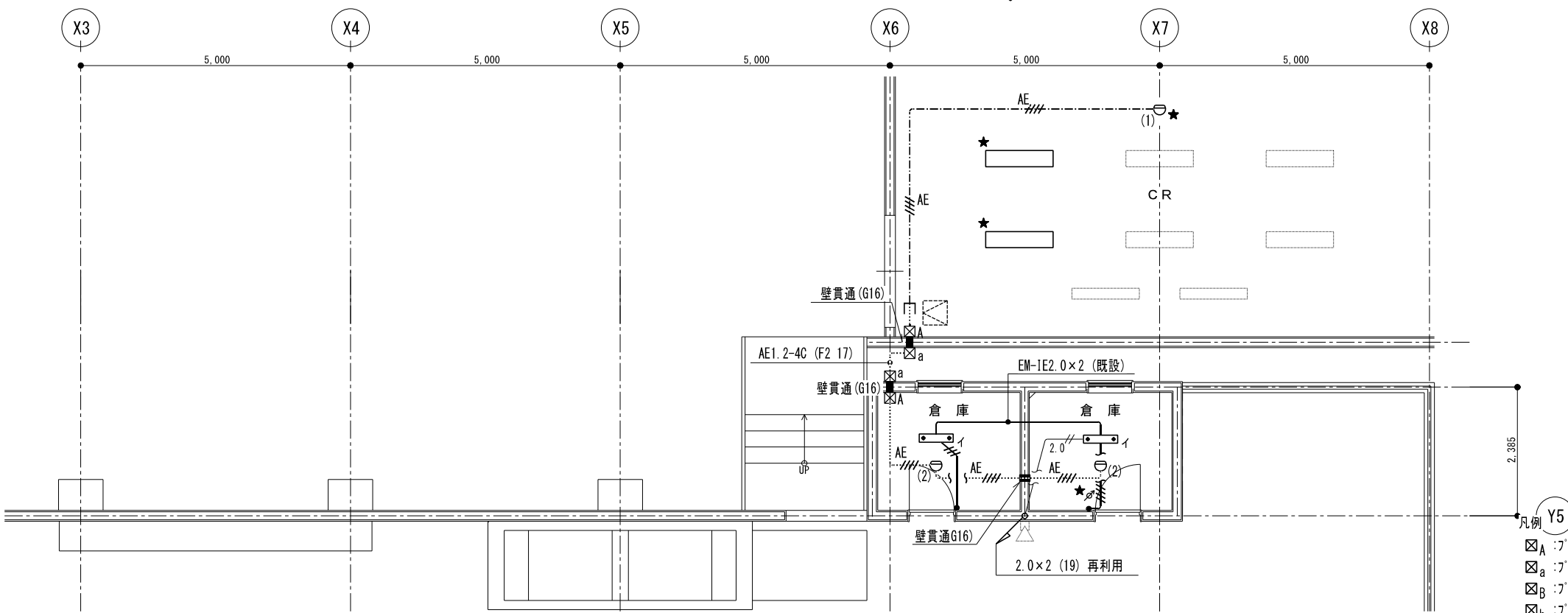
A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 17



既存4階トイレ廻り詳細図 1/50



4階トイレ廻り改修図 1/50

凡例	
	FL20W-1 露出型
	FL20W-1 壁掛型
	LED照明 埋込型 1300×200以上相当
	LED照明 埋込型 1300×200未満相当
	スイッチ 1P15A×2
	アッテネータ
	差動式磁場型感知器 2種
	取外しを示す。
	撤去を示す。
特記なき配管配線は下記とする。	
	2.0×2 (19) 配線のみ撤去
	1.6×2 (19) 配線のみ撤去
	1.6×3 (19) 配線のみ撤去

※図中、太線は今回工事を示す。

凡例	
	逆富士型 LSS9-2-15
	LED照明 埋込型 1300×200以上相当
	LED照明 埋込型 1300×200未満相当
	スイッチ 1P15A×1
	アッテネータ
	差動式磁場型感知器 2種
	差動式磁場型感知器 2種・丸型ジョイント型
	天井点検口450角 (建築工事)
	再取付を示す。
特記なき配管配線は下記とする。	
	EM-IE1.6×3 (既設) 配線のみ新設
	AE1.2-4C (G16)
	AE1.2-4C (コパシ) (G16塗装)

※図中、太線は今回工事を示す。

- 凡例 Y5
- ☒_A : プレートガラス (150×150×100) 鋼板製 錆止め塗装
 - ☒_a : プレートガラス (150×150×100) 溶融亜鉛めっき 防水型
 - ☒_B : プレートガラス (200×200×150) 鋼板製 錆止め塗装
 - ☒_b : プレートガラス (200×200×150) 溶融亜鉛めっき 防水型
 - ☒_D : プレートガラス (300×300×200) 鋼板製 錆止め塗装
 - ☒_d : プレートガラス (300×300×200) 溶融亜鉛めっき 防水型
- ※ () は接地端子付とする。

図面表記	W 数	公共施設型番
イ	1600LM	LSS9-2-15
台数:2		
製造者名:		
品番:		



1. 工事名称 **高老市市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事**

2. 工事場所 **高老市東柏ヶ谷6丁目9番7号**

3. 建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令第8条第一による用途区分	備考
屋内運動場	RC造	地上4階建	639.07	655.36		

4. 工事項目 (○印のついたものを適用する。)

工事項目	工事種別
○ 窓気密設備	屋内
○ 換気設備	屋内
・ 除湿設備	屋内
・ 自動換気設備	屋内
・ 衛生器具設備	屋内
・ 給水設備	屋内
・ 排水設備	屋内
・ 給湯設備	屋内
・ 消防設備	屋内
・ 厨房機器設備	屋内
○ 外気設備	屋外
・ 換気設備	屋外
・ 排水設備	屋外
・ 給水設備	屋外

5. 設備概要 (○印のついたものは、主要方式を示す)

方式	設備概要
空調設備方式	☒ 空調換気 ☐ 全空気方式 ☐ ファンコイルユニット、ダクト併用方式 ☐ パッケージ方式 ☐ 温湿調 ☐ 全空気方式 ☐ ファンコンベクター、ダクト併用方式 ☐ 直接換気 ☐ 温水暖房
自動制御方式	☐ 電気式 ☐ 電子式 ☐ デジタル式 ☐ 涼気式 ☐ 中央監視制御
給水方式	☐ 水道直結方式 ☐ 高圧送水方式 ☐ タンクレスブースター方式
排水方式	建物の汚水及び雑排水 ☐ 分流式 ☐ 合流式 建物の汚水及び雑排水 ☐ 分流式 ☐ 合流式 放流先 汚水 (下水道放流、し尿浄化槽) 雨水 (下水道放流、し尿浄化槽) 側溝 (別途例)
給湯方式	☐ 湯沸式 ☐ 中央式
消火設備方式	☐ 屋内消火栓 (・ 温式 ・ 乾式) ☐ 連結遠水管 ☐ 屋外消火栓 ☐ スプリンクラー (・ 温式 ・ 乾式) ☐ 不活性ガス消火 ☐ 泡消火
ガス設備方式	☐ 粉末消火 ☐ 粉滅散水 ☐ 水滅散水 ☐ フード等用窒息自滅消火

Ⅱ. 特記仕様書

1. 一般事項 (1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて「国土交通省大臣官庁建築部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編、最新版)」「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編、最新版)」「(以下「標準仕様書」という。)、同部設・環境課監修の「公共建築設備工事標準準則(機械設備工事編、最新版)」「(以下「標準準則」という。)、及び国土交通省大臣官庁建築部監修の「機械設備工事監理指針(最新版)」による。

(2) 電気設備工事及び配管工事等を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事とはそれぞれの工事仕様書を適用する。

(3) 1項目は等号○印の付いたものを適用する。

(4) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
Ⅰ	① 適用基準等	☒ 工事写真の撮り方(建築設備編) (国土交通省大臣官庁建築部監修)。 ☒
	② 機材等	※ 本工事に使用する機材等は、設計図面に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受けるものとする。 ※ 本工事に使用する材料の収蔵及び取扱いに当たっては、腐食性有機化合物の散逸による健康への影響に配慮する。 ※ 使用する材料のホルムアルデヒドは仕様は、日本工業規格及び日本建築規格のF☆☆☆☆等級品。壁紙材料は等級品に適合したものは同等品。化学物質管理製品安全データシート等にホルムアルデヒド不使用が明示されたものとする。
	③ 機材の品質・性能証明	本工事で事前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督職員の承認を受ける。 また、設備機材は、設計図面に定める品質及び性能を有するものとの証明資料は外務機関等が発行する資料等の写しを監督職員に提出して、承認を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等を含む。
	④ 保 険	本工事を着手前に工事契約の物品及び工事材料等を、本工事を完了後引渡し期日まで、火災保険及びその他の保険に申し、写しを監督職員に提出のこと。
	⑤ 施工計画書および施工図等	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち、工種別施工要領書および施工図等を作成し、監督職員の承認を受ける。
	⑥ 工事実績積算書の登録	積算金額が500万円以上の場合は、CORINSに登録する。 受注後、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。
	⑦ 手続	工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。 なお、当該手続に係る費用は、積算金の負担とする。
	⑧ 事故報告	施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、任意様式にもつづき「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出すること。
	⑨ 電気保安技術者	※ 適用する 適用しない
	Ⅱ	10. 技能士の活用
⑪ 足場等		別列記の関係係員が定置したものはすべて標準で使用する。 ○ 本工事で設置 枠組足場を設ける場合は、「手すり先行法」に関するガイドライン(厚生労働省)に定めるものとし、二階手すり及び荷束の機能を有するものでなければならない。
⑫ 工事表示板		※ 設置する 設置しない 高老市公営工事共通表示事項による
⑬ 監督員事務所		※ 設けない 設ける
⑭ 工事用電力、水、その他		本工事に必要な工事用電力、水及び積算手続などの費用はすべて引込に該項の負担とする。
⑮ 工事用原動機		構内に作ること ※ できる できない
⑯ 残土処理		・ 構外搬出 ○ 構内指示の場所に搬出すること ・ 構内指示の場所へたいた積
⑰ 発生材の処理		(1) 建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当 ・ なし ○ あり (2) フロンガス回収廃棄法の規定に基づく措置の該当 ○ なし ・ あり (3) 引渡しを要するもの ※ なし ・ あり (4) 廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し、構外搬出の上、適切に処分すること。
⑱ 特別管理産業廃棄物		(ア) 特別管理産業廃棄物 ・ なし ・ あり (イ) 特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設 ・ コクリット ・ コクリット及び鉄から成る建設資材() ・ 木 材 () ・ アスファルトコンクリート ()
建設リサイクル法		(ウ) その他発生の処分を行う施設 ・ コクリット()等の不定形物の産業廃棄物() ・ 木くず等の管理型の産業廃棄物()

⑲ 総合調整

※ 本工事に於いて下記の項目の総合調整を行い、報告書を出すもの。 ・ 別途

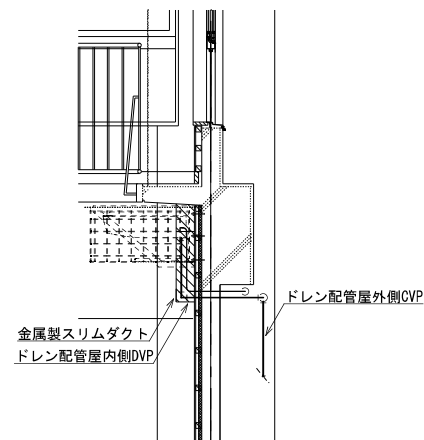
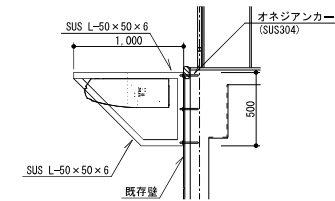
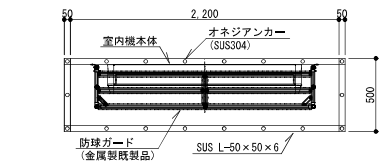
総合調整の項目

- 風量調整 ・ 水量調整 ○ 室内外空気の温度調整
- 室内空気及びじんい測定 ・ 騒音の測定 ○ 初期運転状態の記録
- 床材及び断熱材の性能測定 ・ 断熱材の性能測定 ○ 断熱材の性能測定
- 構造の経路経路の測定 ・ 水圧調整

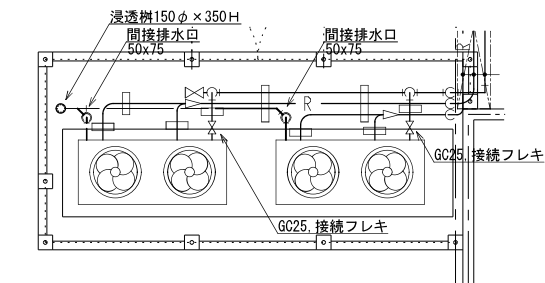
測定箇所は、監督職員の指示による。

	34.再使用品の清掃	再使用する機器は現場内で可能な薬剤による水洗等の清掃を行う。
	35.火気の使用	建物内での火気の使用は原則として行わない。
	36.室内空気中の化学物質の濃度測定	室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度を測定し、監督官庁に報告すること。測定はパッシブ型採取器により行う。 測定対象室()、測定箇所()
	(37) 施工調査	・下記によるほか、改修標準仕様書第1編1、5、1及び1、5、2による。 ・施工・事前協議 調査項目()、調査範囲()、調査方法()
	(38) アスペスト	アスペストについては、労働安全衛生法（石棉繊維予防規制）・廃棄物処理法等に順じ処理を行うこと。 アスペスト使用状況（外壁なし 内壁あり）
	(39) あと施工程次	(1) あと施工程次 ※ 補修系アンカー（補修剤は有機能とする） ※ 金属係数系アンカー（※本機打込み式） (2) 試験等 性能確認試験 ※ 行わない ※ 行わない 加工確認 ※ 行わない
	40.既設インサート及びアンカーポルト	既設インサート及びアンカーポルトを ※ 使用しない ※ 使用する
	41.施工条件	別添の本工事内容説明事項による。
① 解体工事	(1) 工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事電力、水などの費用、及び公営等への諸手続などの費用は、請負者の負担とする。 既設コンセンタの使用 ※ 可 ※ 可 既設給水栓の使用 ※ 可 ※ 可 養生範囲() 養生方法()
② 設計温度		表 1 設計温度
③ ばい煙濃度計		取得場所による。
④ 煙突		※ 別途 ※ 本工事（換気板 mm、高さ m以上）
⑤ 煙道		※ 煙道径300mm以下は鋼板厚3.2mm、300mmを超えるものは4.5mmとする。 ※ 図示による。 （煙道径が400mmを超えるものには、換路口に緩衝を取り付ける。）
⑥ ダクトの区分		低圧とする（高圧1及び高圧2の部位は図示による。）
⑦ 風量測定口		・ アンプルフランジ工法 ・ コーナーポルト工法（ ・ 共板 ・ スライド）
⑧ チャッカー		取得場所は ※ 図示した位置 ・ 風速検出型ダクト又は吸込ダクト ・ 外気取入れダクト ・ 風量調整ダイヤルの上流又は下流 ・ 空調機のサブライチャッカーからの分岐ダクト
⑨ 防塵ダンパ		(1) 内蔵型を主とするチャックの表示寸法は外法とする。 (2) 空気を調和に配付するサブライチャッカー及びレクタンチャッカーで消費内貼りしたチャッカーには、点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。 (3) 外壁に面するフランジに直接取り付けけるチャッカー及びホッパーは雨水の滞留の滞りないように施工する。
⑩ 配管材料		(1) 仕様方式 ※ 通断式（電気式（定格出力DC24V、0.5A以下） (2) 接続動作 ※ 順送り ・ 同時 (3) 冷水水管 ※ 配管用炭素鋼管（白） (4) 冷却水管 ※ 配管用炭素鋼管（黒） (5) 高気管（給気管） ※ 配管用炭素鋼管（黒） (6) 排水管 ※ 圧力配管用炭素鋼管（Sch40） ※ 配管用炭素鋼管（黒） (7) 油管、油用通気管 ※ 配管用炭素鋼管（黒） (8) 排ガス、空気を抜き、排気タンクよりボイラ等へ給水管 ※ 配管用炭素鋼管（白） (9) 配管材料の規格 ※ 経緯度規格化品（JIS） (10) 空調機排水管 ※ 耐候性樹脂製（PVC） (11) 冷媒管 ※ 断熱被覆銅管（製造者標準品） ・ 銅管
11.弁類		※ JIS又はJVS K JIS又はJVS L O K
12.鋼管用締結金具		※ ベローズ形 ・ スリッパ形
13.温度計		※ 共通仕様書、標準図による他、図示した箇所に順じ取り付け。（配管用は別記、空気調和機、温度監視装置まわりの給気ダクト、送気ダクト及び外気ダクト、冷水水ヘッダー（注）及び冷水水ヘッダーの各出口 ・ バックアップ型空気調和機及び冷水水及び温水の出入口 ※ 兼用可能形（※ 全数 ※ 図示による） ※ 兼用可能の場合、その指示部（ ・ 40mm 径 ・ 100mm 径 ・ 250mm 径）を付属する。 ・ 図形（止水コック付） ・ 測定用タッピング（32mmビード管差計用）
14.絞り流量計		(1) オイルタンク本体は図示による。 (2) 遮断用指示針 ※ 取り付けない (3) 計量値は、黄銅製、黄銅製又はアルミ製とし、100g/10ml実測目盛刻印とする。計量口は図示のとおり。 図示の箇所に図示のとおり（熱伝導器等）。 標準図（図形）による。 ・ 単独形 ・ 共用形（ローリーアース付） (1) 設置箇所は図示による。 (2) 内貼リチャッカー製の寸法表示は、外形寸法とする。 (3) 吐出口に接するチャッカーの消費内貼りは別図による。
15.保温		(1) 建築物の空気抜き等の保温は空調機と併せとし（空気抜きのみ含む）、仕様は冷水水管の項による。 (2) 屋外用配管の保温は、給水系統の項による。 (3) 外気取入れダクトの保温は、給水系統の項による。 ※ 金（金鍍銀被覆の給気ダクトを含む）、不要 (4) 排気ダクトの外周全面積より1mm程度保温とする。チャッカーボックスを含む。 (5) 冷媒管（断熱材被覆銅管）の保温は外装 屋内露出部 ① 保温化ケース（樹脂製） ・ 外装なし ② 保温化ケース（樹脂製） ・ SUS製 (6) 高圧給水管及びヘッダーの保温は、①とする。
16.電気工事の範囲		(1) 地震感知センサーの配電箱 ※ 別途 ・ 本工事 (2) 防振ダンパと連動制御器の配電箱及び連動制御器から感知センサーまでの配電箱は ※ 別途 ・ 本工事
17.塗装		(1) 屋内露出棟ダクトの塗装（腐食は除く）は ※ 行わない ・ 行う (2) 屋内露出地下配水管の塗装（腐食は除く）は ※ 行わない ・ 行う
18.準拠事項		[空気調和 ・ 冷凍 ・ 暖房設備] の当該事項に準ずる。 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 16 ・ 17 ・ 18
19.開放系湯沸器設備		※ 別途 ・ 本工事 ※ 亜鉛鉄板 ・ ステンレス鋼板（SUS304）（板厚は別記）による
20.閉回路系ダクト工法		・ アンプルフランジ工法 ・ コーナーポルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）
21.閉回路系フード		(1) フード周囲の天幕（フード面から天井面まで） ※ 取り付ける ※ 取り付けない (2) フードコック ※ 取り付ける ※ 取り付けない (3) 材質（天幕とも） ※ ステンレス鋼板（SUS304）
22.多層階間の排気口外		次の系のダクトのシールは標準図（施工 4.5、4.6）のNノール+Aノール+Bノールとし、水抜き管を設ける
23.ダクト		・ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製（1.6mm以上）
24.排気口の形式		・ 可動羽根（スリット状） ・ 可動パネル
25.排気口開放装置		・ 可動羽根（スリット状） ・ 可動パネル
26.排気風量測定方式		建設業協会検査業務指図書（（財）日本建築設備安全センター）の排気風量の検査方式に準ずる。
27.中央監視制御		中央監視制御装置の構成機能は別記による。
28.計装工事の配線		屋外・屋内露出の配線は一面面に特記のない限り金属配線とする。 天井内の隠ぺい配管は、図示に特記がなければケーブル配線とする。
29.大便器洗浄弁		不凍結排水弁とする。
30.便器洗浄用タンク		※ 手洗い ・ 手洗付
31.小便器排水装置		※ 排水装置（機能は別記による） ・ 押ボタン式（不凍結排水弁付）
32.小便器洗浄管		※ 埋込 ・ 露出
33.付属水栓		吊りこみ式（節水こみ式）とする。
34.自動水栓		電源供給方式 ※ AC100V
35.大便器耐火カバー		設ける（ビット内を除く） 対策器具

	1. 量水器	(1)観メーター ※水道事業者支給品(2)子メータ※本工事
	2. 水量図樹	(1)観メーター用 ※水道事業者の指定品・標準図(機材53) (2)子メーター用 ※標準図(機材53)
給	3. 配管材料	(1)-一般用 ・ステンレス鋼管(拡張) ・塩ビライニング鋼管(・SGP-VB・SGP-VE) ・ポリ結核ライニング鋼管(・SGP-PH・SGP-PD) ・複層ポリ塩化ビニル管(・VP・HVIP) (2)上開配管用(廊下、浴室等のシンダー内含む) ・ステンレス鋼管(SUS316) ・塩ビライニング鋼管(SGP-VF) ・ポリ結核ライニング鋼管(SGP-PD) ・複層ポリ塩化ビニル管(・VP・HVIP) (3)屋外中用 ・ステンレス鋼管(SUS316拡張) ・ポリ結核ライニング鋼管(SGP-PD) ・塩ビライニング鋼管(SGP-VF) ・複層ポリ塩化ビニル管(・VP・HVIP) ・水適用ゴム輪形硬質塩化ビニル管 ・ポリエチレン管
水	4. 不凍水栓柱	化粧ケーシング(・アルミ合金製 ・金剛歯鋼製)
設	5. 壁埋込型散水栓ボックス	贈付とする。
備	6. 井 類	(1)水道直結部分 JIS又はJVV10K (2)その他の部分 JIS又はJV5K
	7. 給水栓	(1)屋内(※一般水栓・耐寒水栓) ・普通流・浴用・買用用水栓は凍害とする。 (2)屋外(※耐寒水栓・一般水栓)
	8. 埋設深さ	(1)-一般影響内 m以上 (3)公道部分 ※水道事業者及び道路管理者規定による
	9. 保 温	(1)重量図樹内の保温を行う。
	10. 地盤公開閉路ハンドル	本工事に ※含み(水道事業者管理用以外の併接作用) ※含まない
	11. 水道加入金等	水道加入金 ・要(・本工事 ・別途) ・その他 ・要(・本工事 ・別途)
	12. その他	給水管の最小口径は20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。
排	1. 配管材料	(1)室内汚水管 ・排水用塩ビライニング鋼管 ・コージェンク鋼管 ・鉄鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル(VP) ・軟質ポリ塩化ビニル(・VP) (2)屋内外排水管 ・排水用塩ビライニング鋼管(自由) ・排水用塩ビライニング鋼管(防雨用排水管) ・排水用塩ビライニング鋼管(防雨用排水管) ・軟質ポリ塩化ビニル(VP) ・軟質ポリ塩化ビニル(・VP) (3)屋外中用汚水管・排水管 ・コンクリート管(1種5級) ・硬質ポリ塩化ビニル(・VP・VU) ・軟質ポリ塩化ビニル(・VP) (4)土間配管用 ・排水用塩ビライニング鋼管 ・コージェンク鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル(VP) ・軟質ポリ塩化ビニル(・VP) (5)通気管 ・排水用炭素鋼管(自由) ・排水用塩ビライニング鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル(VP) ・軟質ポリ塩化ビニル(・VP)
水	2. 排水口	・樹脂系排水口(・SUS製) (1)材料 R C ・硬質塩化ビニル ・ポリプロピレン ・ S C (2)ふた ・鉄板製(・MHA ・ MHB ・ TBA) ・樹脂製 ※横一列、流線入りおよび樹脂製のふたと原則としてSUSチェーン付 (3)規格 ・下水道協会(JSWAS) ・排水設備用樹脂製品協会(HMS) ・市町村別基準(・有 ・無)
	3. グリース阻集器	・ P F P 製(・ L) ・ SUS 製(・ L) 詳細は図示。
	4. 漏水試験継手	図示の箇所に取り付け、漏水試験を行うこと。
	5. 試 験	衛生器具などの取付完了後、排水試験又は透水試験を行う。 衛生器具などの取付完了後、縦断試験を行う。
	6. 放流箱組立等	・不要 ・要(・別途工事 ・本工事)
	7. 基礎材	※再生クラッシュラン
給	1. 配管材料	・ ステンレス鋼管(SUS304拡張) ・ 耐候性スチール鋼管 ・ 銅管 ・ 被覆鋼管 ・ 弾道付被覆鋼管 ・ 厚さ15mm以上のステンレス鋼板製造とする。
湯	2. 沸騰水の排気装置	沸騰水の排出装置(二重管)のいんべい部保温を行う。(h・f・v)
火	3. 配管材料	(1)-一般 ・ 配管用炭素鋼管(自由) ・ 圧力配管用炭素鋼管(Sc h40) (2)二酸化炭素用 ・ 圧力配管用炭素鋼管(組目無管)(Sc h80) (3)燃焼ガス用 ・ JIS10K ・ JIS20K ・ 易操作仕様1号消火栓 ・ 2号消防栓 ・ 広域簡便型2号消火栓 (1)屋外用出管については給水管に準ずる。 (2)充水式の部品 (3)ガス配管の保温 屋内消火栓 スプリングクーラ ・ 施工しない ・ 施工する ・ 施工しない ・ 施工する
熱	4. 保 温	・ 燃焼ガス配管の保温 屋内消火栓 スプリングクーラ ・ 施工しない ・ 施工する ・ 施工しない ・ 施工する
	5. 消火器類	(1)消火器 種類 ・ 数量 (2)消火器収納台 仕様 ・ 材質 ・ 数量
用	1. 厨房機器類	図示による(材質などは共通仕様書による)。ただし、寸法は参考とする。
具	2. 付属機器類	器具付機の新型製品。製造者規格品とする。
ガ	1. 配管材料	(1)-一般 (2)地上中埋設部 ※ 配管用炭素鋼管(自由) ※ ポリエチレン被覆鋼管 ・ 圧力配管用炭素鋼管(Sc ch40) ・ 配管用炭素鋼管(自由) ・ 鋼管 ・ 塩化ビニル被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管
ス	2. 都市ガス	(1)ガスメーター 観メーターはガス事業者の設置。子メーターは本工事とする。 (2)引込み負担金 ・ 不要 ・ 要(・ 別途工事 ・ 本工事)
ガ	3. 液化石油ガス	(1)ガスボンベ ※ガス供給事業者の設置(・10kg・20kg・50kg 本) (2)ガスメーター 観メーターはガス供給事業者の設置。子メーター本工事とする。 (3)集合設置 ・ 標準図(施設71)による(本館) (4)配管防止等 ・ 標準図(施設72) ・ (a) ・ (b) ・ g・f・m等はSUS製とする。
臭	4. ガス漏れ警報器	図示の場合に取付ける(・ 分離形 ・ 一体形) 別途電気工事 外部出力端子 (・ おり ・ なし)
	5. 埋設深さ	(1)一般敷地内(m以上) (2)敷地内車両道路(m以上)
	6. その他	(3)公道(ガス供給事業者及び道路管理者規定による) 配管工程は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 供給事業者名()
完成書類 関係		
※見聞表A3(資材A4判) 竣工図、施工图(検査後提出) 3部		
※本工事内容説明事項に基づく指定の工事書類 1式		
※建築物等の維持・保全に関する資料(検査後提出) 1式		
※その他監理職員が指示したもの 1式		
工事写真		
※作成する		
※写真写真は、「海老市公共工事デジタル写真管理要領」により撮影する。		
注記：編纂及びシステム参照について		
本図面中で、機電又はシステムの品質・グレードを規定する目的で、対象品の形状形式、機能及びシステム構成等を参照図として記載している。これらのものについては、その質・性能が図面と同等もしくはそれ以上のものを使用するものとします。		



室内機廻り詳細図 S=1:30



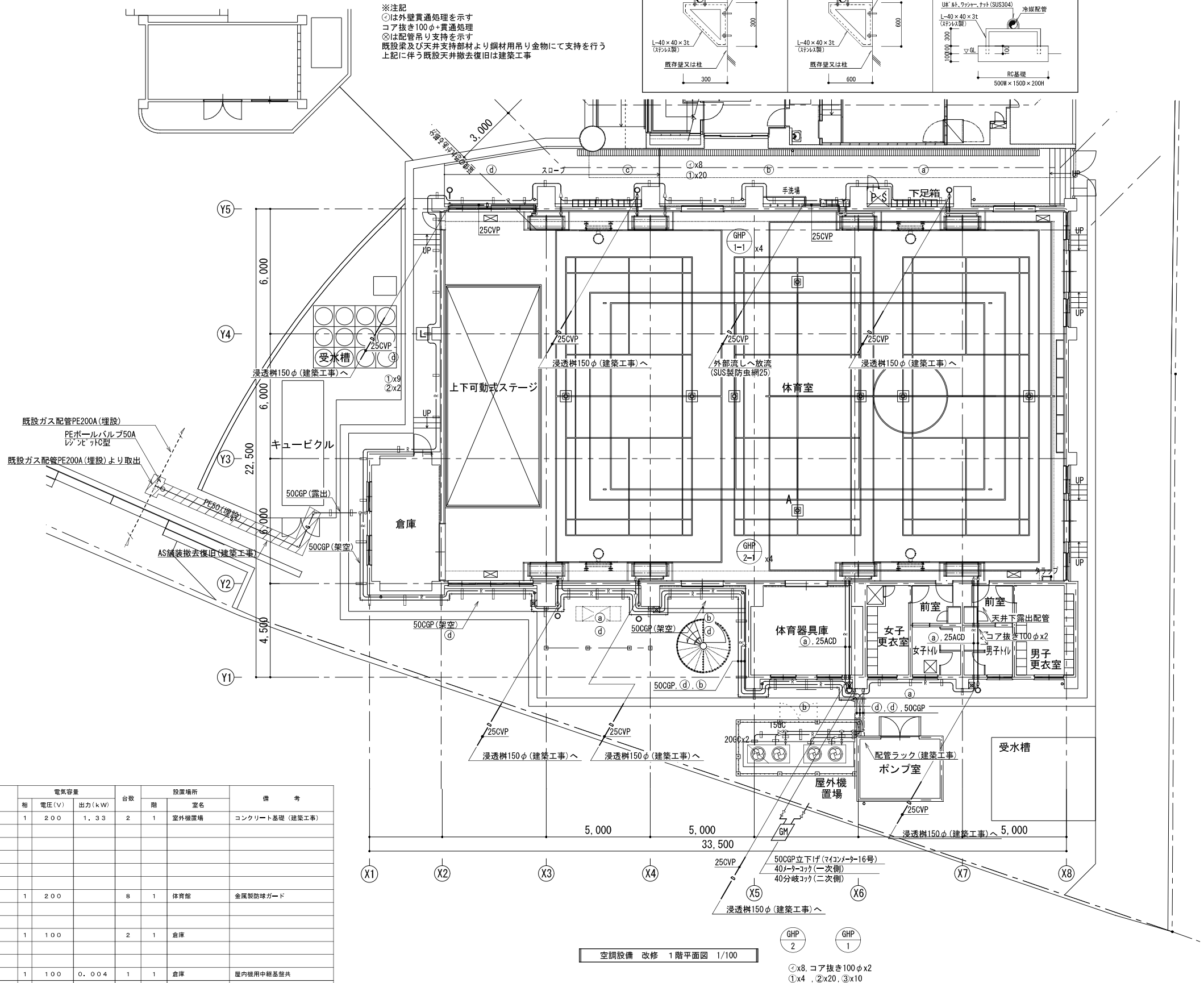
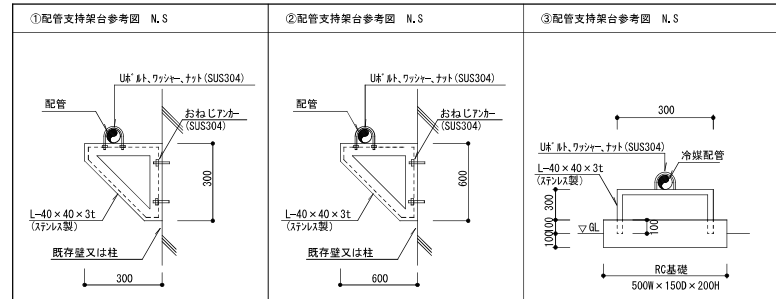
室外機廻り詳細図 S=1:50

機器表

記号	機器名称	仕 様	電気容量		台数	設置場所		備 考	
			相	電圧(V)		出力(kW)	階		室名
GHP-1	室外機	形 式： ガス炊き空冷ヒートポンプマルチエアコン（電源自立型）	1	200	1.33	2	1	室外機置場	コンクリート基礎（建築工事）
GHP-2		冷 房 能 力： 56.0kW 暖 房 能 力： 63.0kW ガス消費量： 13A 冷房49.2kW 暖房45.6kW（発電時）							
		冷 媒： R410A 付属品： SUS製基礎ボルト 防振ゴムパッド 冷媒分岐管×3 電源切替盤、その他標準付属品共							
GHP-1-1	室内機	形 式： 天吊形	1	200		8	1	体育館	金属製防球ガード
GHP-2-1		冷 房 能 力： 14.0kW 暖 房 能 力： 16.0kW 付属品： ゴムパッド その他標準付属品共							
R	個別リモコン	形 式： ワイヤードリモコン 機 能： 運転・停止 温度・風量設定 異常・故障表示 週間タイマー 付属品： 鍵付リモコンボックス	1	100		2	1	倉庫	
C	コインタイマー	形 式： コインタイマー 仕様硬貨： 100円硬貨 連続投入 50枚迄 運転時間：10分～190分(10分単位)	1	100	0.004	1	1	倉庫	屋内機用中継基盤共 電源供給は電気工事

記号	冷媒管(CUP) (液管/ガス管)	制御配線	電源配線
①	9.5φ/15.9φ	EM-CEES-1, 25"-2C	EM-EFF-2, 0"-3C
②	9.5φ/22.2φ	EM-CEES-1, 25"-2C	EM-EFF-2, 0"-3C
③	12.7φ/28.6φ	EM-CEES-1, 25"-2C	EM-EFF-2, 0"-3C
④	15.9φ/28.6φ	EM-CEES-1, 25"-2C	EM-EFF-2, 0"-3C

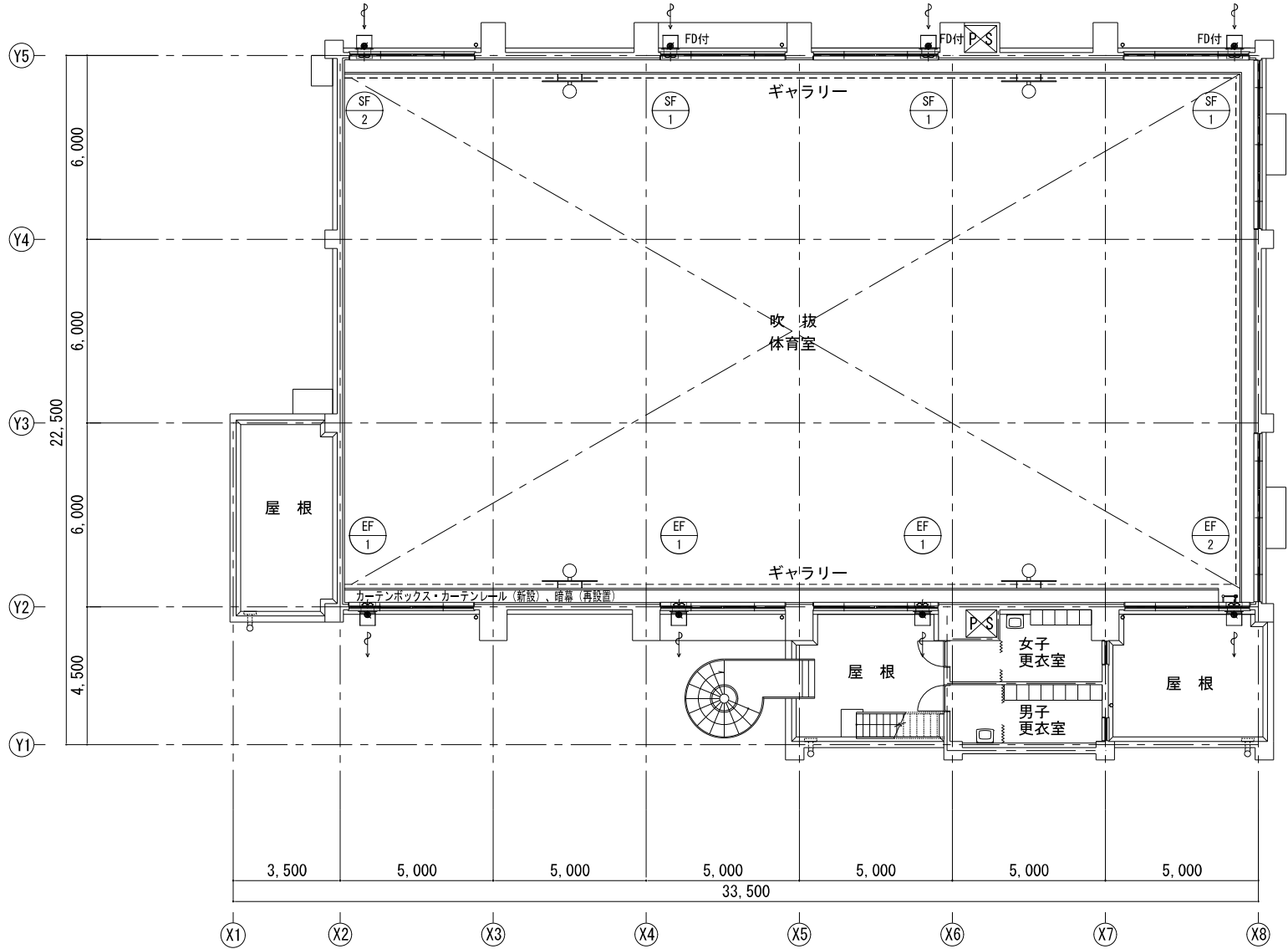
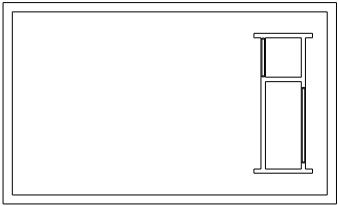
※注記
①は外壁貫通処理を示す
コア抜き100φ+貫通処理
②は配管吊り支持を示す
既設梁及び天井支持部材より鋼材用吊り金物にて支持を行う
上記に伴う既設天井撤去復旧は建築工事



空調設備 改修 1階平面図 1/100

GHP 2
GHP 1
①x8, コア抜き100φx2
①x4, ②x20, ③x10

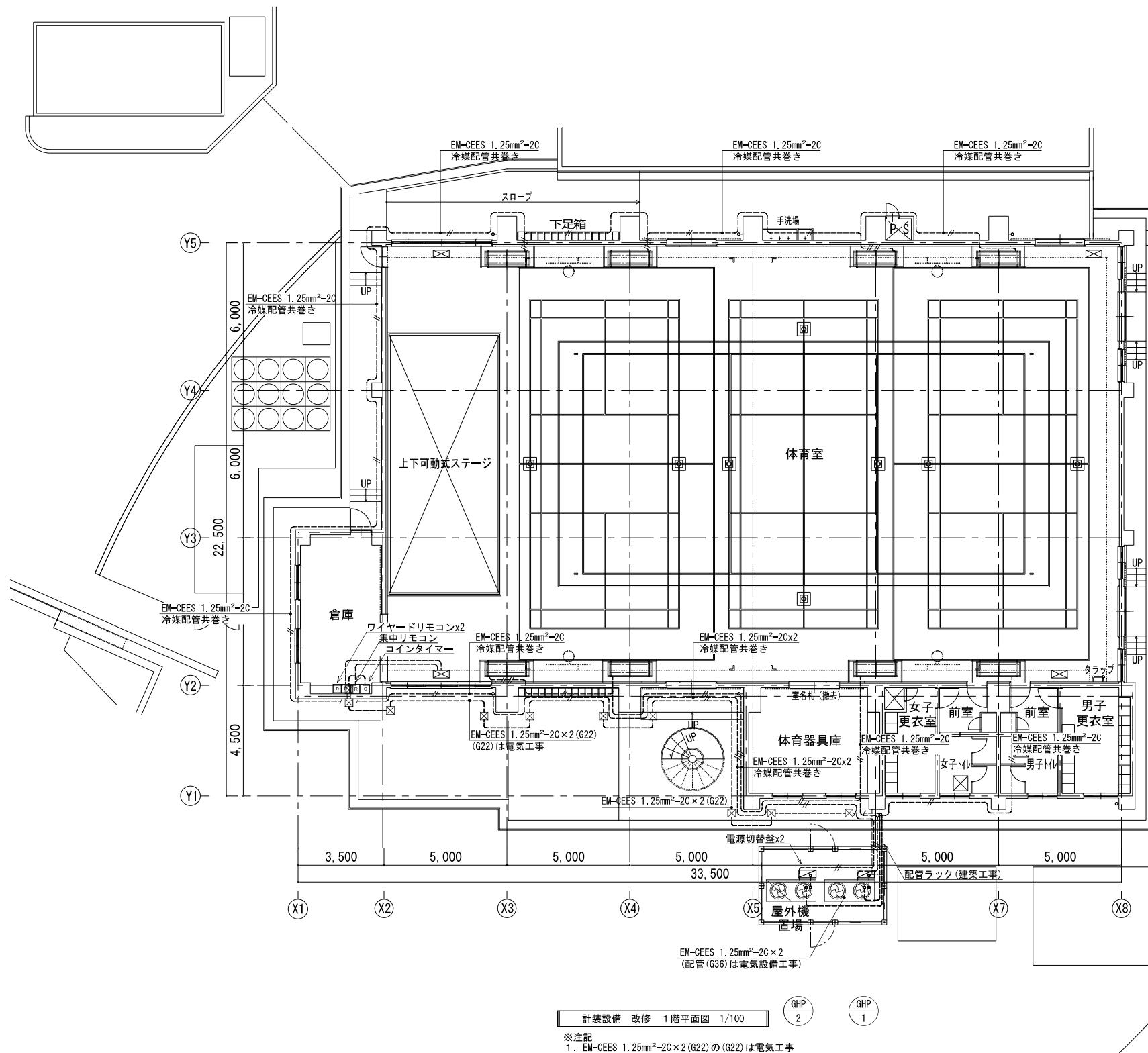




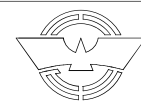
換気設備 改修 2階平面図 1/100

記号	機器名称	仕 様	電気容量			台数	設置場所		備 考
			相	電圧 (V)	出力 (W)		階	室名	
EF-1	排風機	形 式：銅板製有圧換気扇（低騒音形） 能 力：40cm × 2320m3/h × 50Pa 付属品：SUS製ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード、アタッチメント その他標準付属品共	1	100	135	3	2	体育場上部	（バックガードには電単金網 巻き込み防止を施す。）
EF-2	排風機	形 式：銅板製有圧換気扇（低騒音形） 能 力：30cm × 1300m3/h × 40Pa （24時間換気 1300m3/h） 付属品：SUS製ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード、アタッチメント その他標準付属品共	1	100	56	1	2	体育場上部	（バックガードには電単金網 巻き込み防止を施す。）

記号	機器名称	仕 様	電気容量			台数	設置場所		備 考
			相	電圧 (V)	出力 (W)		階	室名	
SF-1	排風機	形 式：銅板製有圧換気扇（低騒音形） 能 力：40cm × 2320m3/h × 50Pa 付属品：SUS製ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード、アタッチメント その他標準付属品共	1	100	152	3	2	体育場上部	（バックガードには電単金網 巻き込み防止を施す。）
SF-2	排風機	形 式：銅板製有圧換気扇（低騒音形） 能 力：30cm × 1300m3/h × 40Pa （24時間換気 1300m3/h） 付属品：SUS製ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード、アタッチメント その他標準付属品共	1	100	73	1	2	体育場上部	（バックガードには電単金網 巻き込み防止を施す。）



工事件名：海老名市立東柏ヶ谷小学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

縮尺

計装設備 改修 1階平面図

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

M-04

